

**平成27年度
男女の初期キャリア形成と
活躍推進に関する調査
報告書**

**平成28年 3月
独立行政法人 国立女性教育会館**

はじめに

本調査研究「男女の初期キャリア形成と活躍推進に関する調査」は、「生涯を見据えた早期からのキャリア形成支援を、男女共同参画の視点に立つて行うための方策を探ること」を目的として、平成27年に民間企業の正規職について男女(大学・大学院卒)を、5年間追跡するパネル調査の第一回調査として実施したものです。

新規学卒者が直面する職場環境や人的資源投資は、その後のキャリア形成を左右するとして、「初期キャリア期」の重要性が注目されています。特に女性のキャリア意識を高めるためには、出産・育児による制約を受ける前(20代)に、成長と経験を先取りさせる必要があると指摘されています。しかし「初期キャリア期」の男女の意識・行動については実証的研究が不足していることから、「初期キャリア期を通じたキャリア意識の変化」と「変化をもたらす要因」について検証するため、新規学卒者の追跡調査を実施することとなりました。

人々のキャリア意識はどのような要因と関連して変化するのか、またそもそも、人々のキャリア意識はどの程度変化するものであるかについては、必ずしも十分に検証されていません。なぜならこれまで日本では、人々の意識について、主に一時点での調査データに基づく分析・解釈が行われてきました。しかしこうした一回限りの調査データでは、意識の「変化」や、「変化をもたらす要因」を明らかにすることは困難です。これらの課題にこたえるには、同一人物を複数時点で追跡するパネル調査を実施し、個人レベルの変化を適切に捉えることが求められます。

本報告書は、第一回目の調査結果について男女別に集計を行い、入社1年目男女のキャリア意識について比較したものです。本報告書が、企業や大学関係者をはじめ、若手社員のキャリア形成に関心をもつ方々に活用されることを願っています。

最後に、お忙しいなか、調査にご協力いただいた企業の人事・ダイバーシティ・女性活躍推進担当の方々、アンケートに回答してくださった皆様をはじめ、本調査研究にお力添えいただいた関係各位に、この場をかりて厚く御礼申し上げます。

平成28年3月

独立行政法人 国立女性教育会館
理事長 内海 房子

目次

1. 調査概要	P3
2. 回答者属性	P7
3. 結果概要	P11
4. 結果詳細Ⅰ ～現在の就業状況～	P21
4-1. 採用時の職種	P23
4-2. 現在の仕事内容	P24
4-3. 残業の頻度	P25
4-4. 残業時間	P26
4-5. 現在の仕事に感じていること	P29
4-6. 現在の職場環境	P36
4-7. 入社前後のギャップ	P42
4-8. 現在の仕事に対する意識・行動	P47
4-9. 自己のビジネススキル評価	P53
4-10. 業務上の資格取得の必要性	P62
4-11. 資格取得のための行動	P63
4-12. 仕事／仕事以外への満足度	P66
5. 結果詳細Ⅱ ～今後の希望・見通し～	P69
5-1. 今後の意向	P71
5-2. 今後の希望職種	P78
5-3. 管理職を目指したいか	P79
5-4. 管理職を目指したくない理由	P80
6. 結果詳細Ⅲ ～就職活動と大学生活～	P81
6-1. 就職活動時の希望職種	P83
6-2. 就職活動時の各基準重視度	P84
6-3. 大学時代に取り組んだこと	P97
6-4. 大学時代の海外生活経験	P98
6-5. 海外生活経験が業務に役立っているか	P99
7. 結果詳細Ⅳ ～ライフプラン～	P101
7-1. 仕事と仕事以外の両立について	P105
7-2. 結婚後や子どもが生まれた後の今の会社での継続意向	P109
7-3. 継続意向なしの理由	P110
7-4. 結婚後や子どもが生まれた後の理想の働き方	P111
7-5. ジェンダー意識	P116
8. 参考資料 （調査画面）	P123
8-1. ログイン画面	P125
8-2. アンケート本編	P127

1. 調査概要

1. 調査の目的

国立女性教育会館では、平成23年度からの第3期中期計画期間に、「生涯を見据えた早期からのキャリア形成支援を、男女共同参画の視点に立つて行うための方策を探ること」を目的として、「若年男女のキャリア形成に関する意識及び支援に関する調査研究」を行うこととしている。本調査は、初期キャリア期男女のキャリア意識の変化と、変化をもたらす要因について明らかにするため、平成27年に民間企業の正規職についた男女(大学・大学院卒)を5年間追跡するパネル調査の第一回目として実施した。

2. 調査の内容

(Ⅰ)現在の就業状況

- ・採用時の職種、残業時間、仕事に対する意識、入社前後のギャップなど

(Ⅱ)今後の希望・見通し

- ・今後の希望職種、今後の意向、管理職を目指したいかなど

(Ⅲ)就職活動と大学生活

- ・就職活動時の希望職種、就職活動時の各基準重視度、大学時代に取り組んだことなど

(Ⅳ)ライフプラン

- ・仕事と仕事以外の生活との両立について、結婚後や子どもが生まれた後の理想の働き方など

3. 調査要領

- (1)調査対象:調査協力企業17社に、平成27年に入社した新規学卒者(大学・大学院卒)2137名(女性836人、男性1301人)。企業17社は、正社員が3,000人以上(10社)、1000人以上2999人以下(4社)、800人以上999人以下(3社)の大企業で、金融業1社、建設業1社、コンサルタント業1社、サービス業7社、商社・卸業1社、通信・ソフト業2社、製造業4社(本社は、東京15社、埼玉1社、大阪1社)。

- (2)調査方法:WEBアンケート調査

- (3)回答数:1258名(回答率 58.9%)

- (4)調査実施期間:平成27年10月1日～平成27年10月20日

- (5)調査機関:マイボイスコム株式会社

4. 調査研究の実施体制

外部有識者と国立女性教育会館研究国際室メンバーからなる「若年男女のキャリア形成に関する意識及び支援に関する調査研究」検討委員会を組織し、調査研究を実施した。

＜検討委員＞(五十音順、敬称略)

安齋 徹(群馬県立女子大学准教授)

大槻 奈巳(聖心女子大学教授)

小川 尚子(日本経済団体連合会政治社会本部主幹)

高見 具広(労働政策研究・研修機構研究員)

永井 暁子(日本女子大学准教授)

島 直子(国立女性教育会館研究員)

中野 洋恵(国立女性教育会館研究国際室長)

渡辺 美穂(国立女性教育会館研究員)

2. 回答者属性

[性別 (Q27)]

	度数	%
女性	475	37.8
男性	783	62.2
合計	1258	100.0

[年齢 (Q28)]

	度数	%
21歳以下	8	0.6
22歳	277	22.0
23歳	452	35.9
24歳	229	18.2
25歳	187	14.9
26歳	75	6.0
27歳以上	30	2.4
合計	1258	100.0

[結婚有無 (Q34)]

	度数	%
結婚している	10	0.8
結婚していない	1248	99.2
合計	1258	100.0

[子ども有無 (Q35)]

	度数	%
子どもはいる	6	0.5
子どもはいない	1252	99.5
合計	1258	100.0

[大学の種類(共学／別学) (Q29)]

	度数	%
共学	1195	95.0
別学(女子大)	63	5.0
合計	1258	100.0

[卒業・修了した学校【大学(学部)】 (Q30)]

	度数	%
日本の大学	1238	98.4
海外の大学	29	2.3
合計	1258	100.0

[卒業・修了した学校【修士・博士課程前期】 (Q31)]

	度数	%
日本の大学院	365	29.0
海外の大学院	4	0.3
大学院(修士・博士課程前期)は修了していない	889	70.7
合計	1258	100.0

[卒業・修了した学校【博士・博士課程後期】 (Q32)]

	度数	%
日本の大学院	78	6.2
海外の大学院	1	0.1
大学院(博士・博士課程後期)は修了していない	1179	93.7
合計	1258	100.0

[最後に通学した学校での専攻 (Q33)]

	度数	%
法学系	108	8.6
経済・商学系	256	20.4
文学系	74	5.9
社会学系	91	7.2
教育学系	18	1.4
外国語学系	62	4.9
その他の文系	58	4.6
理学系	106	8.4
工学系	386	30.7
その他の理系	89	7.1
その他	10	0.8
文系 計	667	53.0
理系 計	581	46.2
合計	1258	100.0

3. 結果概要

3-1. 職種希望の変遷

- ◆就職活動時の希望職種、採用時の職種、今後の希望職種を性別で比較した。
就職活動時の希望職種、採用時の職種ともに女性の方が「総合職(転勤なし)」「総合職以外(転勤なし)」が多く、男性の方が「総合職(転勤あり)」が多いことが分かる。
- ◆今後の希望としては、女性では「総合職以外(転勤なし)への転換」がやや多い。

【就職活動時の希望職種(Q17)】

	総合職 (転勤あり)	総合職 (転勤なし)	総合職以外 (転勤あり)	総合職以外 (転勤なし)	特に希望はな かった
女性	44.4	30.3	0.8	15.2	9.3
男性	69.9	14.3	1.8	4.9	9.2
女性-男性	-25.4	16.0	-0.9	10.3	0.1



【採用時職種(Q1)】

	総合職 (転勤あり)	総合職 (転勤なし)	総合職以外 (転勤あり)	総合職以外 (転勤なし)
女性	57.1	22.9	3.4	16.6
男性	82.6	7.5	3.8	6.0
女性-男性	-25.6	15.4	-0.5	10.6



【今後の希望職種(Q14)】

	総合職 (転勤あり)	総合職 (転勤なし)	総合職以外 (転勤あり)	総合職以外 (転勤なし)	現在の職種の ままでよい
女性	3.6	26.3	2.1	8.4	57.3
男性	3.2	22.4	3.3	2.4	67.2
女性-男性	0.4	4.0	-1.2	6.0	-9.9

※性別で10ポイント以上の差がある場合を太字、5ポイント以上差がある場合を斜体としている。

3-2. 正社員としての働き方希望の変遷

- ◆正社員としてどう働きたいのかライフステージ別に性別で比較した。
未婚や、既婚だが子どもがいないとき、女性は男性より「残業のないフルタイム」が高く、男性は女性より「急な残業もあるフルタイム」が高い。
- ◆就学前の子どもがいるときは、男女で大きく考えが異なる。女性は「短時間勤務」が5割弱とトップになる。一方男性は、「時間の融通がきくフルタイム」や「残業のないフルタイム」の選択率が高くなるが、「短時間勤務」は約3%にとどまる。
- ◆小学生以上の子どもがいるときの女性はフルタイム労働への復帰意向がみられるものの、「急な残業もあるフルタイム」は4%にとどまる。

【未婚のとき(Q25-1)】

	急な残業もあるフルタイム	残業のないフルタイム	時間の融通がきくフルタイム	短時間勤務	家でできる仕事	正社員としては働かない
女性	60.0	26.7	12.4	0.8	—	—
男性	69.6	13.7	16.0	0.5	0.3	—
女性-男性	-9.6	13.1	-3.5	0.3	-0.3	0.0



【結婚したが、子どもがいないとき(Q25-2)】

女性	32.8	41.7	23.4	1.5	0.6	—
男性	49.2	24.9	24.9	0.6	0.3	0.1
女性-男性	-16.3	16.8	-1.5	0.8	0.4	-0.1



【就学前の子どもがいるとき(Q25-3)】

女性	1.1	4.4	21.7	46.7	15.2	10.9
男性	23.8	30.4	41.0	3.1	1.7	0.1
女性-男性	-22.7	-26.0	-19.3	43.7	13.5	10.8



【小学生以上の子どもがいるとき(Q25-4)】

女性	4.0	20.4	40.8	27.6	4.0	3.2
男性	38.8	27.2	32.3	1.0	0.5	0.1
女性-男性	-34.8	-6.8	-8.5	26.6	3.5	3.0

3-3. 現在の就業状況

- ◆現在の就業状況について性別で比較した。
男性よりも女性の方が転勤のない職種での採用率が高く、平均残業時間もやや短い。
- ◆一方で男性は「ほぼ毎日」残業する比率が女性より高い。「目の前の課題ばかりでなく、将来の課題にも目を向けて仕事をしている」などのスコアも高く、企業での将来的な立ち位置を見据えていることが推測される。

女性の特徴

- 男性に比べ、「総合職(転勤なし)」「総合職以外(転勤なし)」での採用率が高い。(Q1)
- 男性に比べ、現在の主な仕事が「営業職」である割合が高い。(Q2)
- 平均の1ヶ月あたり残業時間は多い月が23時間、少ない月が8時間。(Q4)
- 「女性の働きやすさ」について入社前後のギャップを男性よりも感じている。(Q7)
- 身につけている能力として「英語などの語学力」が男性より特に高い。「業務を円滑に進めるためのタイム・マネジメント能力」がやや高い。(Q9)
- 「業務上、取得が必須の資格がある」は男性よりやや低い。資格のための、計画や勉強の実施は男性とほぼ同様。(Q10・Q11)
- 仕事／仕事以外への満足度は男性とほぼ同様。(Q12)

男性の特徴

- 女性に比べ、「総合職(転勤あり)」での採用率が高い。(Q1)
- 現在の主な仕事が女性に比べて「技術・整備」である割合が高い。(Q2)
- 女性に比べ「ほぼ毎日」残業する割合がやや高い。(Q3)
- 平均の1ヶ月あたり残業時間は多い月が37時間、少ない月が13時間。(Q4)
- 入社前後のギャップで「求められる成長スピードが早い」ことを女性よりもやや強く感じている。(Q7)
- 「仕事に必要な知識を身につけるため、勤務時間外に勉強をしている」「企業目標に貢献することを意識して行動している」「自分からアイデアや企画を提案している」などのスコアが女性よりやや高い。「目の前の課題ばかりでなく、将来の課題にも目を向けて仕事をしている」は特に高い。(Q8)
- 身につけている能力として「論理的な思考力」「チームやグループを牽引するリーダーシップ」が女性より特に高い。「発表・報告のためのプレゼンテーション能力」「企画・アイデアなどの創造力」がやや高い。(Q9)
- 「業務上、取得が必須の資格がある」は女性よりやや高い。資格のための、計画や勉強の実施は女性とほぼ同様。(Q10・Q11)
- 仕事／仕事以外への満足度は女性とほぼ同様。(Q12)

3-4. 今後の希望・見通し

- ◆仕事における今後の希望・見通しについて性別で比較した。
男性で「仕事の専門能力を高めたい」「責任のある仕事をしたい」「高い収入を得たい」「社会的に成功したい」の「そう思う」のスコアが女性より特に高い。
- ◆管理職になりたいかについても、女性より男性の方が意向が強い。管理職になりたくない理由について性別で比較すると、女性では「仕事と家庭の両立が困難になるから」「自分には能力がないから」が男性より特に高く、男性では「仕事の量が増えるから」が女性より特に高い。

女性の特徴

- 今後の職種について「現在の職種のままでよい」の選択率は男性よりもやや低い。一方「総合職以外(転勤なし)につきたい」の選択率が男性よりやや高い。(Q14)
- 管理職を「目指したい」のは18.5%。「どちらかという目指したい」は39.2%。あわせて57.7%と男性よりも低い。(Q15)
- 管理職を目指したくない理由としては「仕事と家庭の両立が困難になるから」が66.7%と高い。また、男性に比べ「自分には能力がないから」が高い。(Q16)

男性の特徴

- 今後の意識について、「そう思う+どちらかというと思う」のスコアをみると、女性と大きな差はみられない。ただし「そう思う」のスコアでは大きな差がある。「仕事の専門能力を高めたい」「責任のある仕事をしたい」「高い収入を得たい」「社会的に成功したい」の「そう思う」は女性より10ポイント以上高い。(Q13)
- 管理職を「目指したい」のは61.4%。「どちらかという目指したい」は32.6%。あわせて94.0%と女性よりも高い。(Q15)
- 管理職を目指したくない理由としては「仕事の量が増えるから」が34.8%。女性と比べて特に高い。「仕事と家庭の両立が困難になるから」は41.3%。(Q16)

3-5. 就職活動と大学生活

◆就職活動と大学生活の実態について性別で比較した。

就職活動時に、女性は「休日や休暇がとりやすいこと」「家庭と仕事を両立するための制度が充実していること」などワークライフバランスを重視しており、男性は「高い収入が得られること」「昇進の可能性が高いこと」などを重視している。

◆学生時代の取り組みは女性の方が熱心な項目が多い。海外生活については女性の9割が何らかの経験をもつ。さらに女性の海外生活経験者の4割強が「知識や経験が、業務に役立っている」と回答。

女性の特徴

- 就職活動時においては男性に比べ「総合職(転勤なし)」「総合職以外(転勤なし)」の希望率が高い。(Q17)
- 就職活動時に重視した点としては、「休日や休暇がとりやすいこと」「家庭と仕事を両立するための制度が充実していること」が男性に比べ特に高い。「失業や倒産の恐れがないこと」はやや高い。「女性の能力を活かす方針や社風・雰囲気があること」の「重視した+どちらかという重視した」のスコアは86.1%に達する。(Q18)
- 学生時代に熱心に取り組んだものについて、女性は男性より高い項目が多い。「英語などの外国語学習」「留学」「アルバイト」は10ポイント以上男性より高く、「教養科目の学習」「資格取得・ダブルスクール」「友人とのつきあい」「ボランティア」などもやや高い。(Q19)
- 学生時代の海外生活については『海外経験あり』が9割と、男性の7割強を圧倒している。特に「単位や学位を取得するために、留学した」が男性のスコアを10ポイント以上上回る。(Q20)
- 海外経験が業務に役立っているかについては、「知識や経験が、業務に役立っている」が4割強。男性よりも10ポイント以上高い。(Q21)

男性の特徴

- 就職活動時においては、女性に比べ「総合職(転勤あり)」の希望率が高い。(Q17)
- 就職活動時に重視した点としては、「高い収入が得られること」「昇進の可能性が高いこと」が女性に比べ特に高い。「知名度が高いこと」「独立や転職のチャンスが高いこと」がやや高い。(Q18)
- 学生時代に熱心に取り組んだものについて、「実験・実習・卒論・ゼミの学習」「部活やサークルでの活動」が女性より高い。(Q19)

3-6. ライフプラン

◆ライフプランについて性別で比較した。

ワークライフバランスについて、女性は「できるだけ定時退社を心がけている」が高く、男性は「業務が終わっても、仕事をしている人がいると退社しにくい雰囲気がある」がやや高い結果となっている。

◆ジェンダー意識について「家族を経済的に養うのは男性の役割だ」という“稼ぎ手役割”は男性の方が強く意識している。

女性の特徴

- 「仕事だけでなく、仕事以外の時間も大切にしている」は96.0%が「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」としている。男性と比べて「できるだけ定時退社を心がけている」が特に高い。(Q22)
- 結婚や子どもが生まれたあとも今の会社で働き続けたいかきいたところ、41.1%が「続けたい」、32.4%が「どちらかという続けたい」と回答した。男性と比べると低いスコアである。(Q23)
- 結婚や子どもが生まれたあとに「今の会社で働き続けたくない」理由としては「家事・育児に時間をとりたいから」60.2%がトップ。男性より特に高い項目として「職場や仕事の状況から、働き続けるのは難しいだろうから」「体力面で両立は厳しいから」があげられる。(Q24)

男性の特徴

- 「仕事だけでなく、仕事以外の時間も大切にしている」は92.8%が「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」としている。女性と比べて「業務が終わっても、仕事をしている人がいると退社しにくい雰囲気がある」がやや高い。(Q22)
- 結婚や子どもが生まれたあとも今の会社で働き続けたいかきいたところ、70.9%が「続けたい」、16.7%が「どちらかという続けたい」と回答した。女性と比べると高いスコアである。(Q23)
- 結婚や子どもが生まれたあとに「今の会社で働き続けたくない」理由としては「家事・育児に時間をとりたいから」52.2%がトップだが、女性のスコアよりやや低い。「続けたい仕事ではないから」28.3%が続く。(Q24)
- ジェンダー意識について、「家族を経済的に養うのは男性の役割だ」と思う率は女性に比べ特に高い。「子どもが3歳くらいまでは、母親は仕事を持たず育児に専念すべきだ」はやや高い。(Q26)

3-7. まとめ

① “稼ぎ手役割”については、男性の方が強く意識している。

- ▶ 「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」の「そう思う＋どちらかというと思う」は女性18.3%に対し、男性22.7%とほぼ同程度。
- ▶ ただし、「家族を経済的に養うのは男性の役割だ」の「そう思う＋どちらかというと思う」は女性36.4%に対し、男性57.3%と20ポイント以上高い。

⇒ 「男性は家族を経済的に養うべき」という意識が、男性で高い。

② 男女それぞれの家庭での役割を前提としたキャリア意向の違いがみられる。

- ▶ ・結婚や子どもが生まれたあとの労働継続意向は男性の方が高い。
- ▶ ・ライフステージ別にみると、子どもが生まれた後の希望の働き方が異なる。女性は、就学前の子どもがいるステージにおいて「短時間勤務」が5割弱に達する一方で、男性では約3%。子どもが小学生以上になると、女性のフルタイム労働への復帰意向がみられるものの「急な残業もあるフルタイム」は4%にとどまり、男性の38.8%を大きく下回る。

**③ 女性は、男性よりもワークライフバランス志向が強い。
男性は、現在の企業での上昇意向が女性よりも強い。**

- ▶ ・管理職を目指したい比率は男性94.0%に対し女性57.7%と、女性が大幅に下回る。女性が管理職を目指したくない理由は「仕事と家庭の両立が困難になるから」が66.7%と突出。
- ▶ ・就職活動時に重視した点について、男性は「高い収入が得られること」「昇進の可能性が高いこと」が女性に比べ特に高い。一方女性は、「休日や休暇がとりやすいこと」「家庭と仕事を両立するための制度が充実していること」などが男性に比べ特に高い。
- ▶ ・女性の1ヶ月あたり平均残業時間は少ない月で8時間、多い月で23時間。一方男性の平均残業時間は少ない月で3時間、多い月で37時間。「毎日残業している」割合も男性の方が高い。
- ▶ ・男性について「仕事に必要な知識を身につけるため、勤務時間外に勉強をしている」「企業目標に貢献することを意識して行動している」「自分からアイデアや企画を提案している」などのスコアが女性よりやや高い。「目の前の課題ばかりでなく、将来の課題にも目を向けて仕事をしている」は特に高い。

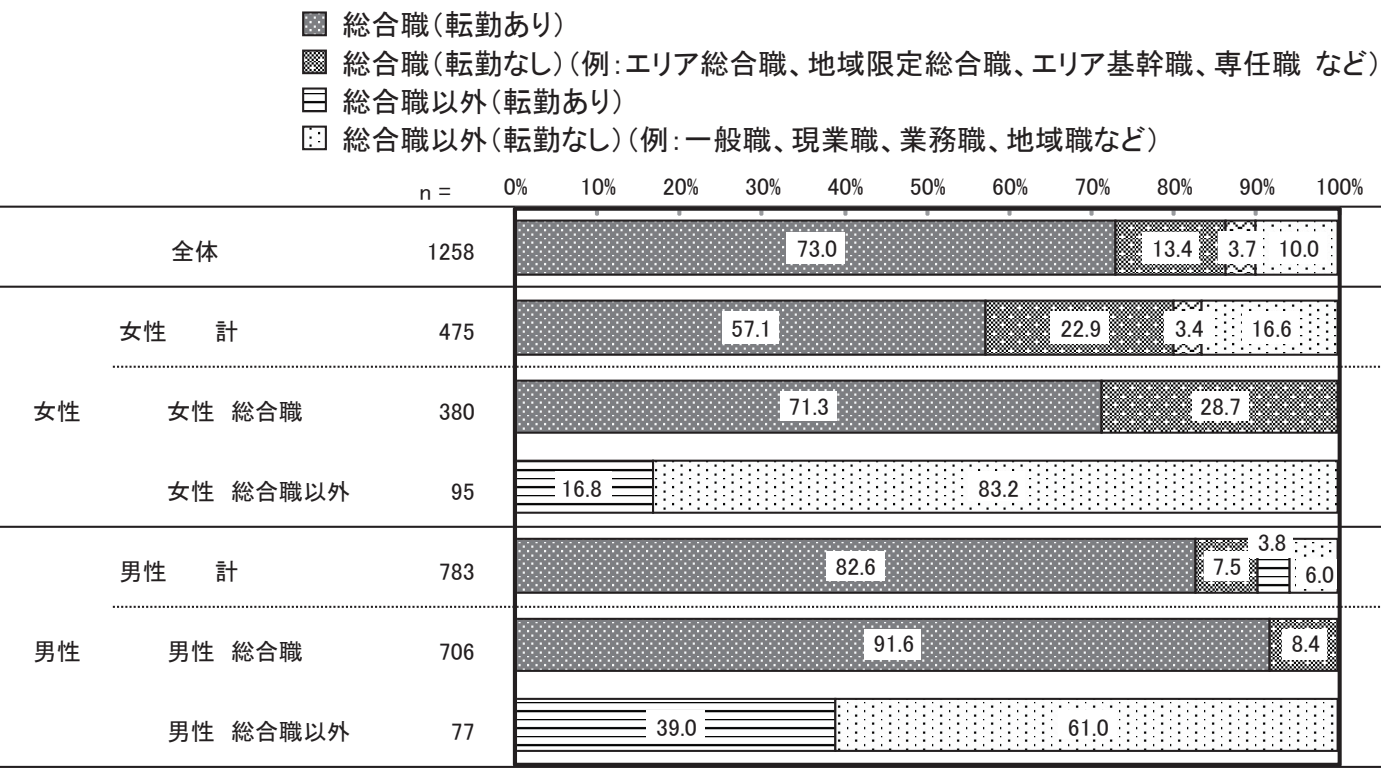
4. 結果詳細 I ～現在の就業状況～

4-1. 採用時の職種

- ◆ 採用時の職種は、全体でみると、「総合職(転勤あり)」が約7割、「総合職(転勤なし)」が約1割、「総合職以外(転勤あり)」が約4%、「総合職以外(転勤なし)」が1割。
- ◆ 『女性 計』と『男性 計』を比べると、「総合職(転勤あり)」の割合は男性の方が高い。一方、「総合職(転勤なし)」、「総合職以外(転勤なし)」は女性の方が高い。

Q1. 次のどの職種で、採用されましたか。なお、ここでいう「転勤」とは、「転居を伴う異動」を意味します。(単一回答)

4-1-1. 採用時の職種



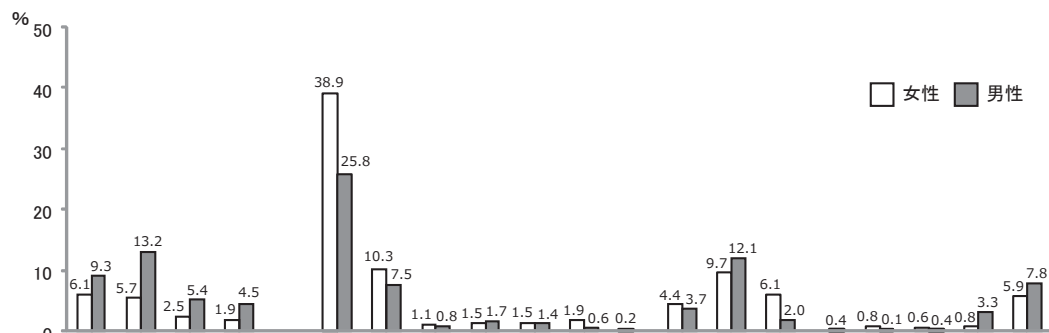
4-2. 現在の仕事内容

◆現在の仕事内容は、全体でみると、「営業」が約3割。「情報システム」「技術・整備」「サービス」がそれぞれ約1割と続く。

◆『女性 計』と『男性 計』を比べると、「営業」の割合は女性の方が高い。一方、「技術・整備」は男性の方がやや高い。

Q2. 主な仕事は、次のどれにあたりますか。（単一回答）

4-2-1. 現在の仕事内容



10.0 全体より10ポイント以上高い
 10.0 全体より5ポイント以上高い
 10.0 全体より5ポイント以上低い
 10.0 全体より10ポイント以上低い

n =

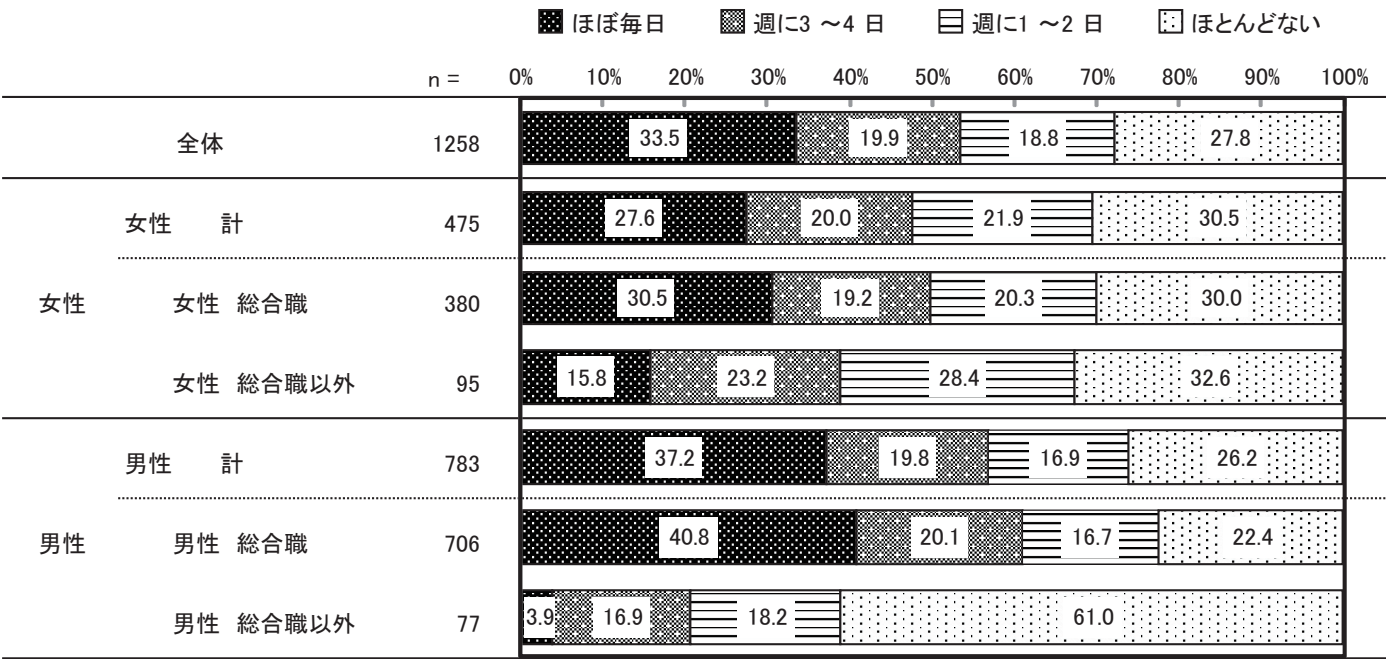
全体		1258	8.1	10.3	4.3	3.5	-	30.8	8.6	0.9	1.6	1.4	1.1	0.1	4.0	11.2	3.6	0.2	0.4	0.5	2.4	7.1
女性	女性 計	475	6.1	5.7	2.5	1.9	-	38.9	10.3	1.1	1.5	1.5	1.9	0.2	4.4	9.7	6.1	-	0.8	0.6	0.8	5.9
	女性 総合職	380	3.9	5.3	2.6	1.1	-	42.6	9.7	1.1	1.8	1.3	2.1	-	4.2	10.5	5.5	-	0.3	0.5	0.8	6.6
	女性 総合職以外	95	14.7	7.4	2.1	5.3	-	24.2	12.6	1.1	-	2.1	1.1	1.1	5.3	6.3	8.4	-	3.2	1.1	1.1	3.2
男性	男性 計	783	9.3	13.2	5.4	4.5	-	25.8	7.5	0.8	1.7	1.4	0.6	-	3.7	12.1	2.0	0.4	0.1	0.4	3.3	7.8
	男性 総合職	706	7.5	13.0	5.9	4.4	-	28.2	6.7	0.7	1.8	1.6	0.7	-	4.1	10.2	2.3	0.4	-	0.4	3.7	8.4
	男性 総合職以外	77	26.0	14.3	-	5.2	-	3.9	15.6	1.3	-	-	-	-	-	29.9	-	-	1.3	-	-	2.6

4-3. 残業の頻度

- ◆ 残業の頻度は、全体で見ると、「ほぼ毎日」が約3分の1、「週に3～4日」「週に1～2日」が各2割弱、「ほとんどない」が3割弱。
- ◆ 『女性 計』と『男性 計』を比べると、「ほぼ毎日」の割合は男性の方が高い。
また総合職か総合職以外かでも傾向が異なる。『男性 総合職以外』では、6割以上が「ほとんどない」と答えており、特徴的。

Q3. 残業の頻度は、どの程度ですか。(単一回答)

4-3-1. 残業の頻度

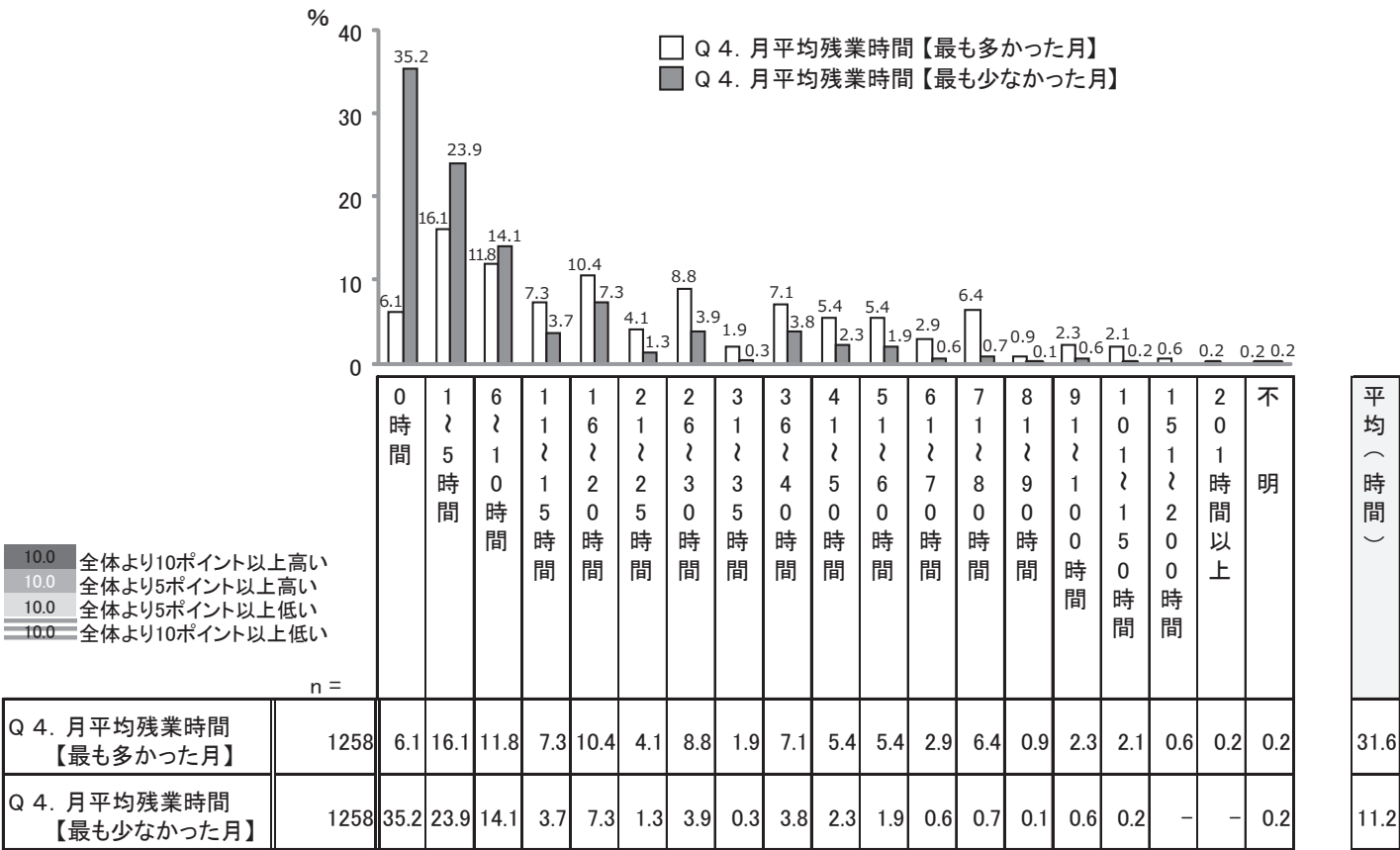


4-4. 残業時間

- ◆ 残業が最も多かった月の平均残業時間は31.6時間。
 残業が最も少なかった月の平均残業時間は11.2時間。
- ◆ 残業が最も多かった月の残業時間は、「1～5時間」の割合が2割弱と最も多いが、71時間以上も1割強あり、全体的にバラつきが見られる。
 残業が最も少なかった月の残業時間は、「0時間」「1～5時間」「6～10時間」の順に多く、10時間以内で約7割を占める。

Q4. 1ヶ月あたりの残業時間は何時間ぐらいですか。これまでで、残業が「最も多かった月」「最も少なかった月」それぞれについてお答えください。月ごとの違いがほとんどない方は、同じ数字をご記入ください。（自由回答）

4-4-1. 残業時間

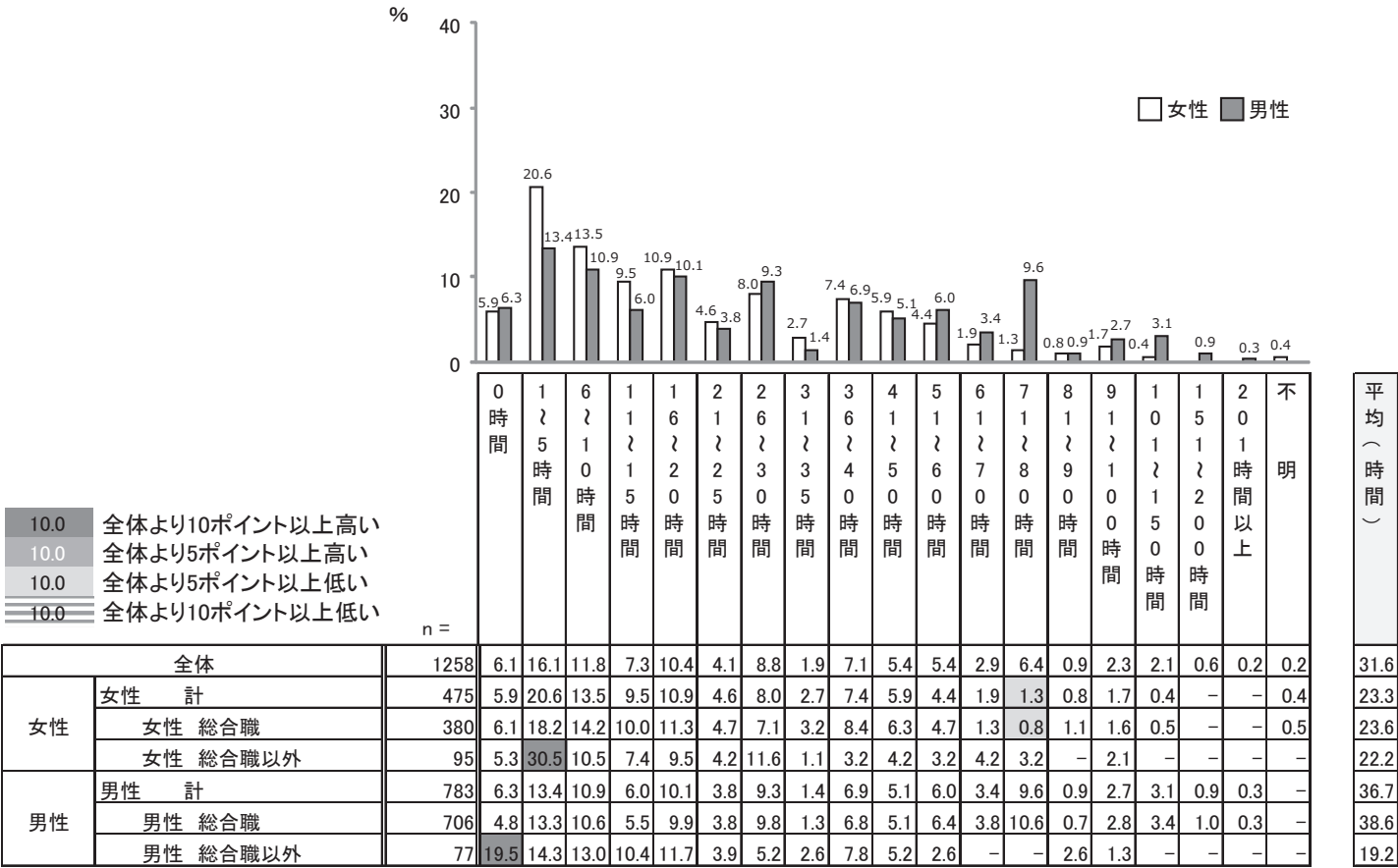


4-4. 残業時間(多かった月)

- ◆ 残業時間が最も多かった月の『女性 計』と『男性 計』の平均残業時間を比べると、女性は23.3時間、男性は36.7時間と、男性の方が約13時間多い。
また、『男性 総合職』の平均残業時間は『男性 総合職以外』の約2倍。
一方、『女性 総合職』と『女性 総合職以外』では大きな違いは見られない。
- ◆ 『女性 計』と『男性 計』を比べると、「1～5時間」の割合は女性の方が高く、「71～80時間」の割合は男性の方がやや高い。

Q4. 1ヶ月あたりの残業時間は何時間ぐらいですか。これまでで、残業が「最も多かった月」「最も少なかった月」それぞれについてお答えください。月ごとの違いがほとんどない方は、同じ数字をご記入ください。(自由回答)

4-4-2. 残業時間(多かった月)

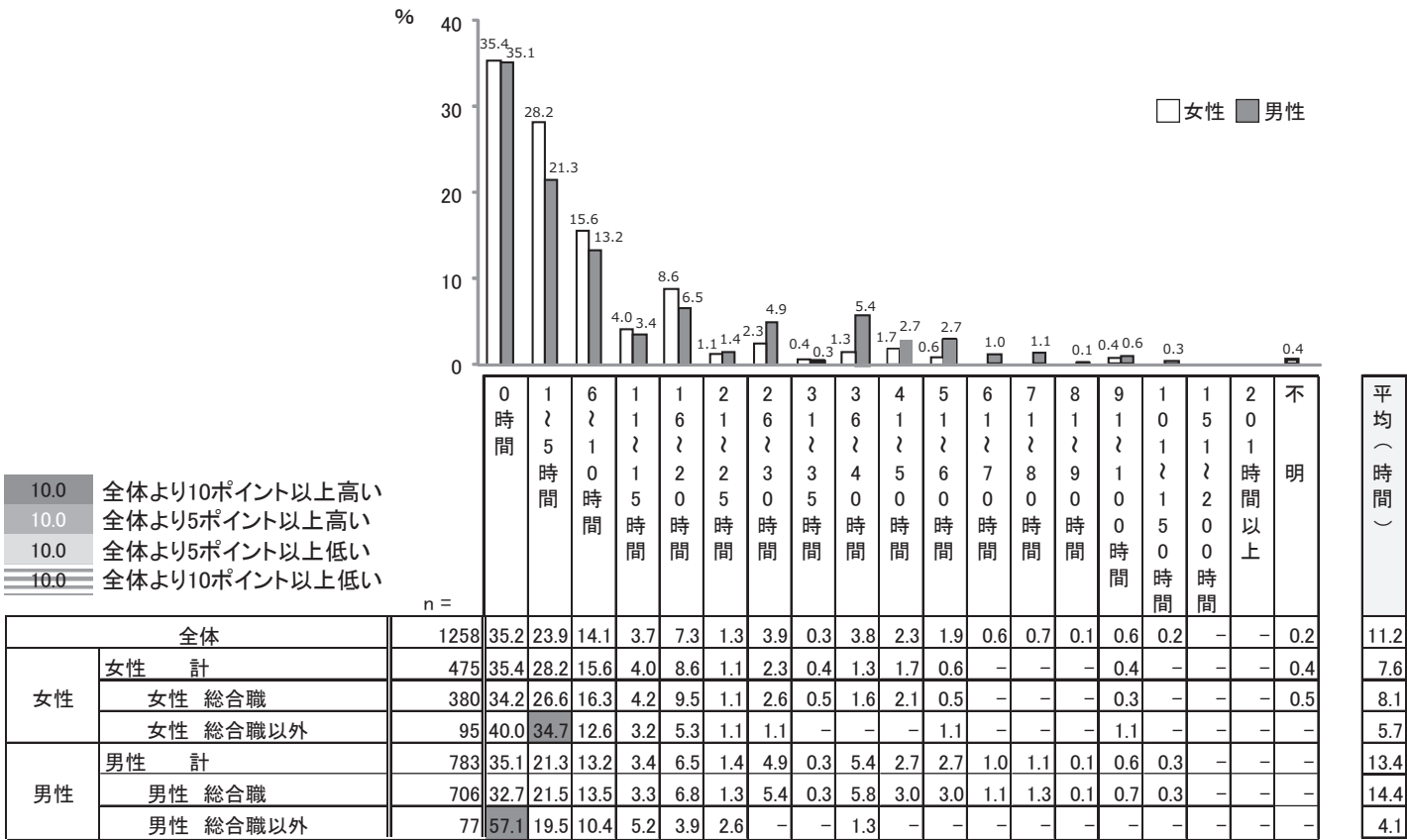


4-4. 残業時間(少なかった月)

- ◆ 残業時間が最も少なかった月の『女性 計』と『男性 計』平均残業時間を比べると、女性は7.6時間、男性13.4時間と、男性の方が約6時間多い。
また、『男性 総合職』は『男性 総合職以外』より平均残業時間が約10時間多い。
一方、『女性 総合職』と『女性 総合職以外』では大きな違いは見られない。
- ◆ 『女性 計』と『男性 計』を比べると、「1～5時間」の割合は女性の方がやや高い。

Q4. 1ヶ月あたりの残業時間は何時間ぐらいですか。これまでで、残業が「最も多かった月」「最も少なかった月」それぞれについてお答えください。月ごとの違いがほとんどない方は、同じ数字をご記入ください。(自由回答)

4-4-3. 残業時間(少なかった月)

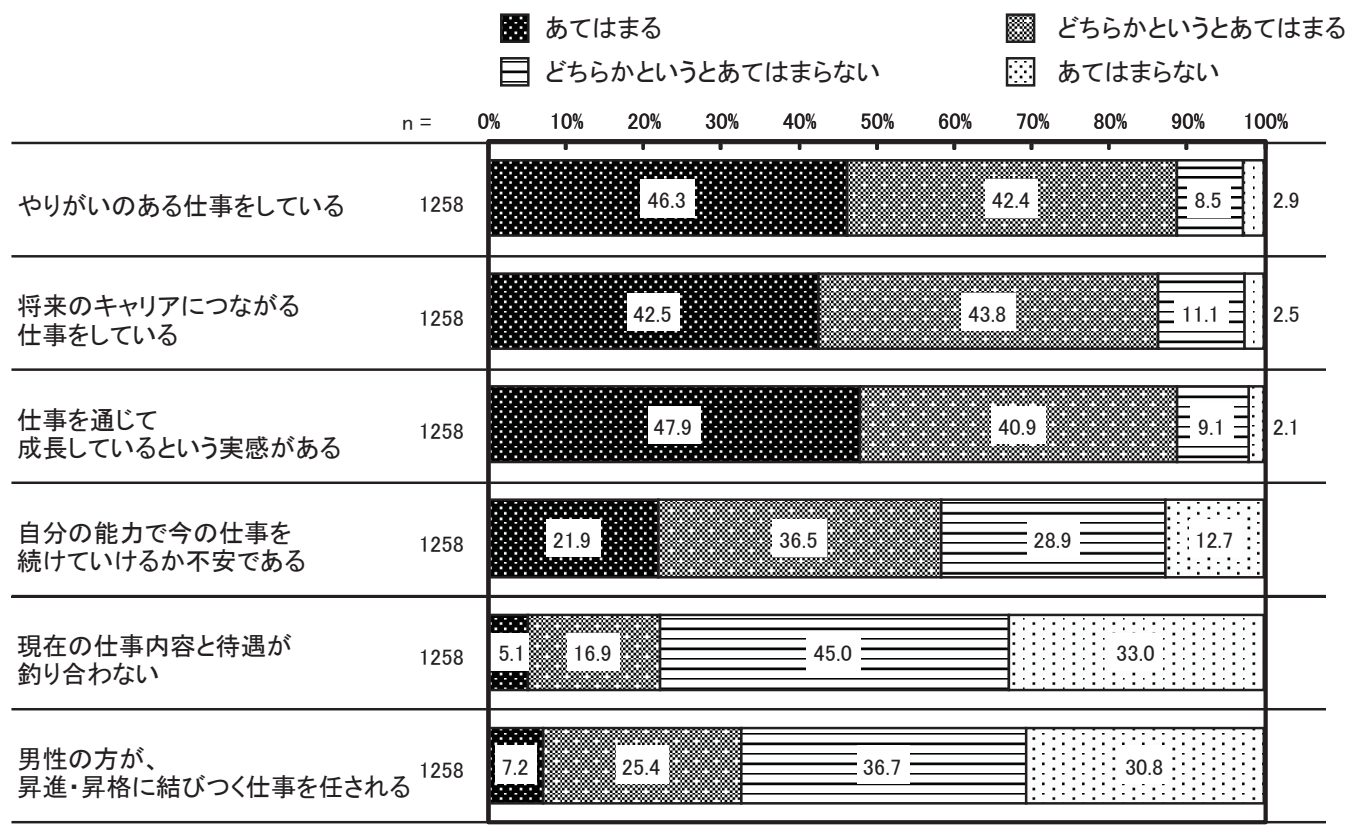


4-5. 現在の仕事に感じていること

- ◆ 現在の仕事に感じていることについて「あてはまる＋どちらかという」とあてはまる」のスコアは、高い順に『仕事を通じて成長しているという実感がある』が88.7%、『やりがいのある仕事をしている』が88.6%、『将来のキャリアにつながる仕事をしている』が86.3%である。
- ◆ 『男性の方が、昇進・昇格に結びつく仕事を任される』、『現在の仕事内容と待遇が釣り合わない』の「あてはまる」は、他の項目と比べて特に低い。
- ◆ 『自分の能力で今の仕事を続けていけるか不安である』は、他の項目と比べて「あてはまる＋どちらかという」とあてはまる」のスコアと「どちらかという」とあてはまらない＋あてはまらない」のスコアの差が小さい。

Q5. 現在の仕事について、次のことがらはどの程度あてはまりますか。（単一回答）

4-5-1. 現在の仕事に感じていること

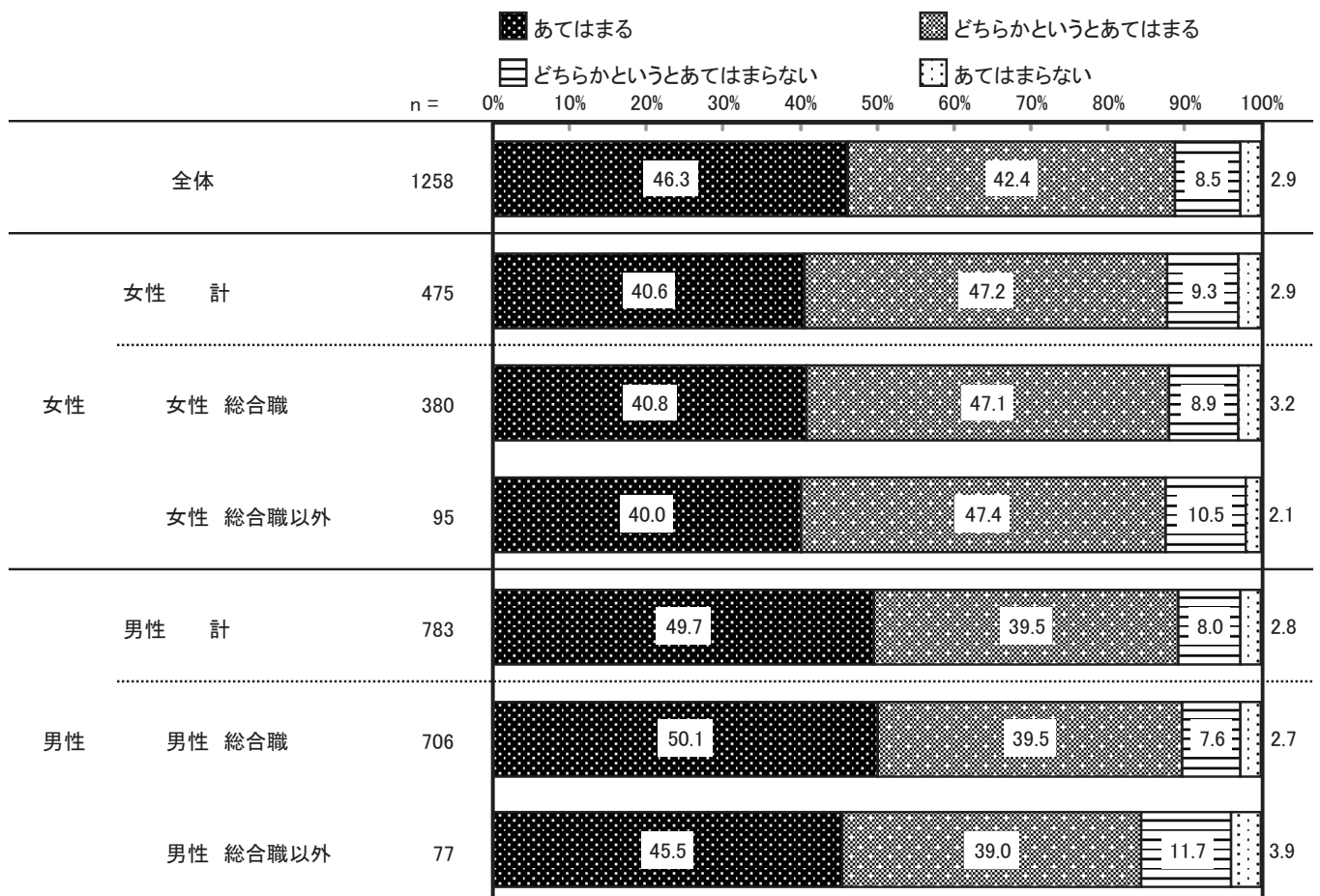


4-5. 現在の仕事に感じていること (やりがいのある仕事をしている)

◆「やりがいのある仕事をしている」については、『女性 計』と『男性 計』を比べると、「あてはまる」のスコアは男性の方がやや高い。

Q5. 現在の仕事について、次のことがらはどの程度あてはまりますか。(単一回答)

4-5-2. 現在の仕事に感じていること 【やりがいのある仕事をしている】

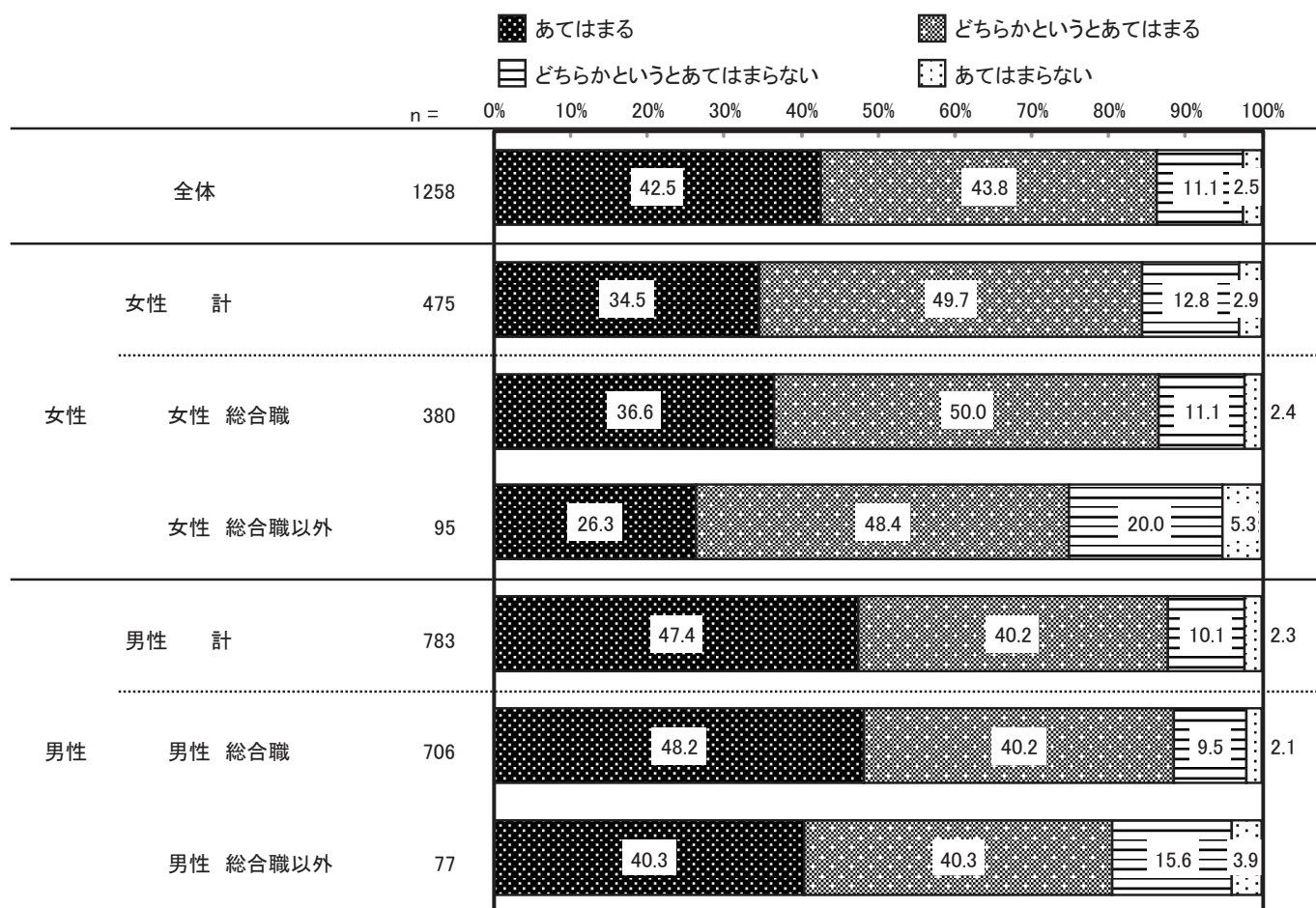


4-5. 現在の仕事に感じていること (将来のキャリアにつながる仕事をしている)

- ◆「将来のキャリアにつながる仕事をしている」については、『女性 計』と『男性 計』を比べると、「あてはまる」のスコアは男性の方が高い。
- ◆『女性 総合職』と『女性 総合職以外』の「あてはまる」のスコアを比べると、『女性 総合職』の方が高い。

Q5. 現在の仕事について、次のことがらはどの程度あてはまりますか。(単一回答)

4-5-3. 現在の仕事に感じていること 【将来のキャリアにつながる仕事をしている】

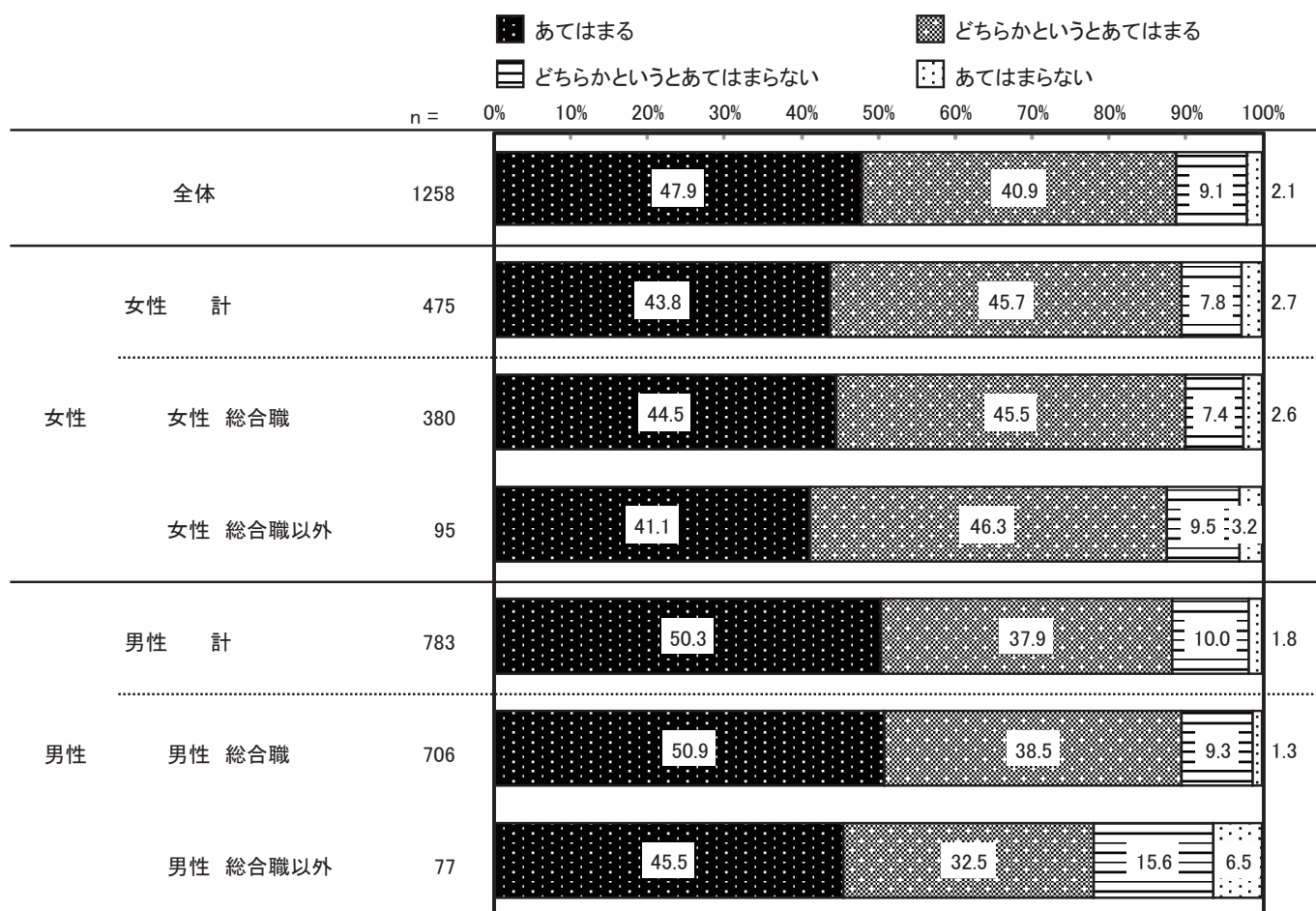


4-5. 現在の仕事に感じていること (仕事を通じて成長しているという実感がある)

◆「仕事を通じて成長しているという実感がある」については、『女性 計』と『男性 計』を比べると、「あてはまる」のスコアは男性の方がやや高い。

Q5. 現在の仕事について、次のことがらはどの程度あてはまりますか。(単一回答)

4-5-4. 現在の仕事に感じていること 【仕事を通じて成長しているという実感がある】



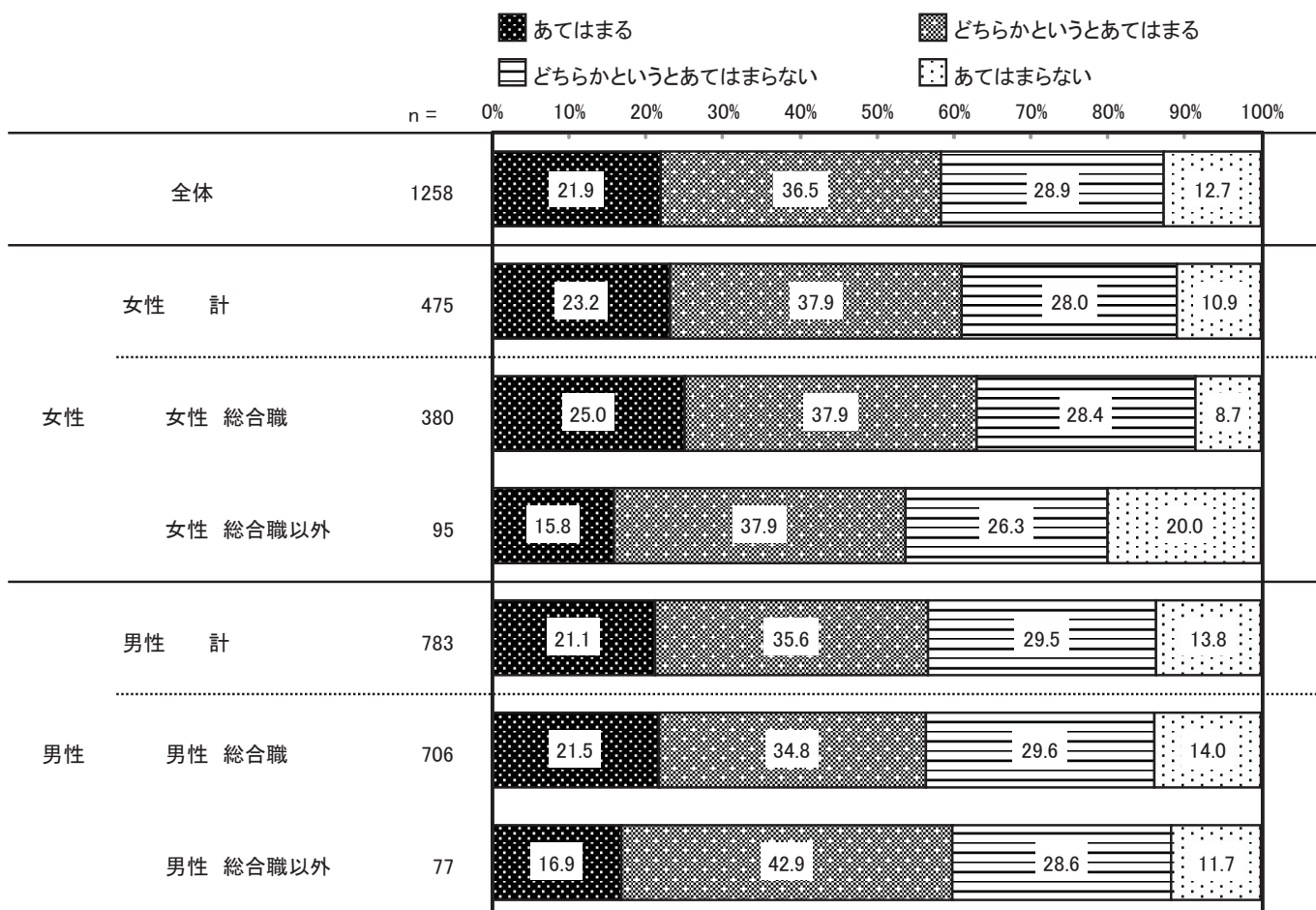
4-5. 現在の仕事に感じていること

(自分の能力で今の仕事を続けていけるか不安である)

- ◆「自分の能力で今の仕事を続けていけるか不安である」については、『女性 計』の「あてはまる＋どちらかというにあてはまる」のスコアは61.1%、『男性 計』の「あてはまる＋どちらかというにあてはまる」のスコアは56.7%と、大きな差は見られない。
- ◆『女性 総合職』と『女性 総合職以外』の「あてはまる」のスコアを比べると、『女性 総合職』の方がやや高い。

Q5. 現在の仕事について、次のことがらはどの程度あてはまりますか。(単一回答)

4-5-5. 現在の仕事に感じていること
【自分の能力で今の仕事を続けていけるか不安である】

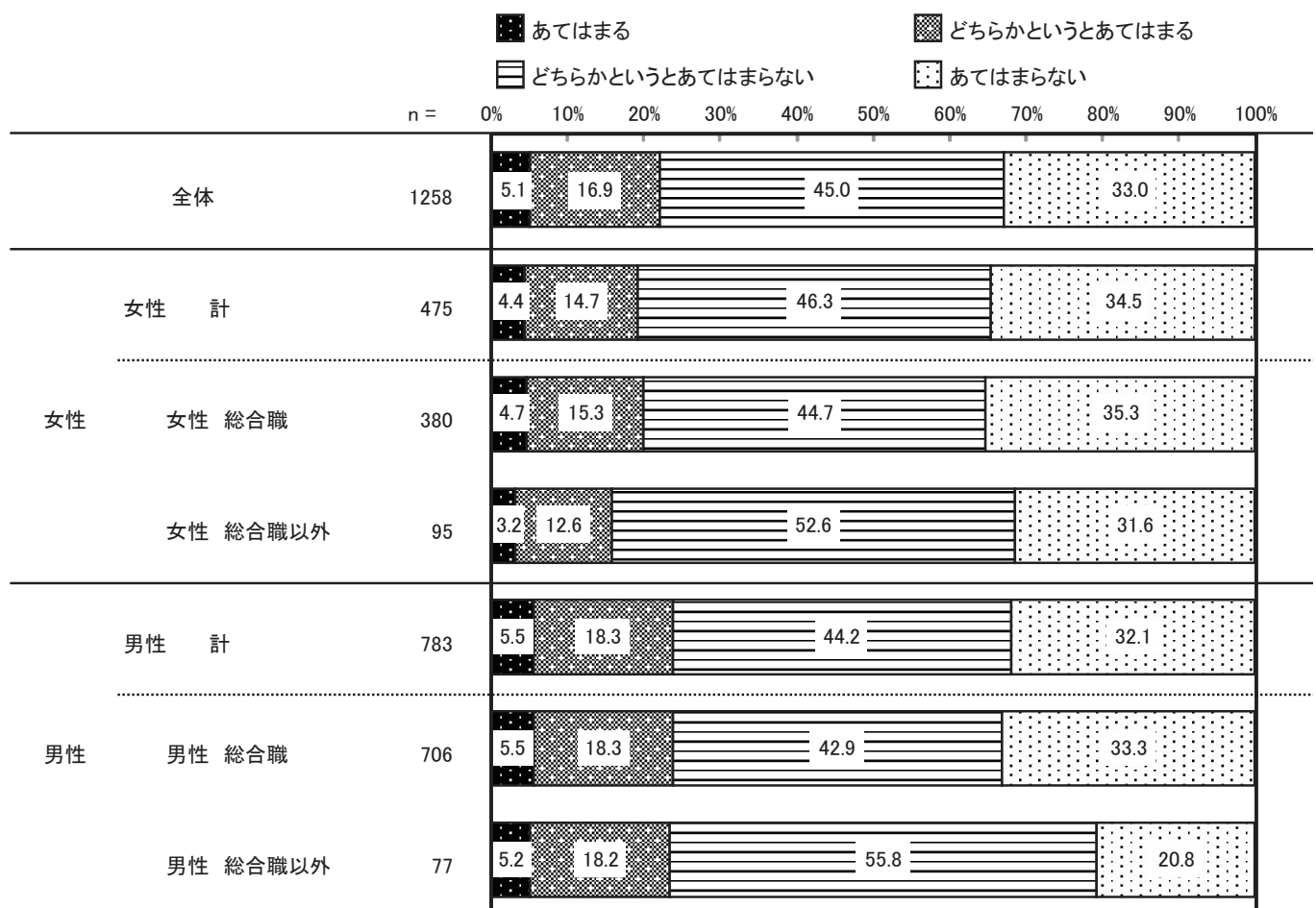


4-5. 現在の仕事に感じていること (現在の仕事内容と待遇が釣り合わない)

◆「現在の仕事内容と待遇が釣り合わない」については、『女性 計』の「あてはまる+どちらかというあてはまる」のスコアは19.2%、『男性 計』の「あてはまる+どちらかというあてはまる」のスコアは23.8%と、大きな差は見られない。

Q5. 現在の仕事について、次のことがらはどの程度あてはまりますか。(単一回答)

4-5-6. 現在の仕事に感じていること 【現在の仕事内容と待遇が釣り合わない】



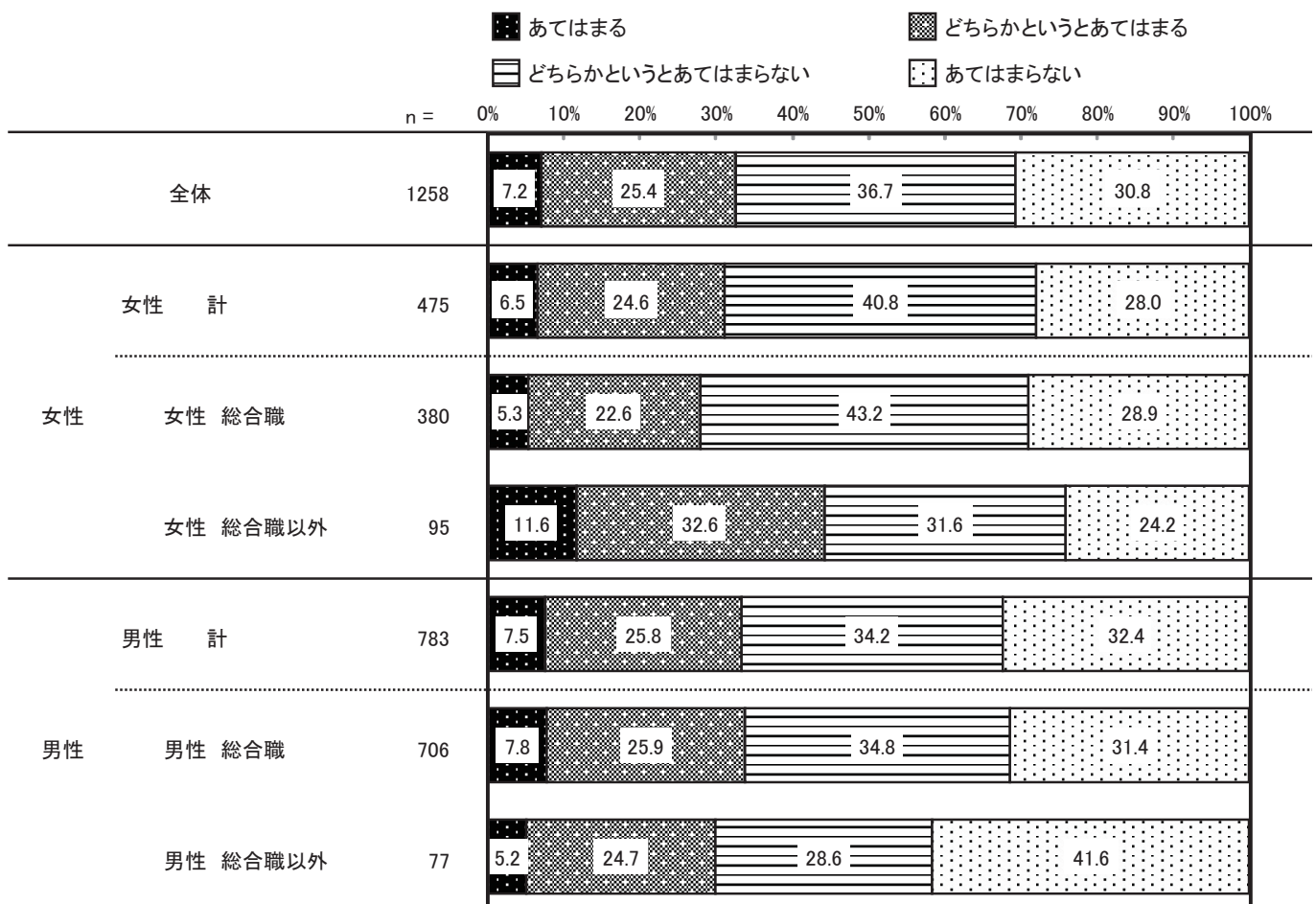
4-5. 現在の仕事に感じていること

(男性の方が、昇進・昇格に結びつく仕事を任される)

- ◆「男性の方が、昇進・昇格に結びつく仕事を任される」については、『女性 計』の「あてはまる+どちらかというにあてはまる」のスコアは31.2%、『男性 計』の「あてはまる+どちらかというにあてはまる」のスコアは33.3%と、大きな差は見られない。
- ◆『女性 総合職以外』の「あてはまる+どちらかというにあてはまる」のスコアは、他の層と比べて特に高い。

Q5. 現在の仕事について、次のことがらはどの程度あてはまりますか。(単一回答)

4-5-7. 現在の仕事に感じていること
【男性の方が、昇進・昇格に結びつく仕事を任される】

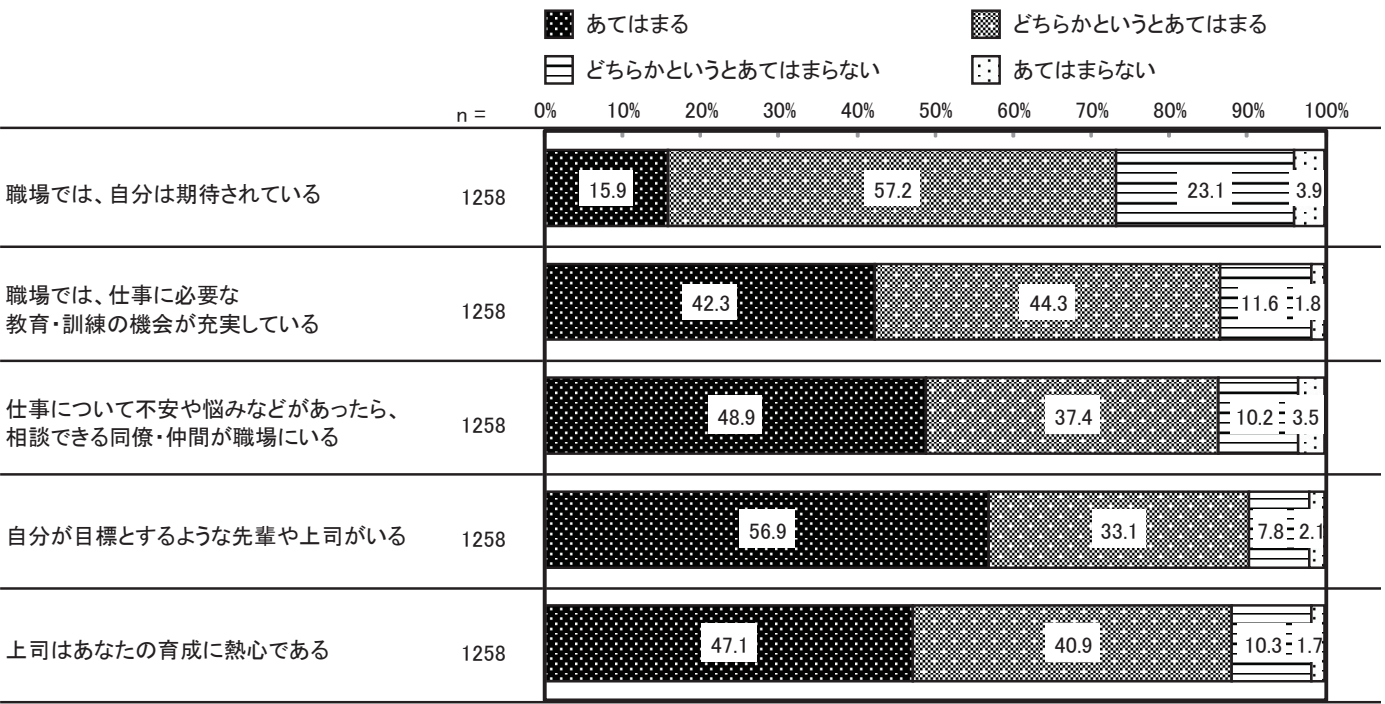


4-6. 現在の職場環境

- ◆ 現在の職場環境に感じていることについて、「あてはまる＋どちらかという」とあてはまる」のスコアは、『自分が目標とするような先輩や上司がいる』が90.1%と最も高い。それに『上司はあなたの育成に熱心である』が88.0%、『職場では、仕事に必要な教育・訓練の機会が充実している』が86.6%、『仕事について不安や悩みなどがあつたら、相談できる同僚・仲間が職場にいる』が86.3%、『職場では、自分は期待されている』が73.1%と続く。
- ◆ 『職場では、自分は期待されている』の「あてはまる」のスコアは、他の項目と比べて特に低い。

Q6. 現在の職場環境について、次のことがらはどの程度あてはまりますか。（単一回答）

4-6-1. 現在の職場環境

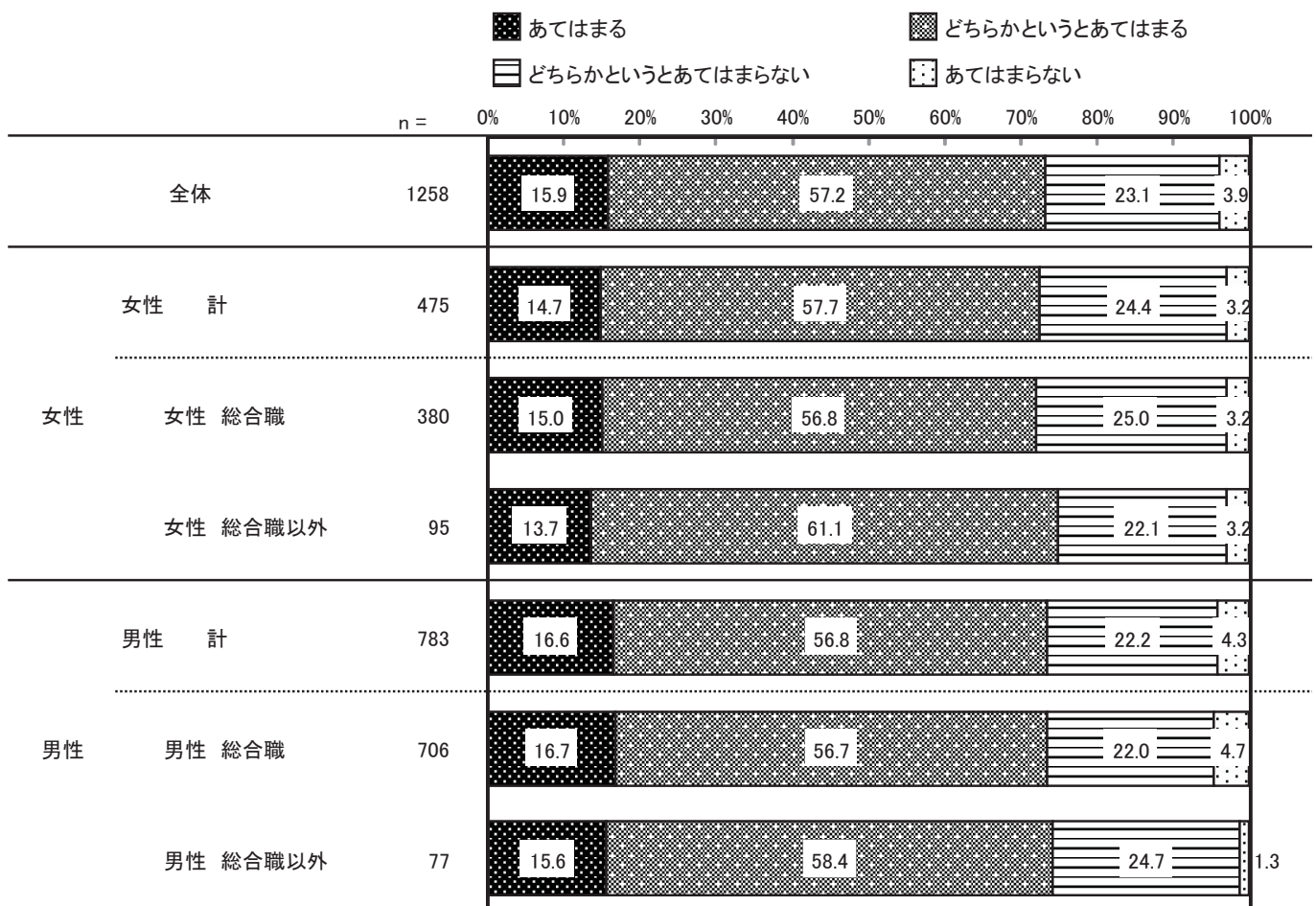


4-6. 現在の職場環境 (職場では、自分は期待されている)

◆「職場では、自分は期待されている」については、『女性 計』の「あてはまる+どちらか」というとあてはまる」のスコアは72.4%、『男性 計』の「あてはまる+どちらか」というとあてはまる」のスコアは73.4%と、大きな差は見られない。

Q6. 現在の職場環境について、次のことがらはどの程度あてはまりますか。(単一回答)

4-6-2. 現在の職場環境 【職場では、自分は期待されている】



4-6. 現在の職場環境

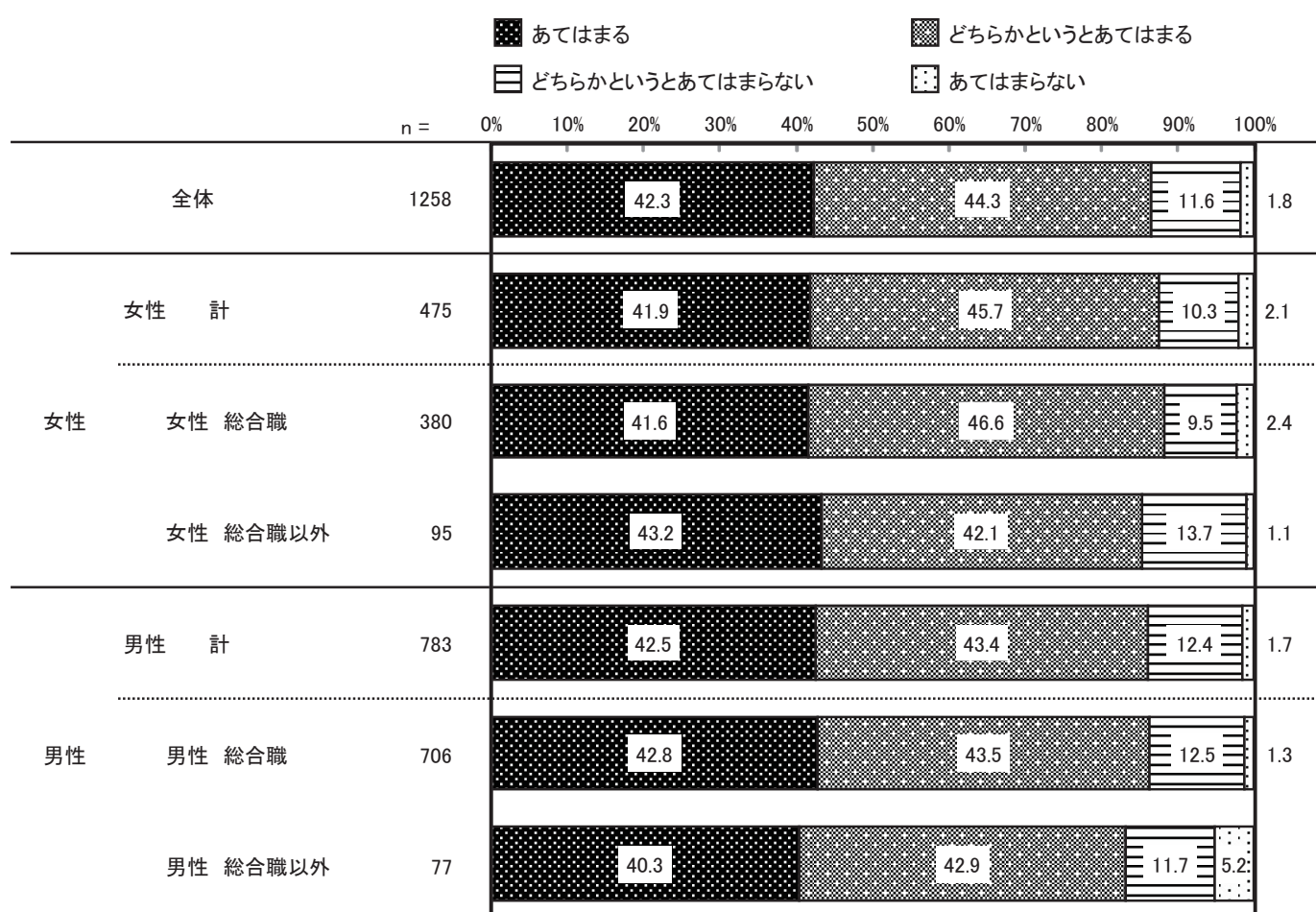
(職場では、仕事に必要な教育・訓練の機会が充実している)

◆「職場では、仕事に必要な教育・訓練の機会が充実している」については、『女性 計』の「あてはまる+どちらかという」とあてはまる」のスコアは87.6%、『男性 計』の「あてはまる+どちらかという」とあてはまる」のスコアは86.0%と、大きな差は見られない。

Q6. 現在の職場環境について、次のことがらはどの程度あてはまりますか。(単一回答)

4-6-3. 現在の職場環境

【職場では、仕事に必要な教育・訓練の機会が充実している】



4-6. 現在の職場環境

(仕事について不安や悩みなどがあつたら、相談できる同僚・仲間が職場にいる)

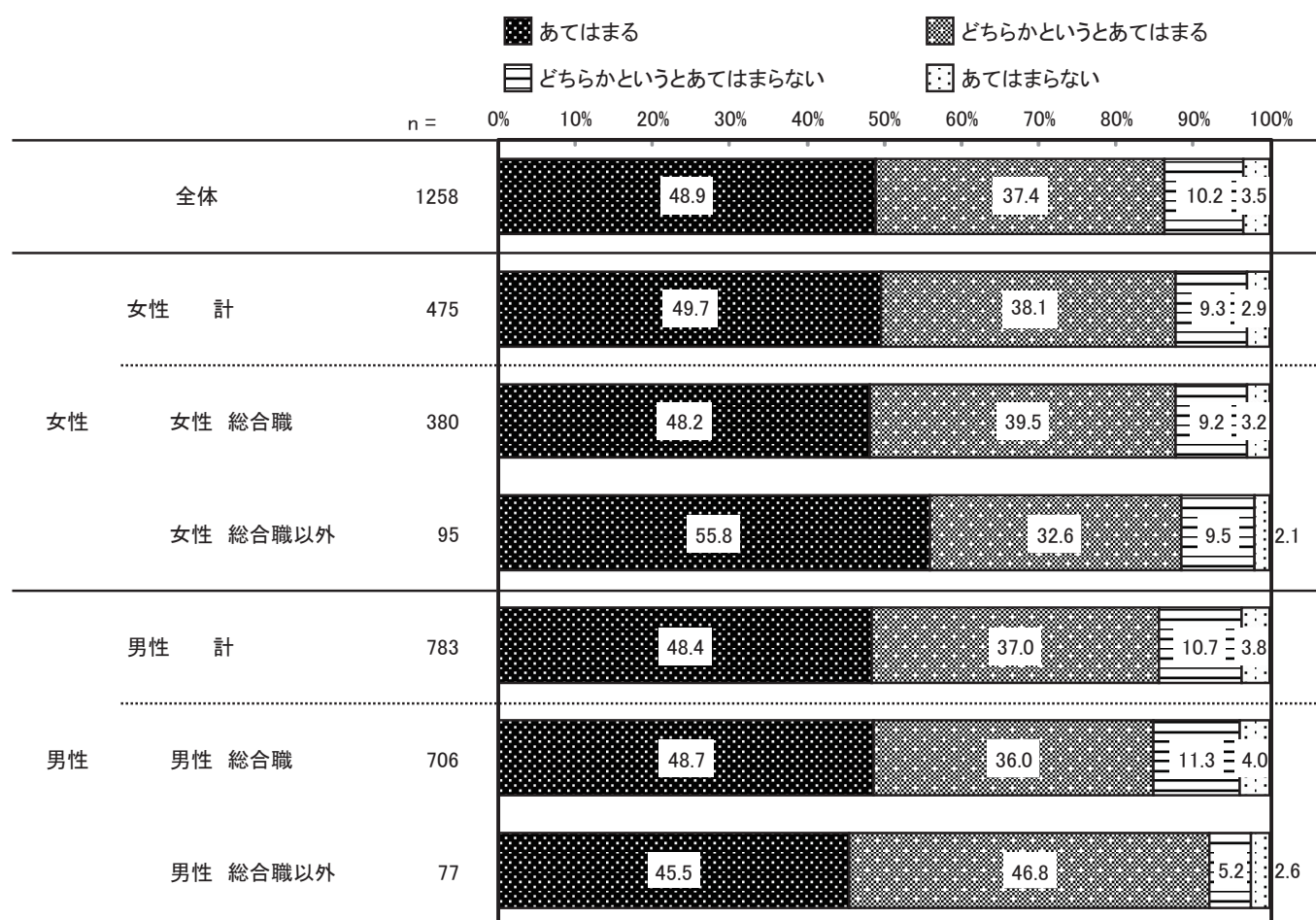
◆「仕事について不安や悩みなどがあつたら、相談できる同僚・仲間が職場にいる」については、『女性 計』の「あてはまる+どちらかというにあてはまる」のスコアは87.8%、『男性 計』の「あてはまる+どちらかというにあてはまる」のスコアは85.4%と、大きな差は見られない。

◆『女性 総合職』と『女性 総合職以外』の「あてはまる」のスコアを比べると、『女性 総合職以外』の方がやや高い。

Q6. 現在の職場環境について、次のことがらはどの程度あてはまりますか。(単一回答)

4-6-4. 現在の職場環境

【仕事について不安や悩みなどがあつたら、相談できる同僚・仲間が職場にいる】



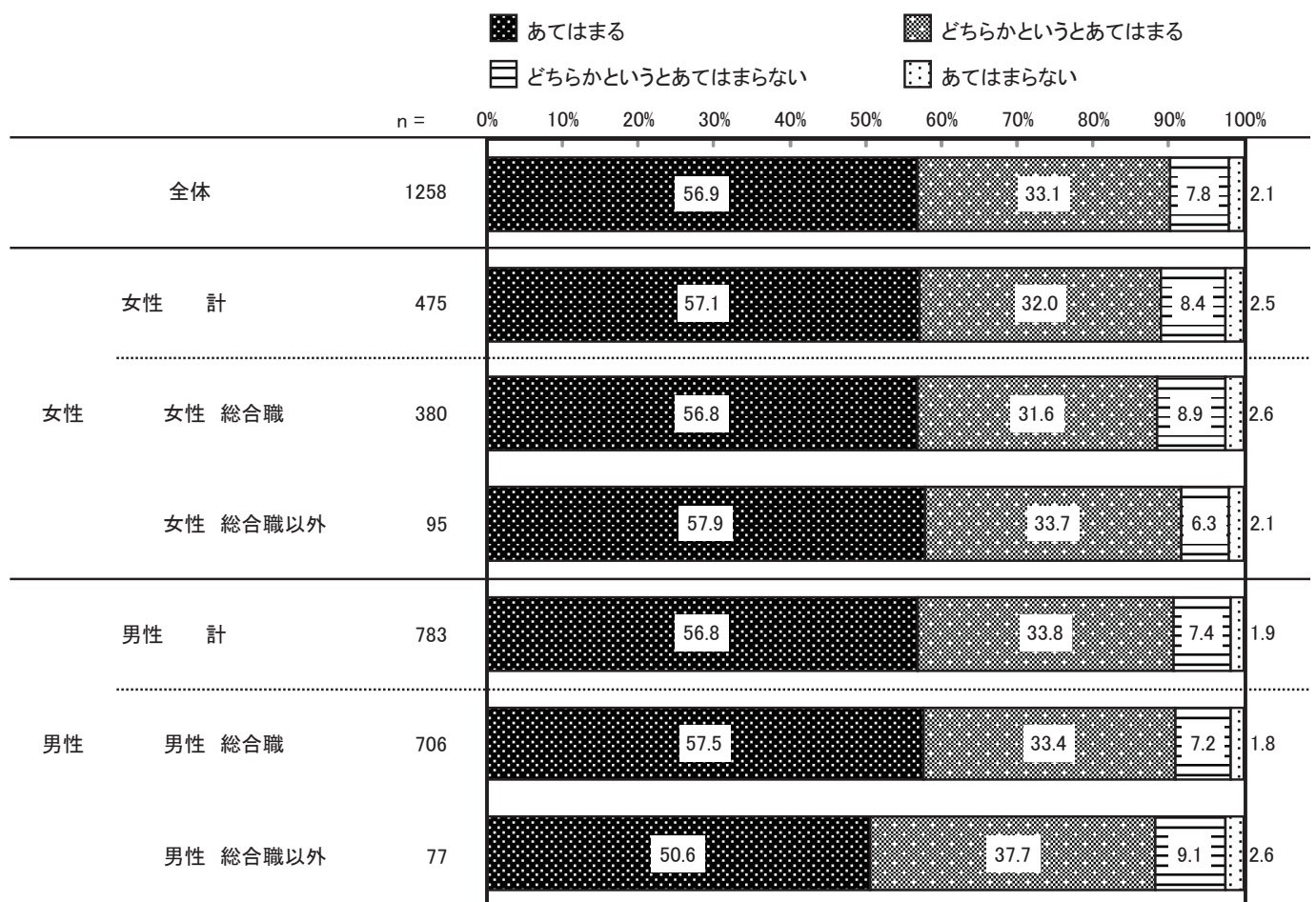
4-6. 現在の職場環境

(自分が目標とするような先輩や上司がいる)

◆「自分が目標とするような先輩や上司がいる」については、『女性 計』の「あてはまる＋どちらかというにあてはまる」のスコアは89.1%、『男性 計』の「あてはまる＋どちらかというにあてはまる」のスコアは90.7%と、大きな差は見られない。

Q6. 現在の職場環境について、次のことがらはどの程度あてはまりますか。(単一回答)

4-6-5. 現在の職場環境
【自分が目標とするような先輩や上司がいる】



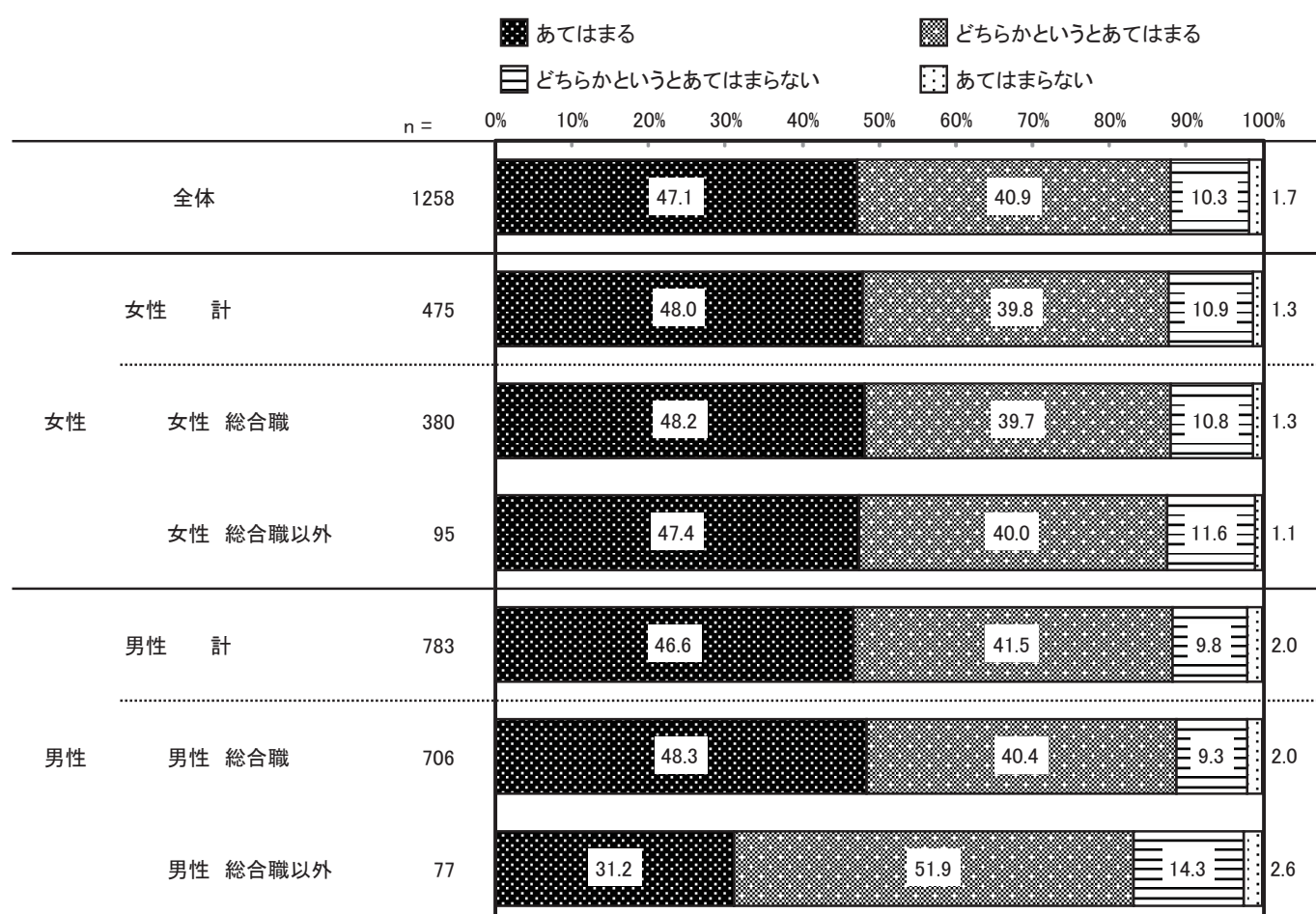
4-6. 現在の職場環境 (上司はあなたの育成に熱心である)

◆「上司はあなたの育成に熱心である」については、『女性 計』の「あてはまる+どちらかというあてはまる」のスコアは87.8%、『男性 計』の「あてはまる+どちらかというあてはまる」のスコアは88.1%と、大きな差は見られない。

◆『男性 総合職以外』の「あてはまる」のスコアは、他の層と比べて特に低い。

Q6. 現在の職場環境について、次のことがらはどの程度あてはまりますか。(単一回答)

4-6-6. 現在の職場環境 【上司はあなたの育成に熱心である】

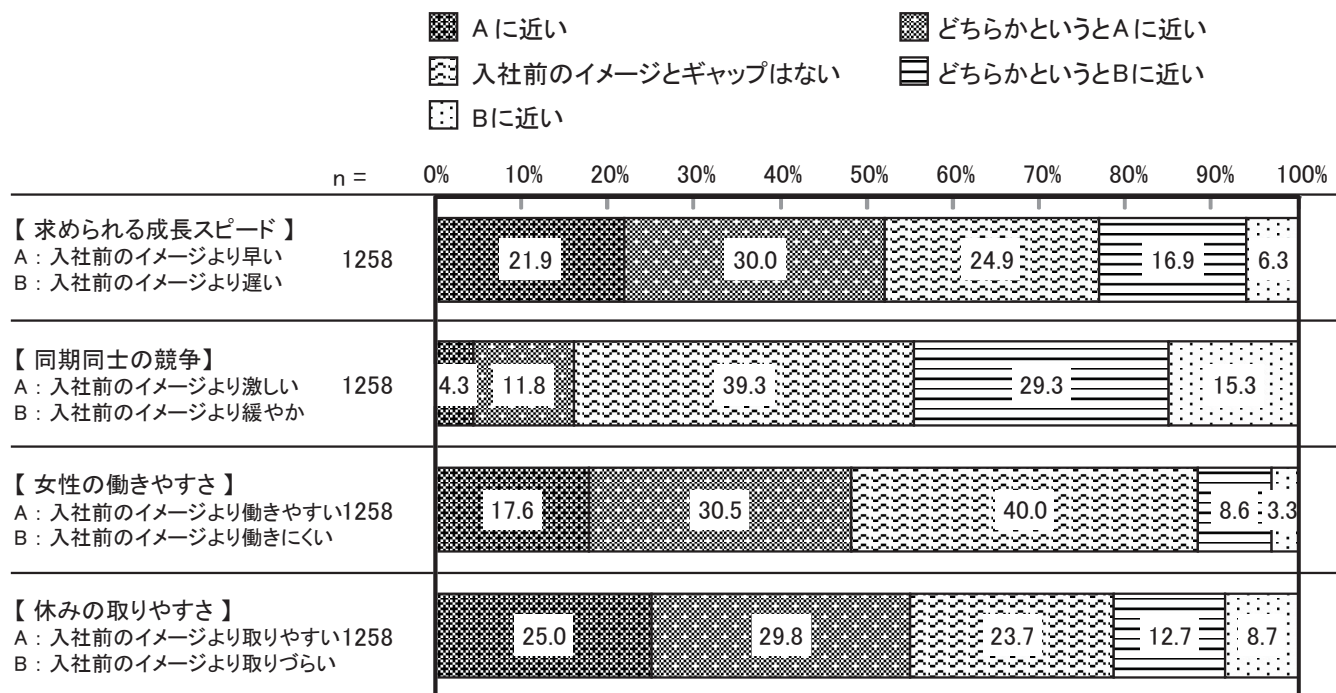


4-7. 入社前後のギャップ

- ◆『求められる成長スピード』は、入社前のイメージより早い(「Aに近い+どちらかという」とAに近い)が51.9%、「入社前のイメージとギャップはない」が24.9%、入社前のイメージより遅い(「Bに近い+どちらかという」とBに近い)が23.2%。
- ◆『同期同士の競争』は、入社前のイメージより激しい(「Aに近い+どちらかという」とAに近い)が16.1%、「入社前のイメージとギャップはない」が39.3%、入社前のイメージより緩やか(「Bに近い+どちらかという」とBに近い)が44.6%。
- ◆『女性の働きやすさ』は、入社前のイメージより働きやすい(「Aに近い+どちらかという」とAに近い)が48.2%、「入社前のイメージとギャップはない」が40.0%、入社前のイメージより働きにくい(「Bに近い+どちらかという」とBに近い)が11.8%。
- ◆『休みの取りやすさ』は、入社前のイメージより取りやすい(「Aに近い+どちらかという」とAに近い)が54.8%、「入社前のイメージとギャップはない」が23.7%、入社前のイメージより取りづらい(「Bに近い+どちらかという」とBに近い)が21.5%。

Q7. 次のことがらについて、入社前のイメージとギャップを感じることはありますか。(単一回答)

4-7-1. 入社前後のギャップ

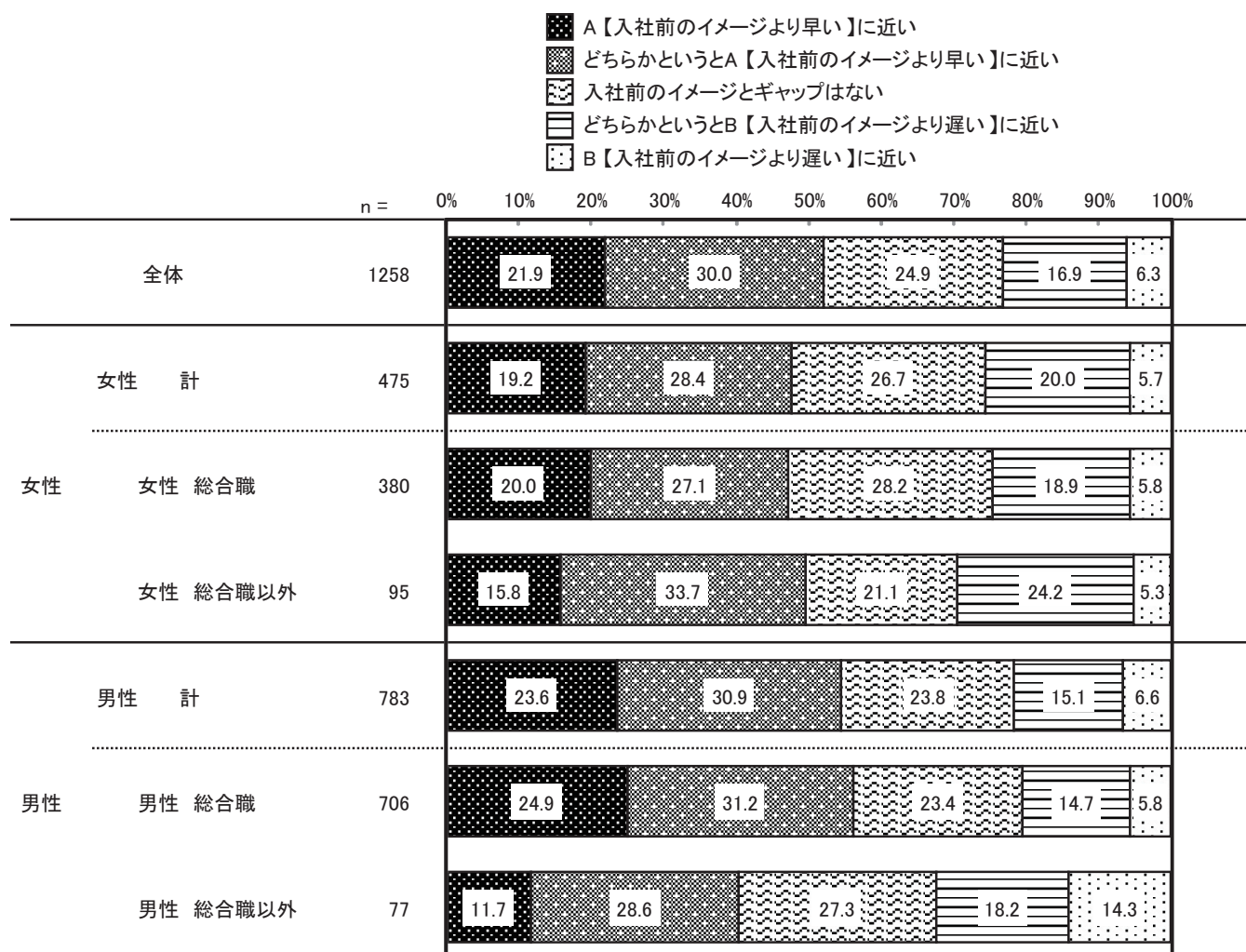


4-7. 入社前後のギャップ (求められる成長スピード)

- ◆「求められる成長スピード」については、『女性 計』と『男性 計』の「入社前のイメージより早い」に近い+どちらかというに入社前のイメージより早い」を比べると、男性の方がやや高い。
- ◆『男性 総合職』と『男性 総合職以外』の「入社前のイメージより早い」に近い」を比べると、『男性 総合職』の方が高い。
一方、『女性 総合職』と『女性 総合職以外』では大きな差は見られない。

Q7. 次のことがらについて、入社前のイメージとギャップを感じることはありますか。(単一回答)

4-7-2. 入社前後のギャップ 【求められる成長スピード】

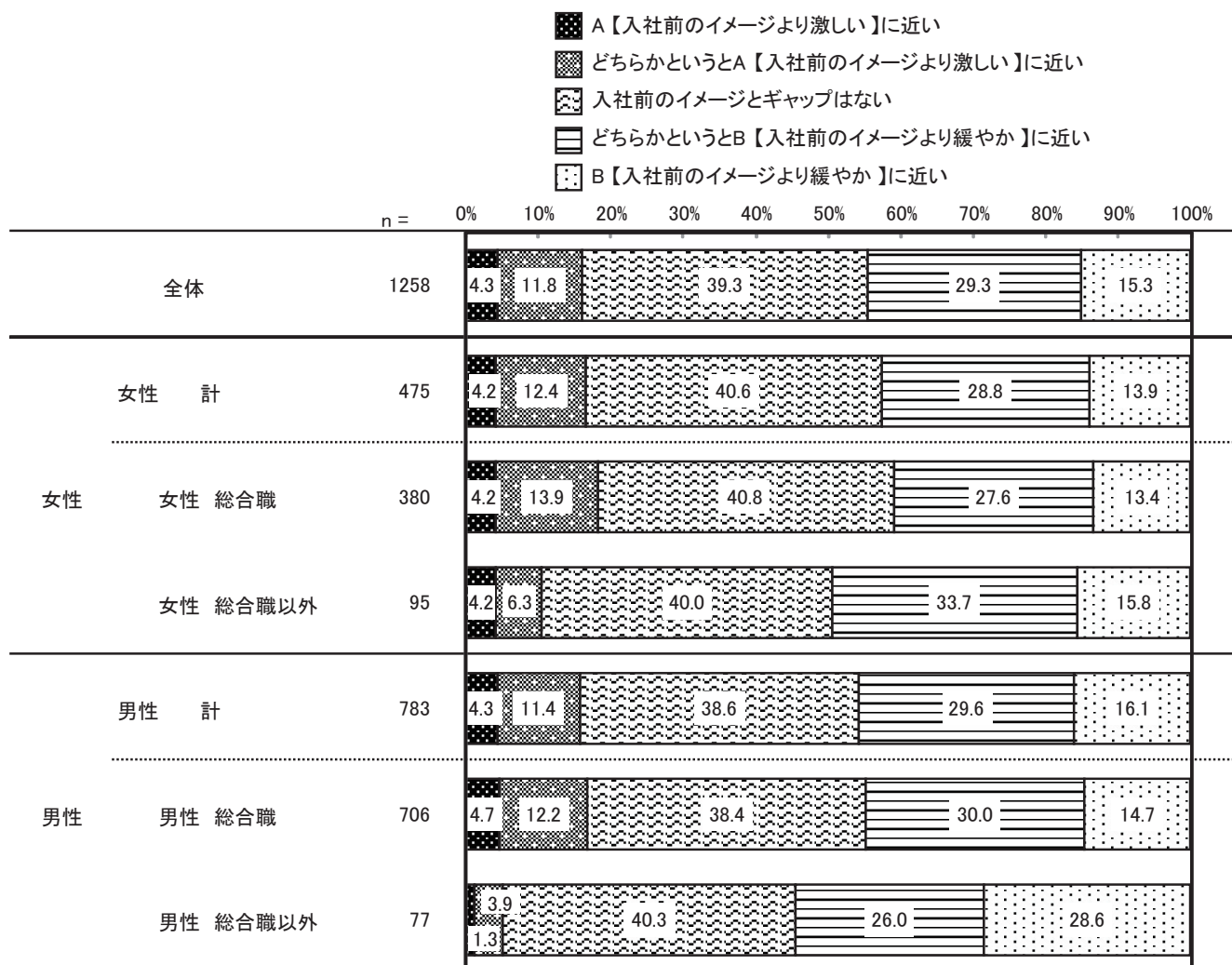


4-7. 入社前後のギャップ (同期同士の競争)

- ◆「同期同士の競争」については、『女性 計』の「入社前のイメージより激しいに近い＋どちらかというに入社前のイメージより激しいに近い」は16.6%、「どちらかというに入社前のイメージより緩やかに近い＋入社前のイメージより緩やかに近い」は42.7%、『男性 計』の「入社前のイメージより激しいに近い＋どちらかというに入社前のイメージより激しいに近い」は15.7%、「どちらかというに入社前のイメージより緩やかに近い＋入社前のイメージより緩やかに近い」は45.7%と、大きな差は見られない。
- ◆『女性 総合職』と『女性 総合職以外』の「入社前のイメージより激しいに近い＋どちらかというに入社前のイメージより激しいに近い」を比べると、『女性 総合職』の方がやや高い。

Q7. 次のことがらについて、入社前のイメージとギャップを感じることはありますか。(単一回答)

4-7-3. 入社前後のギャップ 【同期同士の競争】



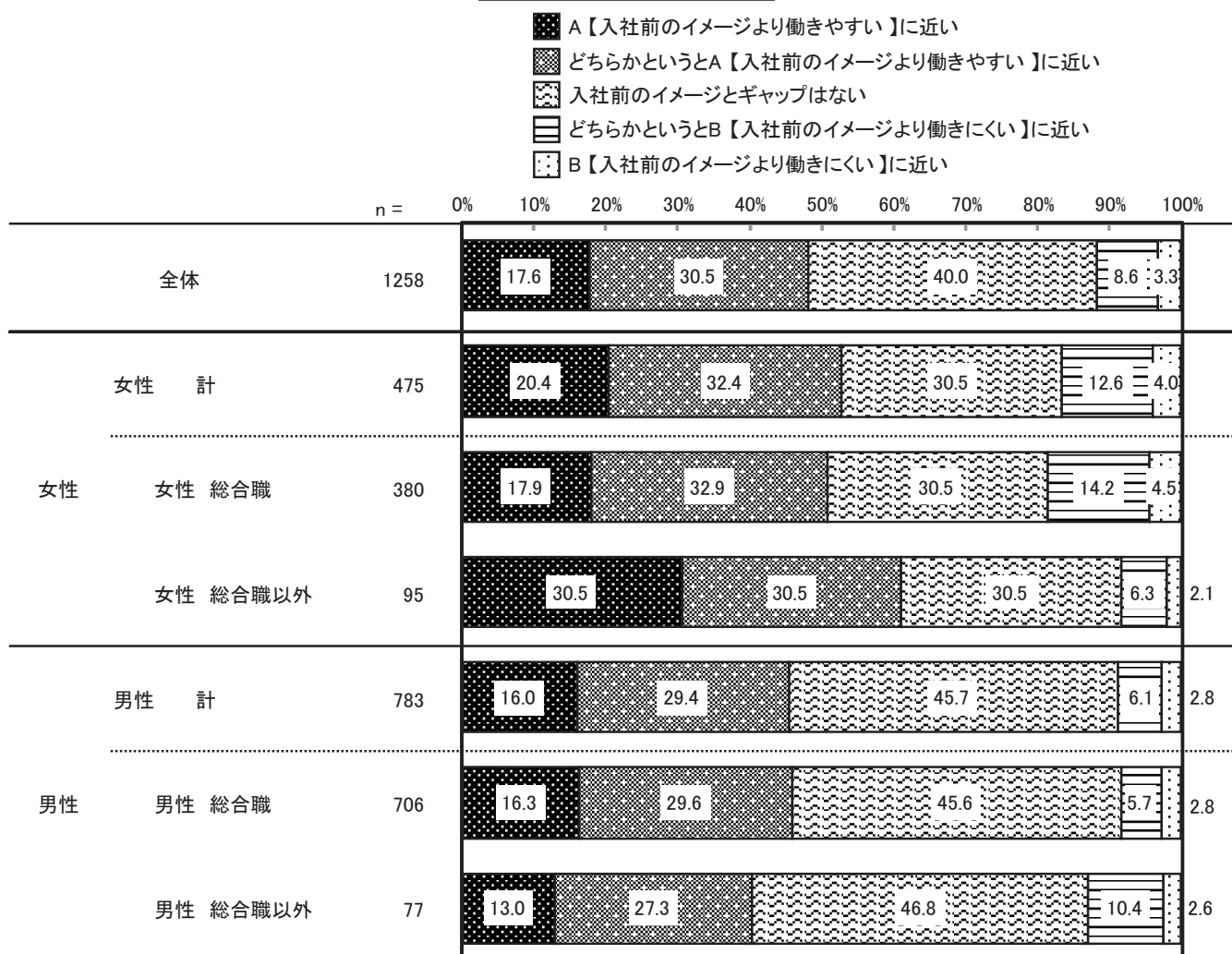
4-7. 入社前後のギャップ (女性の働きやすさ)

◆「女性の働きやすさ」については、『女性 計』と『男性 計』を比べると、「入社前のイメージより働きやすいに近い+どちらかというに入社前のイメージより働きやすいに近い」でも「どちらかというに入社前のイメージより働きにくいに近い+入社前のイメージより働きにくいに近い」でも女性の方がやや高い。

◆『女性 総合職以外』の「入社前のイメージより働きやすいに近い」のスコアは、他の層と比べて特に高い。

Q7. 次のことがらについて、入社前のイメージとギャップを感じることはありますか。(単一回答)

4-7-4. 入社前後のギャップ 【女性の働きやすさ】

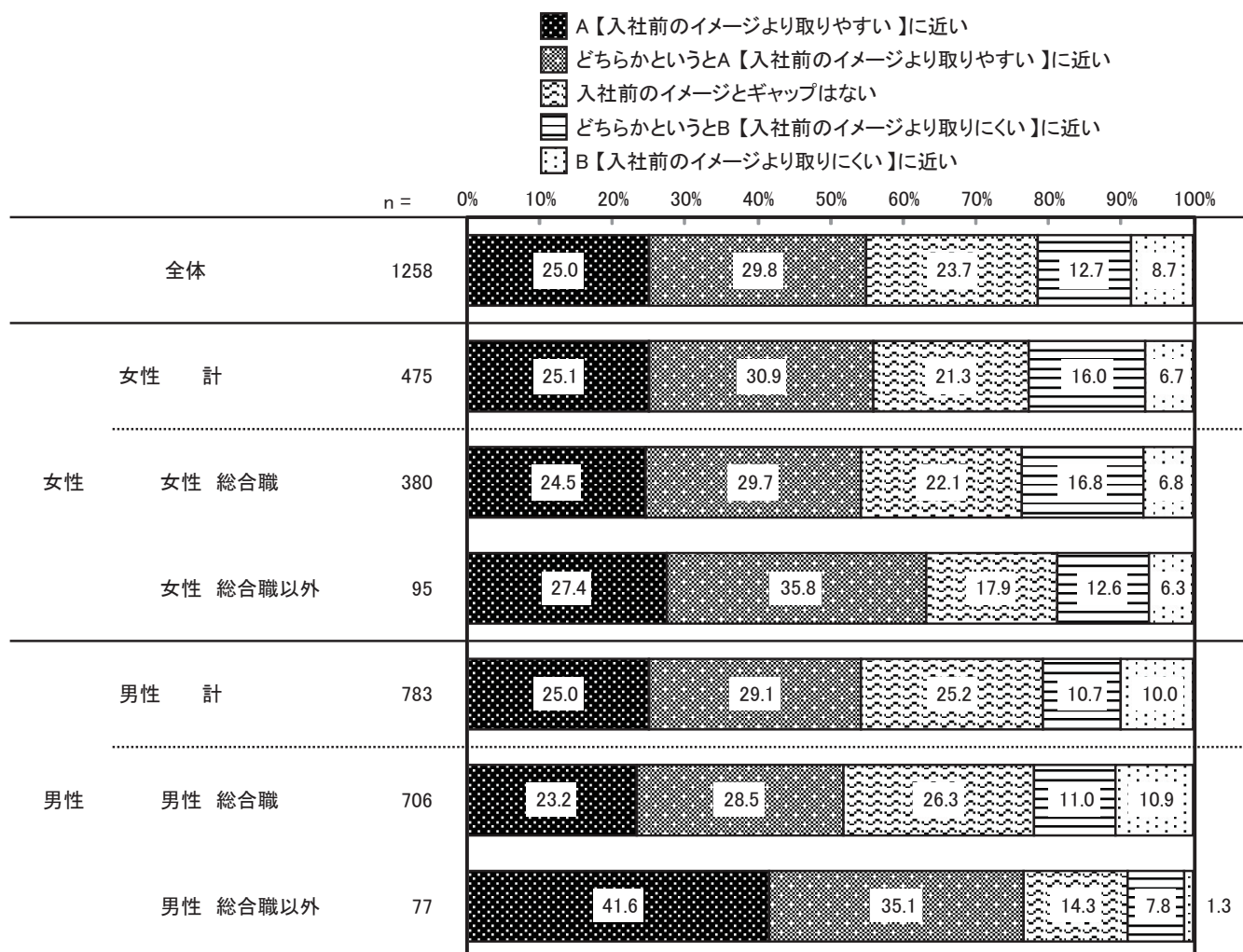


4-7. 入社前後のギャップ (休みの取りやすさ)

- ◆「休みの取りやすさ」については、『女性 計』の「入社前のイメージより取りやすいに近い+どちらかというに入社前のイメージより取りやすいに近い」は56.0%、「どちらかというに入社前のイメージより取りにくいに近い+入社前のイメージより取りにくいに近い」は22.7%、『男性 計』の「入社前のイメージより取りやすいに近い+どちらかというに入社前のイメージより取りやすいに近い」は54.2%、「どちらかというに入社前のイメージより取りにくいに近い+入社前のイメージより取りにくいに近い」は20.7%と、大きな差は見られない。
- ◆『男性 総合職以外』の「入社前のイメージより取りやすいに近い」のスコアは、他の層と比べて高い。『女性 総合職』と『女性 総合職以外』では大きな差は見られない。

Q7. 次のことがらについて、入社前のイメージとギャップを感じることはありますか。(単一回答)

4-7-5. 入社前後のギャップ 【休みの取りやすさ】

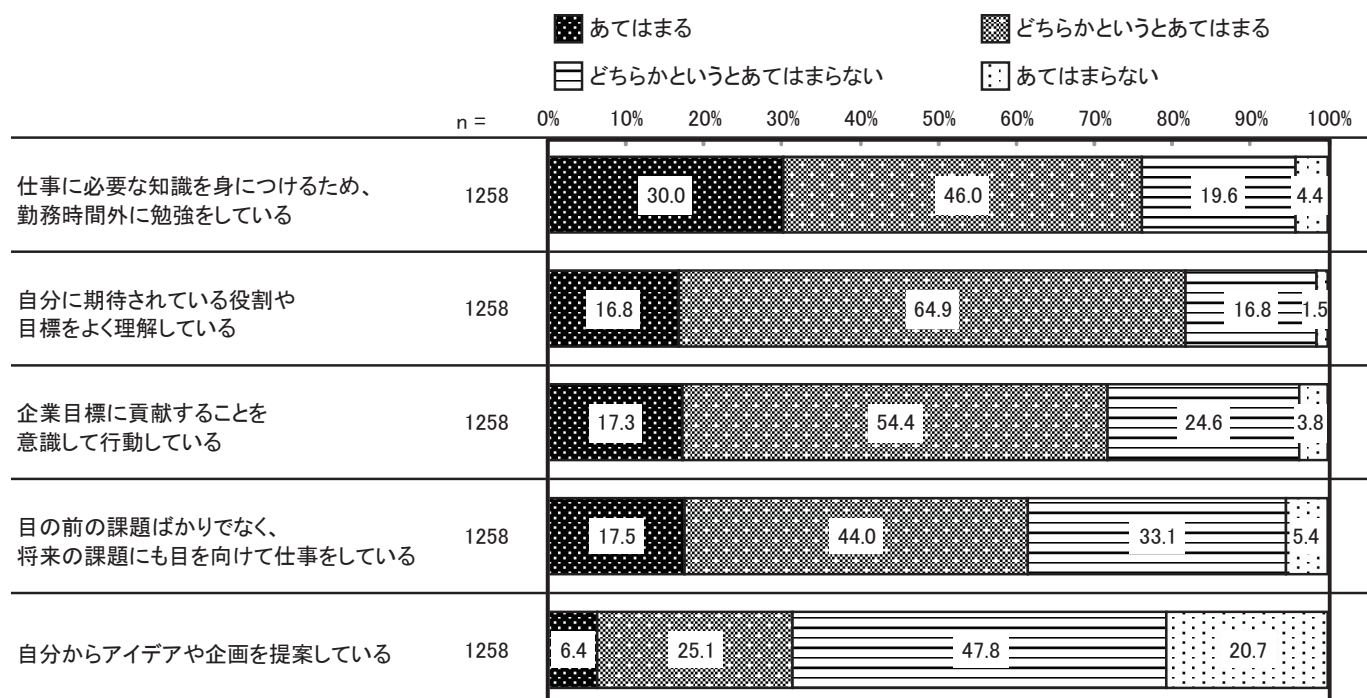


4-8. 現在の仕事に対する意識・行動

- ◆ 現在の仕事に対する意識・行動の「あてはまる＋どちらかという」と「あてはまる」のスコアは、『自分に期待されている役割や目標をよく理解している』が81.7%と最も高い。それに『仕事に必要な知識を身につけるため、勤務時間外に勉強をしている』が76.1%、『企業目標に貢献することを意識して行動している』が71.6%と続く。
- ◆ 『自分からアイデアや企画を提案している』の「あてはまる＋どちらかという」と「あてはまる」のスコアは、他の項目と比べて低い。

Q8. ご自身のお仕事について、以下の項目はどの程度あてはまりますか。（単一回答）

4-8-1. 現在の仕事に対する意識・行動



4-8. 現在の仕事に対する意識・行動

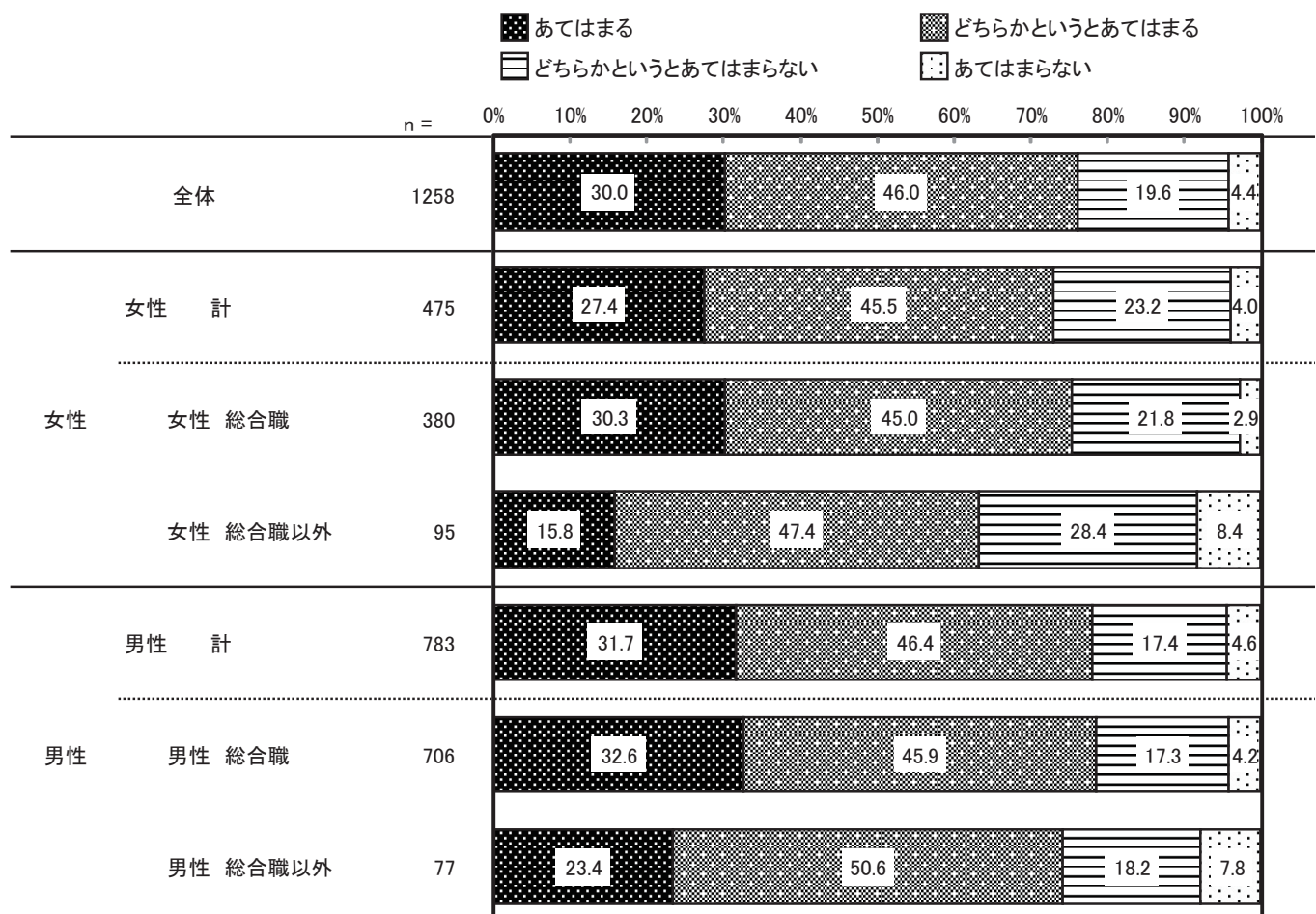
(仕事に必要な知識を身につけるため、勤務時間外に勉強をしている)

- ◆「仕事に必要な知識を身につけるため、勤務時間外に勉強をしている」については、『女性 計』と『男性 計』の「あてはまる+どちらかというにあてはまる」のスコアを比べると、男性の方がやや高い。
- ◆『女性 総合職』と『女性 総合職以外』の「あてはまる」のスコアを比べると、『女性 総合職』の方が高い。

Q8. ご自身のお仕事について、以下の項目はどの程度あてはまりますか。(単一回答)

4-8-2. 現在の仕事に対する意識・行動

【仕事に必要な知識を身につけるため、勤務時間外に勉強をしている】



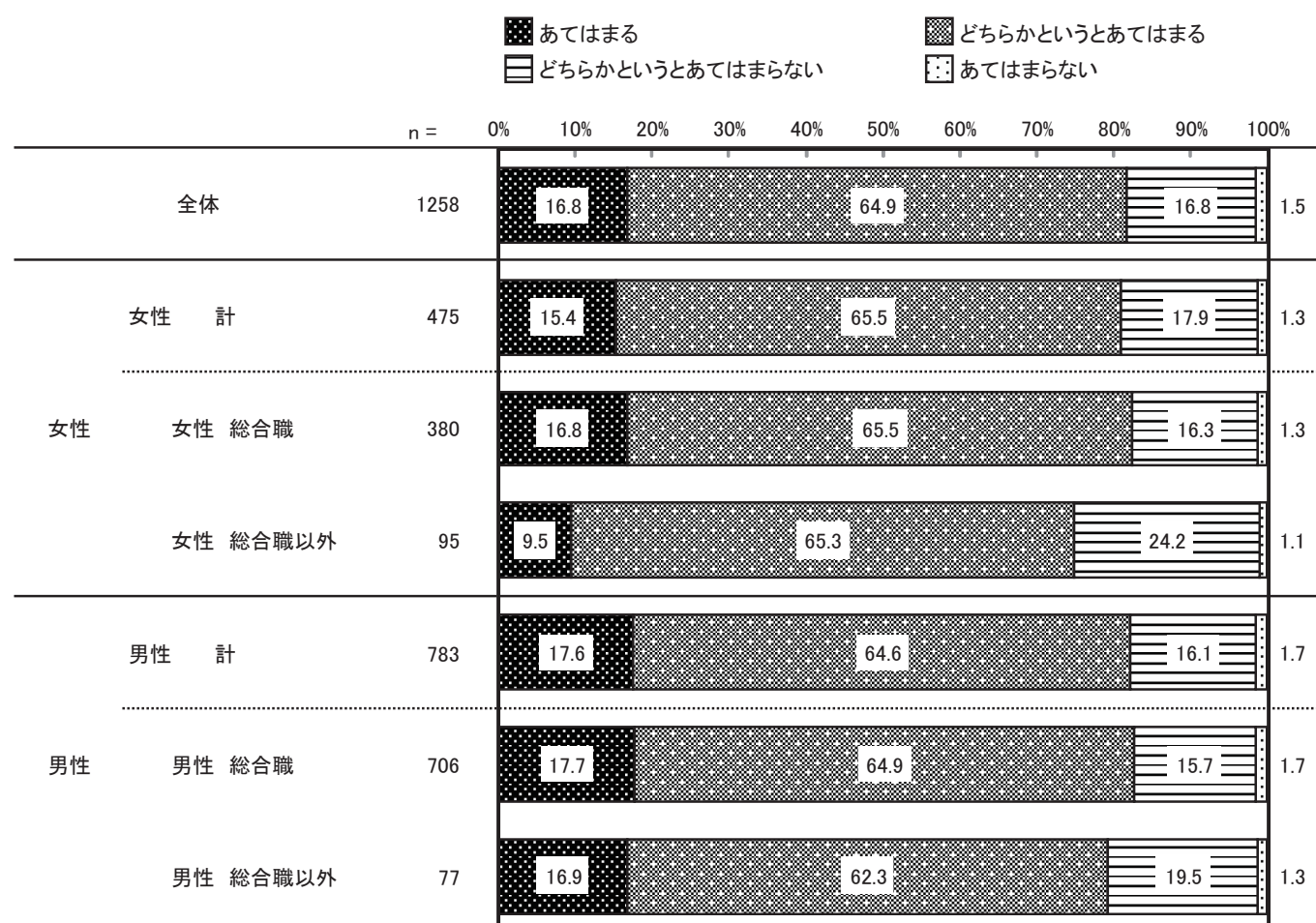
4-8. 現在の仕事に対する意識・行動

(自分に期待されている役割や目標をよく理解している)

◆「自分に期待されている役割や目標をよく理解している」については、『女性 計』の「あてはまる+どちらかというにあてはまる」のスコアは80.8%、『男性 計』の「あてはまる+どちらかというにあてはまる」のスコアは82.2%と、大きな差は見られない。

Q8. ご自身のお仕事について、以下の項目はどの程度あてはまりますか。(単一回答)

4-8-3. 現在の仕事に対する意識・行動
【自分に期待されている役割や目標をよく理解している】



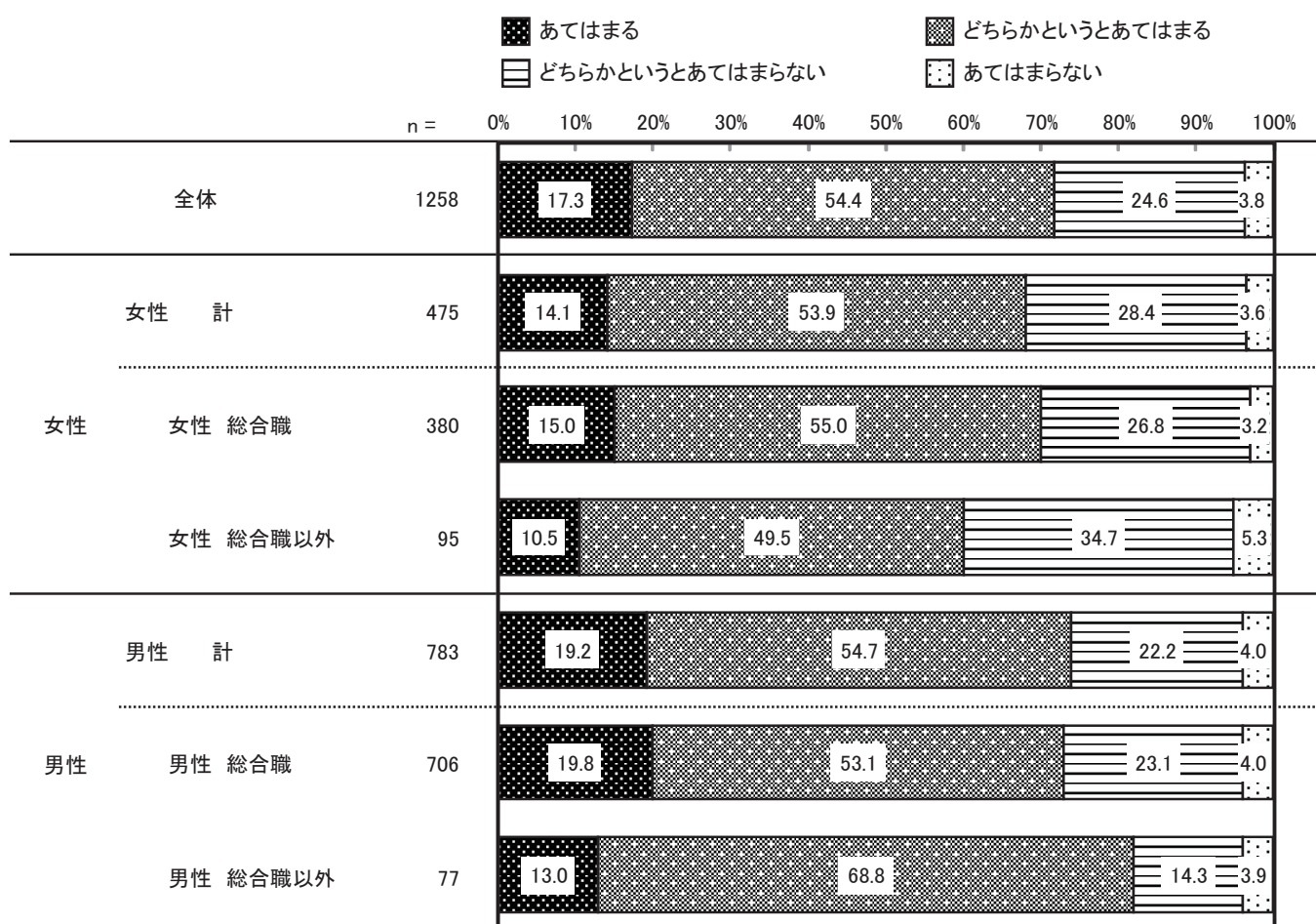
4-8. 現在の仕事に対する意識・行動

(企業目標に貢献することを意識して行動している)

- ◆「企業目標に貢献することを意識して行動している」については、『女性 計』と『男性 計』の「あてはまる+どちらかというにあてはまる」のスコアを比べると、男性の方がやや高い。
- ◆『女性 総合職』と『女性 総合職以外』の「あてはまる+どちらかというにあてはまる」のスコアを比べると、『女性 総合職』の方が高い。
- 一方、『男性 総合職』と『男性 総合職以外』の「あてはまる+どちらかというにあてはまる」のスコアを比べると、『男性 総合職以外』の方がやや高い。

Q8. ご自身のお仕事について、以下の項目はどの程度あてはまりますか。(単一回答)

4-8-4. 現在の仕事に対する意識・行動
【企業目標に貢献することを意識して行動している】



4-8. 現在の仕事に対する意識・行動

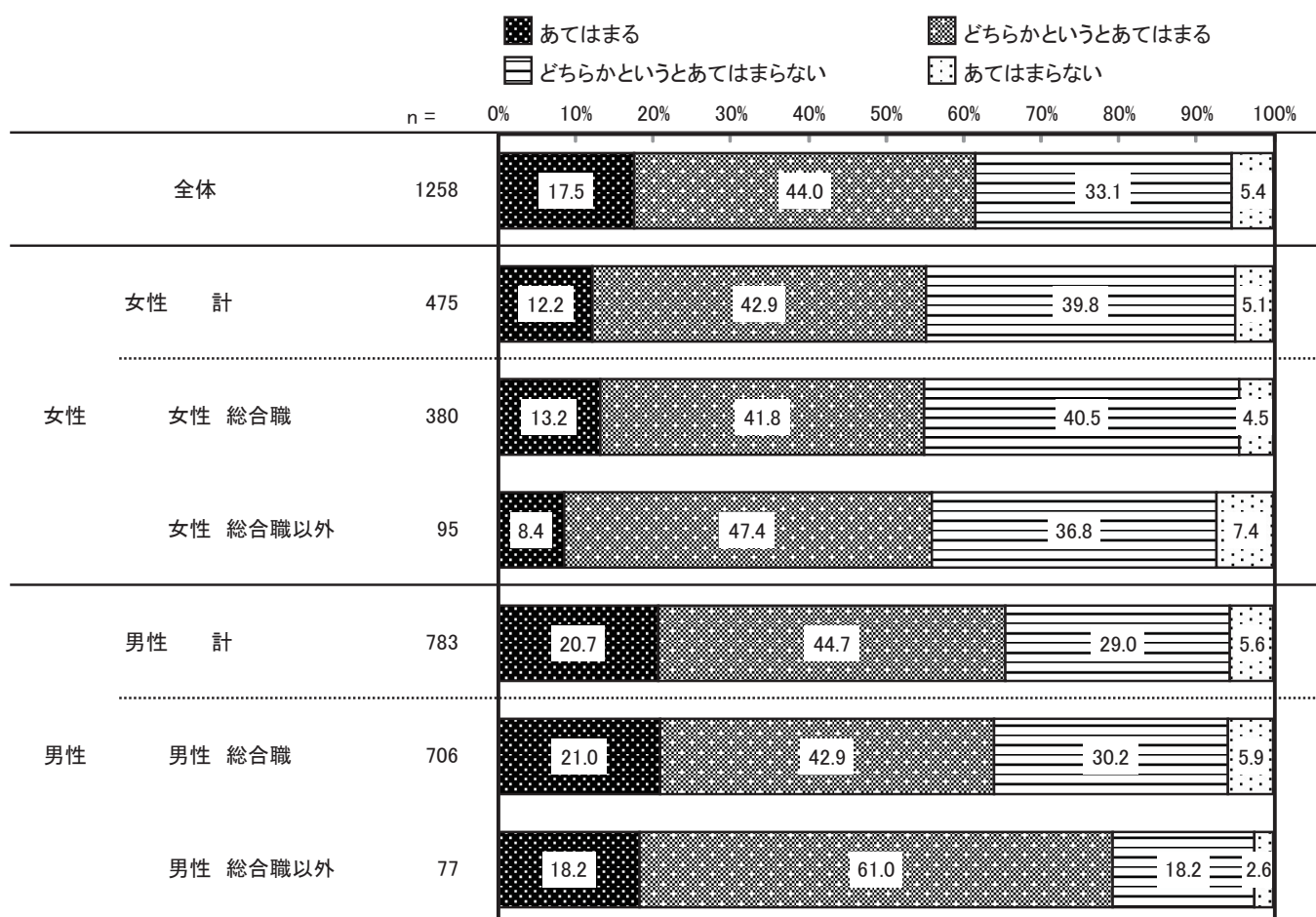
(目の前の課題ばかりでなく、将来の課題にも目を向けて仕事をしている)

- ◆「目の前の課題ばかりでなく、将来の課題にも目を向けて仕事をしている」については、『女性 計』と『男性 計』の「あてはまる+どちらかというにあてはまる」のスコアを比べると、男性の方が特に高い。
- ◆『男性 総合職』と『男性 総合職以外』の「あてはまる+どちらかというにあてはまる」のスコアを比べると、『男性 総合職以外』の方がやや高い。

Q8. ご自身のお仕事について、以下の項目はどの程度あてはまりますか。(単一回答)

4-8-5. 現在の仕事に対する意識・行動

【目の前の課題ばかりでなく、将来の課題にも目を向けて仕事をしている】

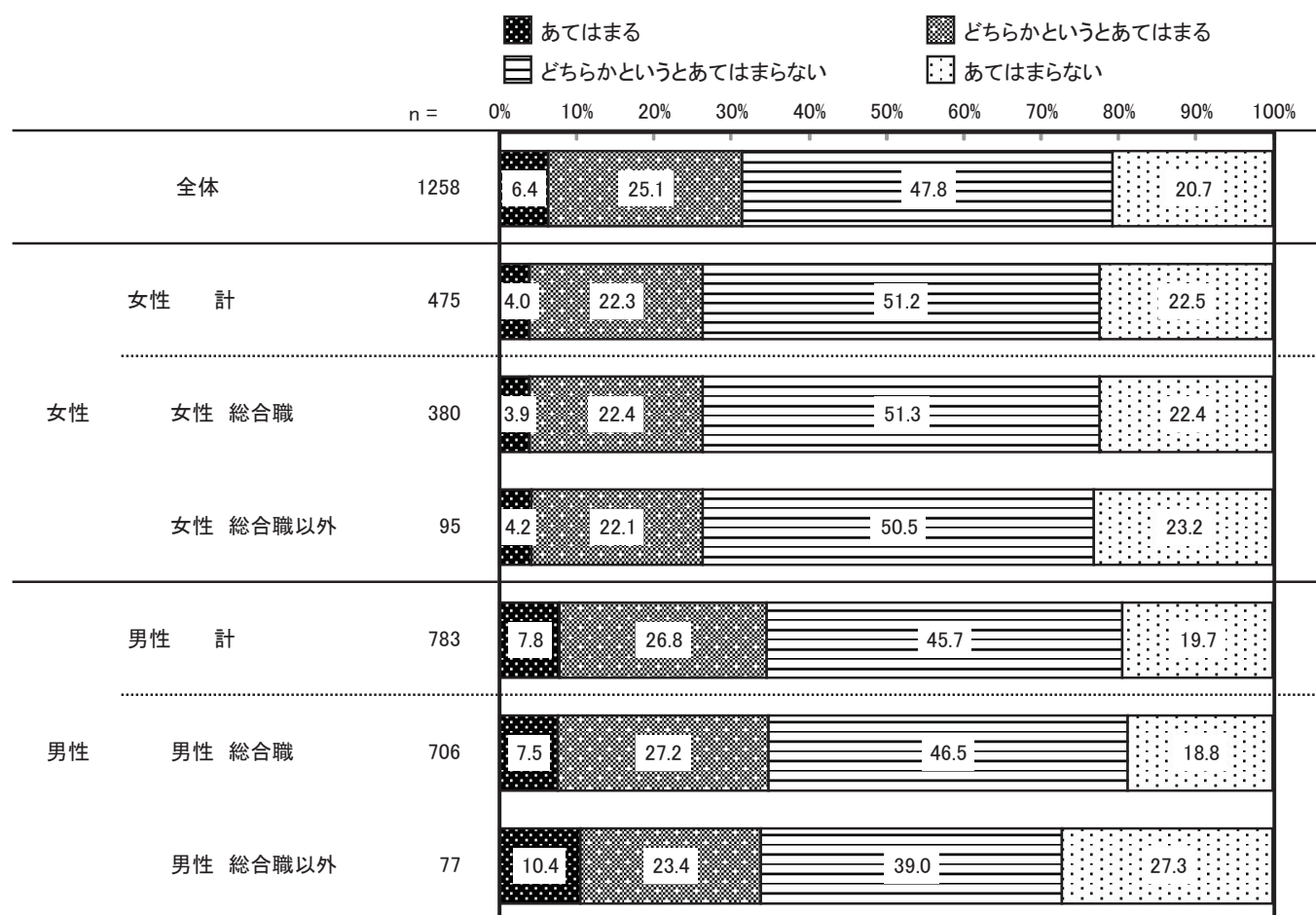


4-8. 現在の仕事に対する意識・行動 (自分からアイデアや企画を提案している)

◆「自分からアイデアや企画を提案している」については、『女性 計』と『男性 計』の「あてはまる+どちらかというにあてはまる」のスコアを比べると、男性の方がやや高い。

Q8. ご自身のお仕事について、以下の項目はどの程度あてはまりますか。(単一回答)

4-8-6. 現在の仕事に対する意識・行動 【自分からアイデアや企画を提案している】

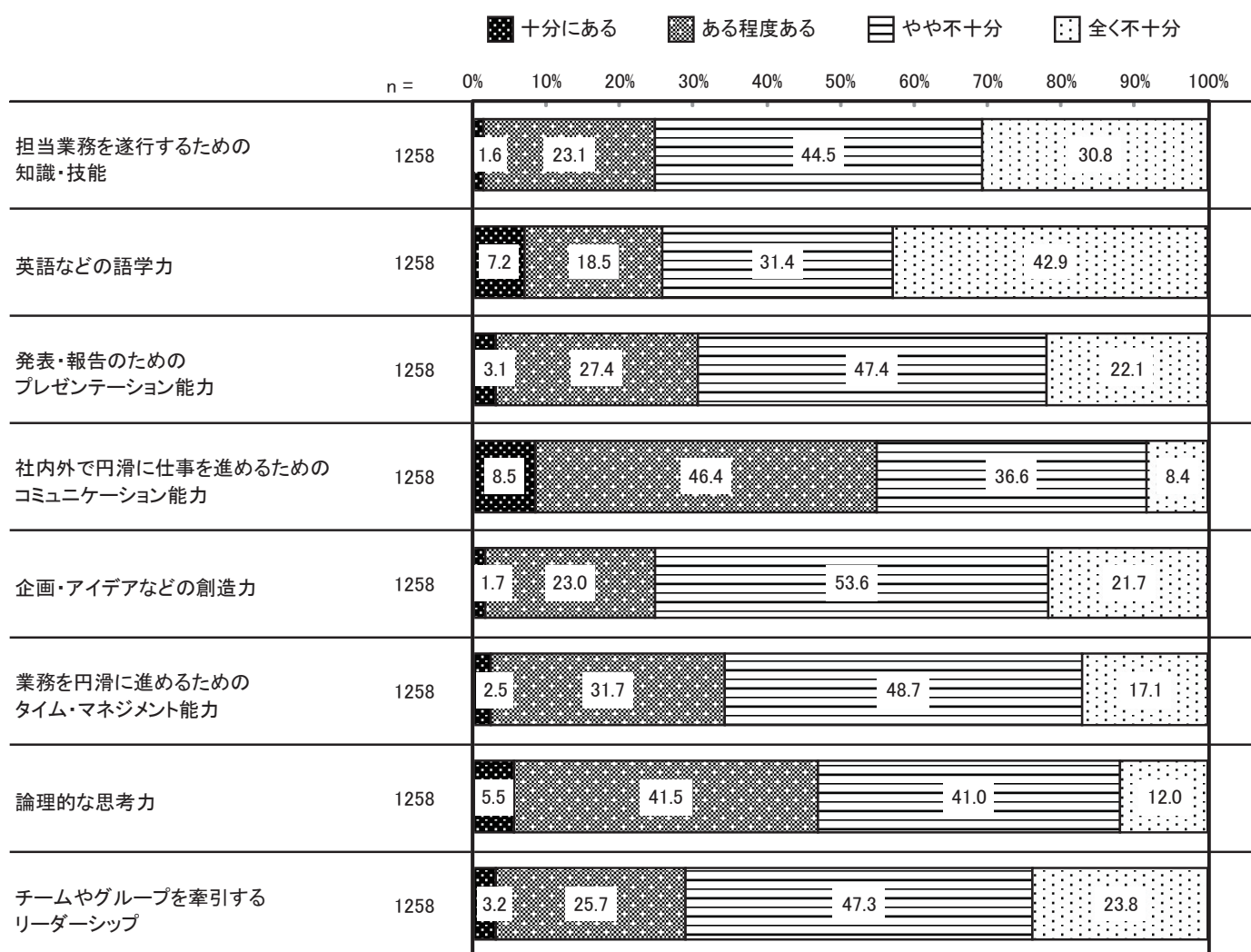


4-9. 自己のビジネススキル評価

◆ 自己のビジネススキル評価について、「十分にある＋ある程度ある」のスコアは、『社内外で円滑に仕事を進めるためのコミュニケーション能力』が最も高く54.9%。それに『論理的な思考力』が47.0%、『業務を円滑に進めるためのタイム・マネジメント能力』が34.2%と続く。

Q9. あなたは現時点で、次のような能力をどの程度身につけていますか。(単一回答)

4-9-1. 自己のビジネススキル評価

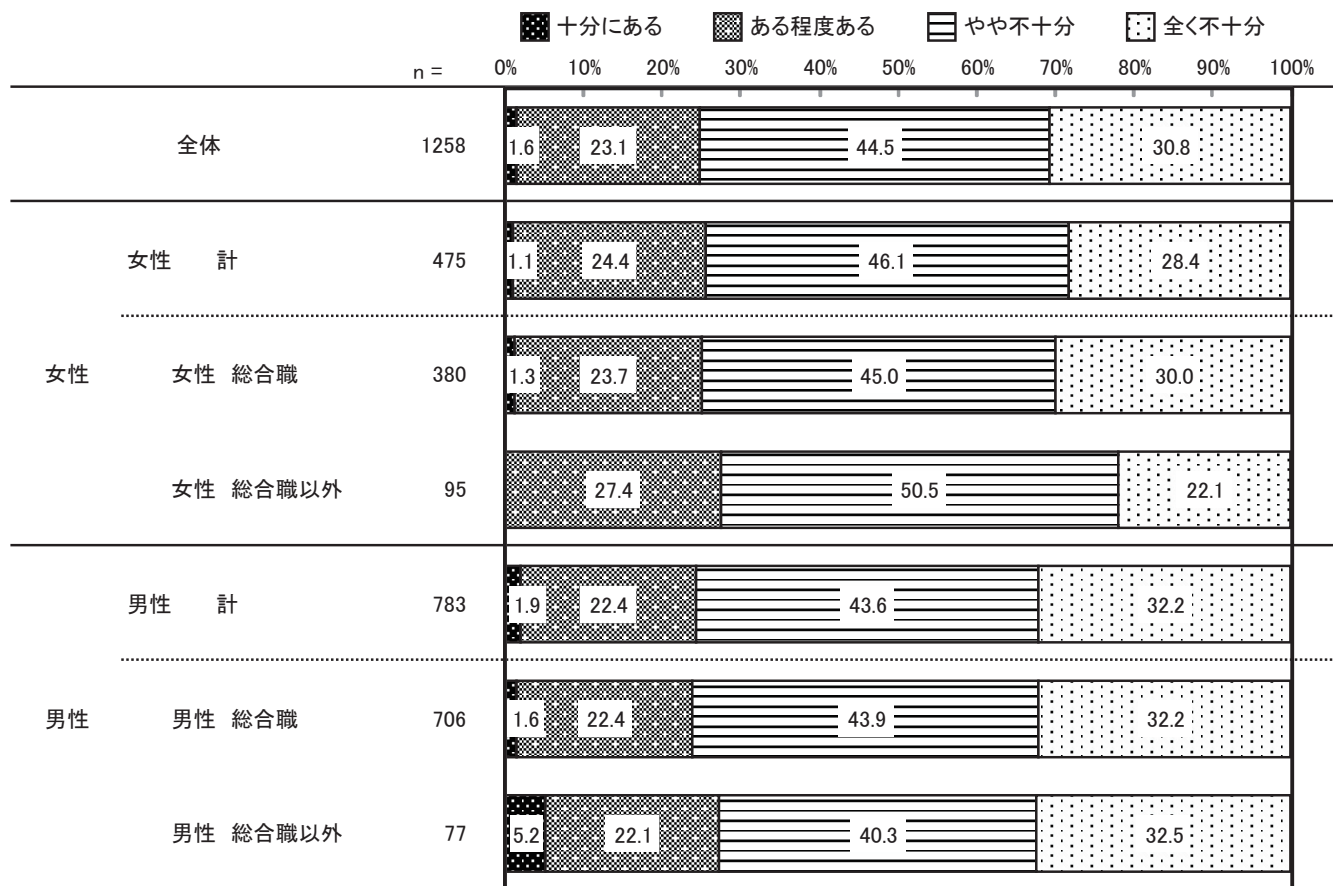


4-9. 自己のビジネススキル評価 (担当業務を遂行するための知識・技能)

◆「担当業務を遂行するための知識・技能」については、『女性 計』の「十分にある+ある程度ある」のスコアは25.5%、『男性 計』の「十分にある+ある程度ある」のスコアは24.3%と、大きな差は見られない。

Q9. あなたは現時点で、次のような能力をどの程度身につけていますか。(単一回答)

4-9-2. 自己のビジネススキル評価 【担当業務を遂行するための知識・技能】

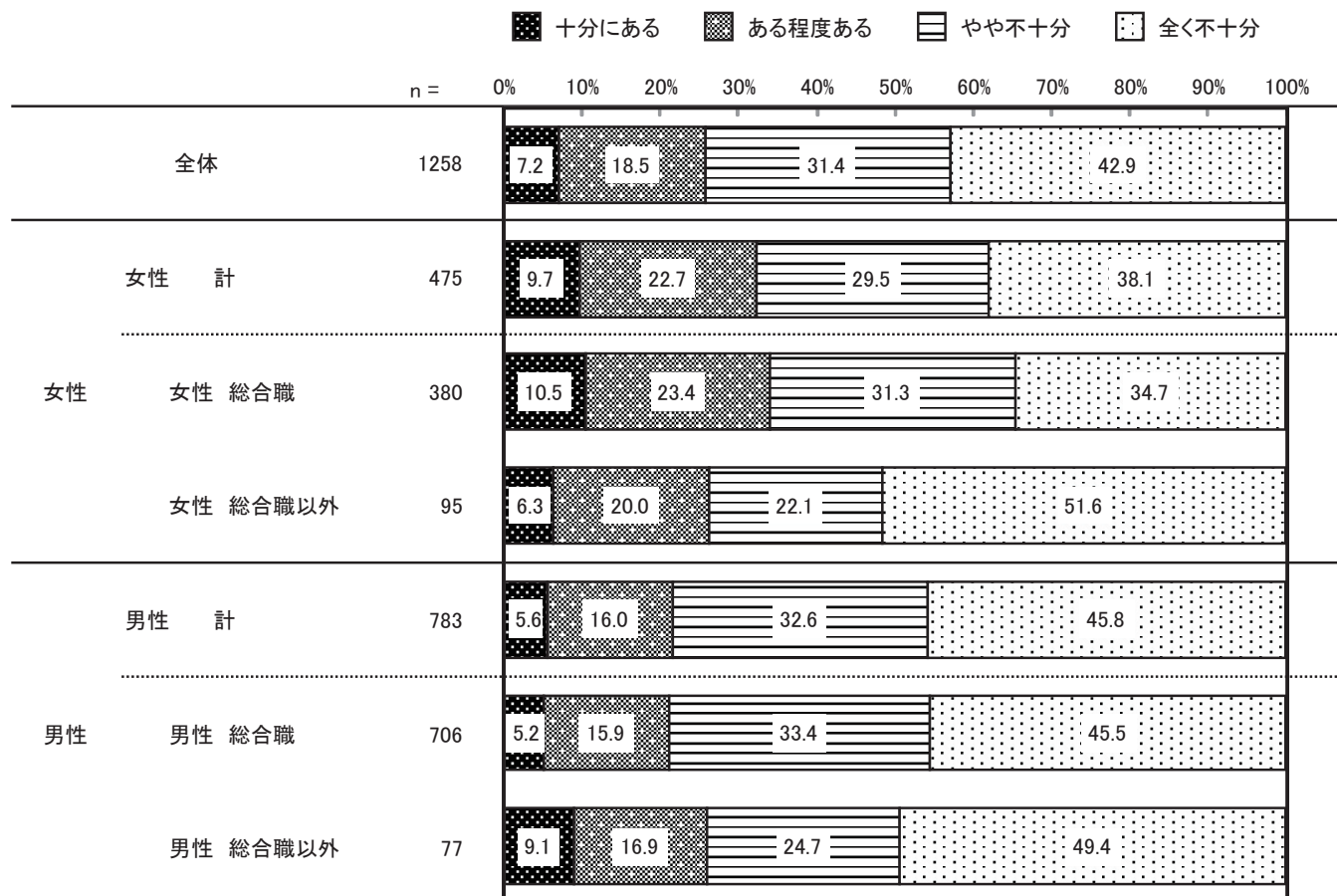


4-9. 自己のビジネススキル評価 (英語などの語学力)

◆「英語などの語学力」については、『女性 計』と『男性 計』の「十分にある+ある程度ある」のスコアを比べると、女性の方が高い。

Q9. あなたは現時点で、次のような能力をどの程度身につけていますか。(単一回答)

4-9-3. 自己のビジネススキル評価 【英語などの語学力】

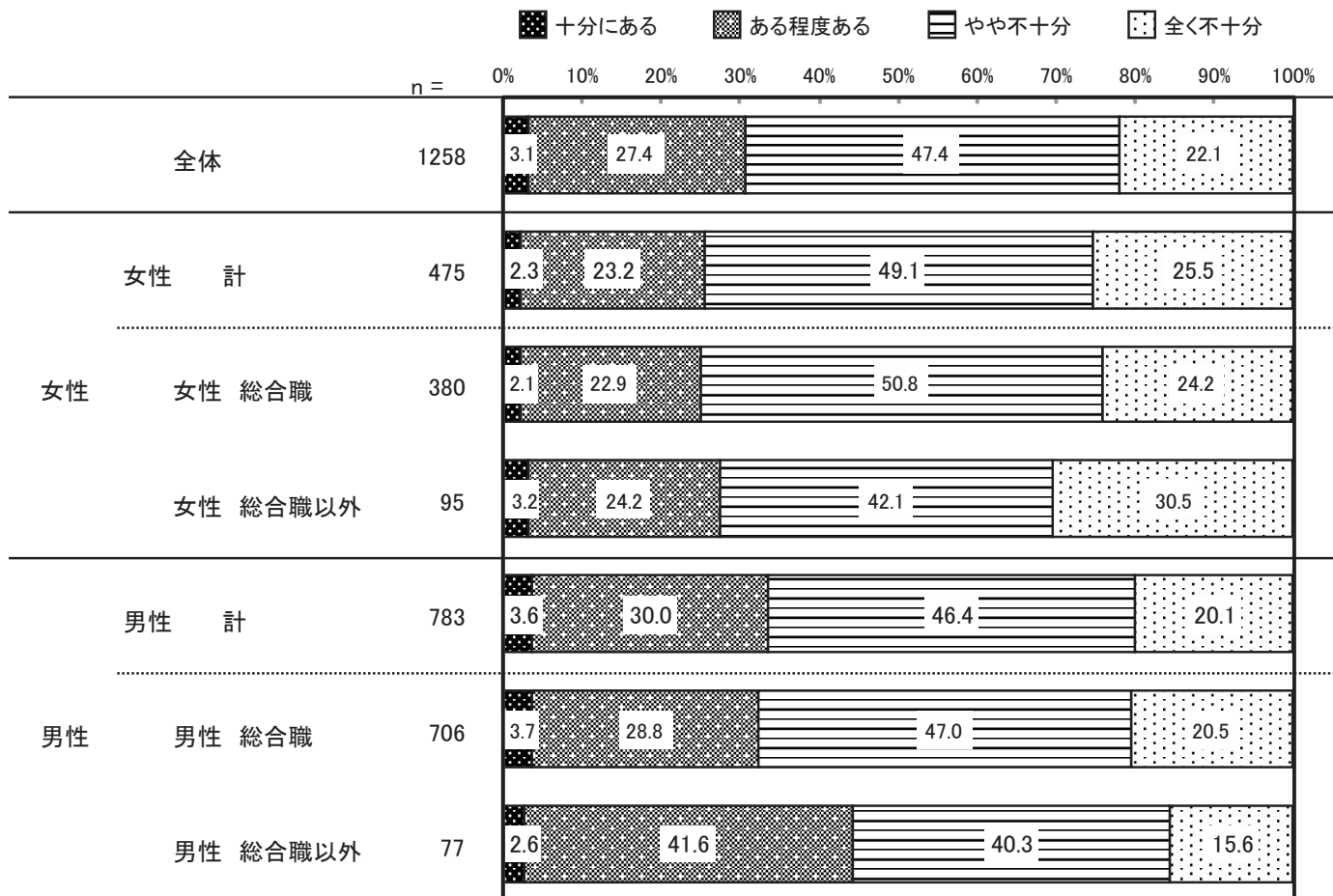


4-9. 自己のビジネススキル評価 (発表・報告のためのプレゼンテーション能力)

- ◆「発表・報告のためのプレゼンテーション能力」については、『女性 計』と『男性 計』の「十分にある+ある程度ある」のスコアを比べると、男性の方がやや高い。
- ◆『男性 総合職以外』の「十分にある+ある程度ある」のスコアは、他の層と比べて高い。『女性 総合職』と『女性 総合職以外』では大きな差は見られない。

Q9. あなたは現時点で、次のような能力をどの程度身につけていますか。(単一回答)

4-9-4. 自己のビジネススキル評価 【発表・報告のためのプレゼンテーション能力】



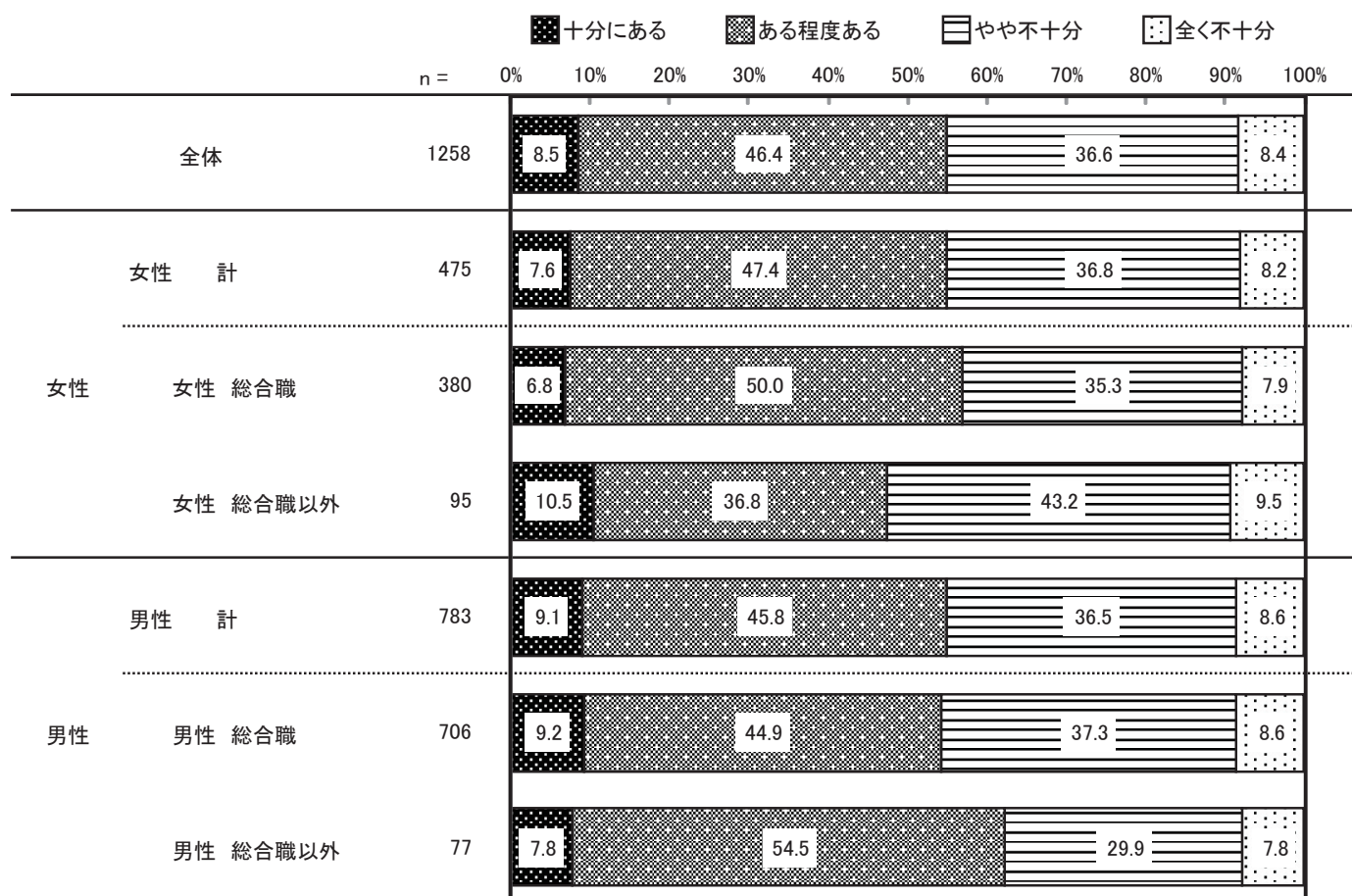
4-9. 自己のビジネススキル評価

(社内外で円滑に仕事を進めるためのコミュニケーション能力)

- ◆「社内外で円滑に仕事を進めるためのコミュニケーション能力」については、『女性 計』『男性 計』の「十分にある＋ある程度ある」のスコアは54.9%と、大きな差は見られない。
- ◆『女性 総合職』と『女性 総合職以外』の「十分にある＋ある程度ある」のスコアを比べると、『女性 総合職』の方がやや高い。
一方、『男性 総合職』と『男性 総合職以外』の「十分にある＋ある程度ある」のスコアを比べると、『男性 総合職以外』の方がやや高い。

Q9. あなたは現時点で、次のような能力をどの程度身につけていますか。(単一回答)

4-9-5. 自己のビジネススキル評価
【社内外で円滑に仕事を進めるためのコミュニケーション能力】

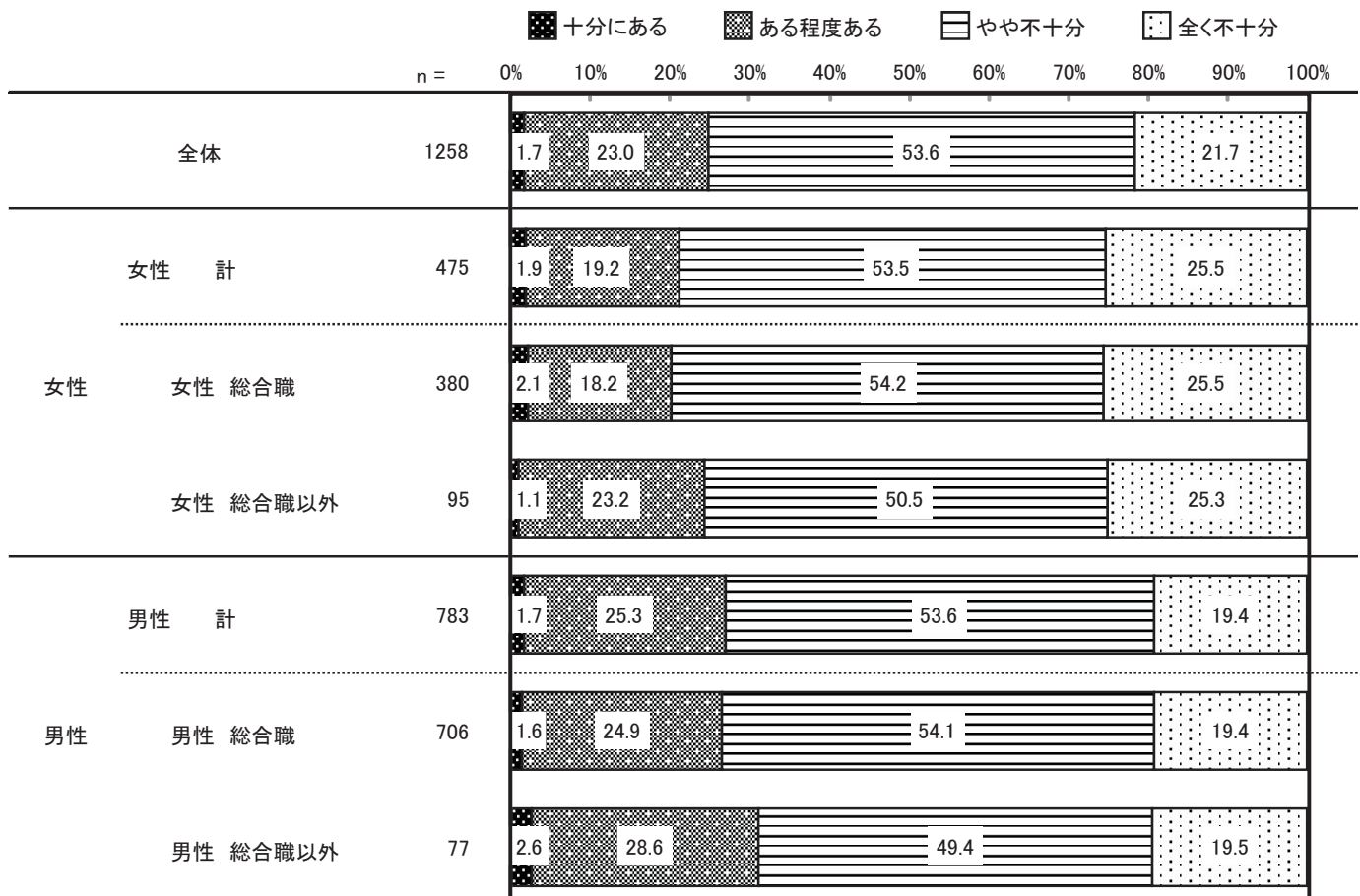


4-9. 自己のビジネススキル評価 (企画・アイデアなどの創造力)

◆「企画・アイデアなどの創造力」については、『女性 計』と『男性 計』の「十分にある＋ある程度ある」のスコアを比べると、男性の方がやや高い。

Q9. あなたは現時点で、次のような能力をどの程度身につけていますか。(単一回答)

4-9-6. 自己のビジネススキル評価 【企画・アイデアなどの創造力】



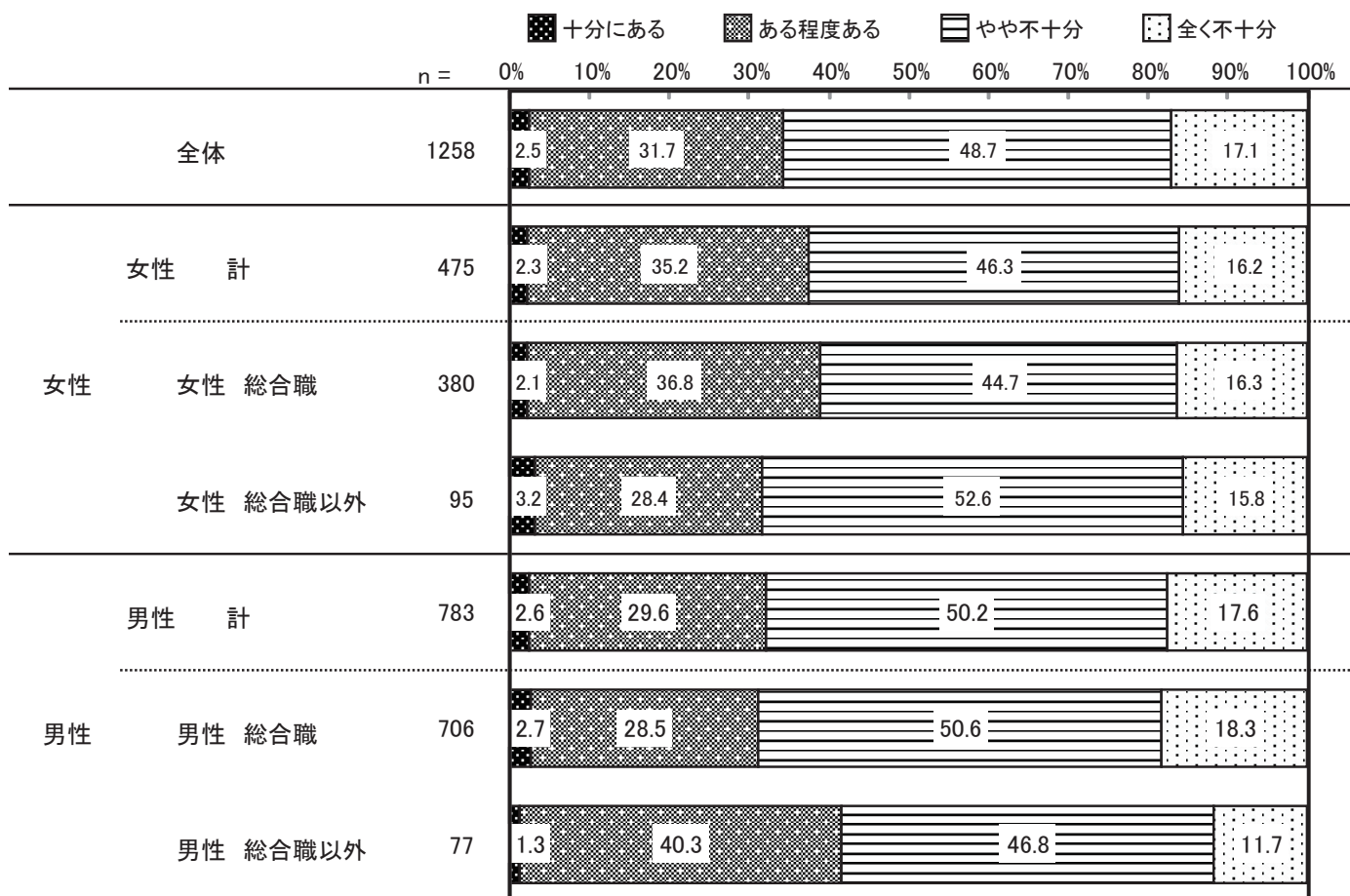
4-9. 自己のビジネススキル評価

(業務を円滑に進めるためのタイム・マネジメント能力)

- ◆「業務を円滑に進めるためのタイム・マネジメント能力」については、『女性 計』と『男性 計』の「十分にある＋ある程度ある」のスコアを比べると、女性の方がやや高い。
- ◆『女性 総合職』と『女性 総合職以外』の「十分にある＋ある程度ある」のスコアを比べると、『女性 総合職』の方がやや高い。
一方、『男性 総合職』と『男性 総合職以外』の「十分にある＋ある程度ある」のスコアを比べると、『男性 総合職以外』の方が高い。

Q9. あなたは現時点で、次のような能力をどの程度身につけていますか。(単一回答)

4-9-7. 自己のビジネススキル評価
【業務を円滑に進めるためのタイム・マネジメント能力】

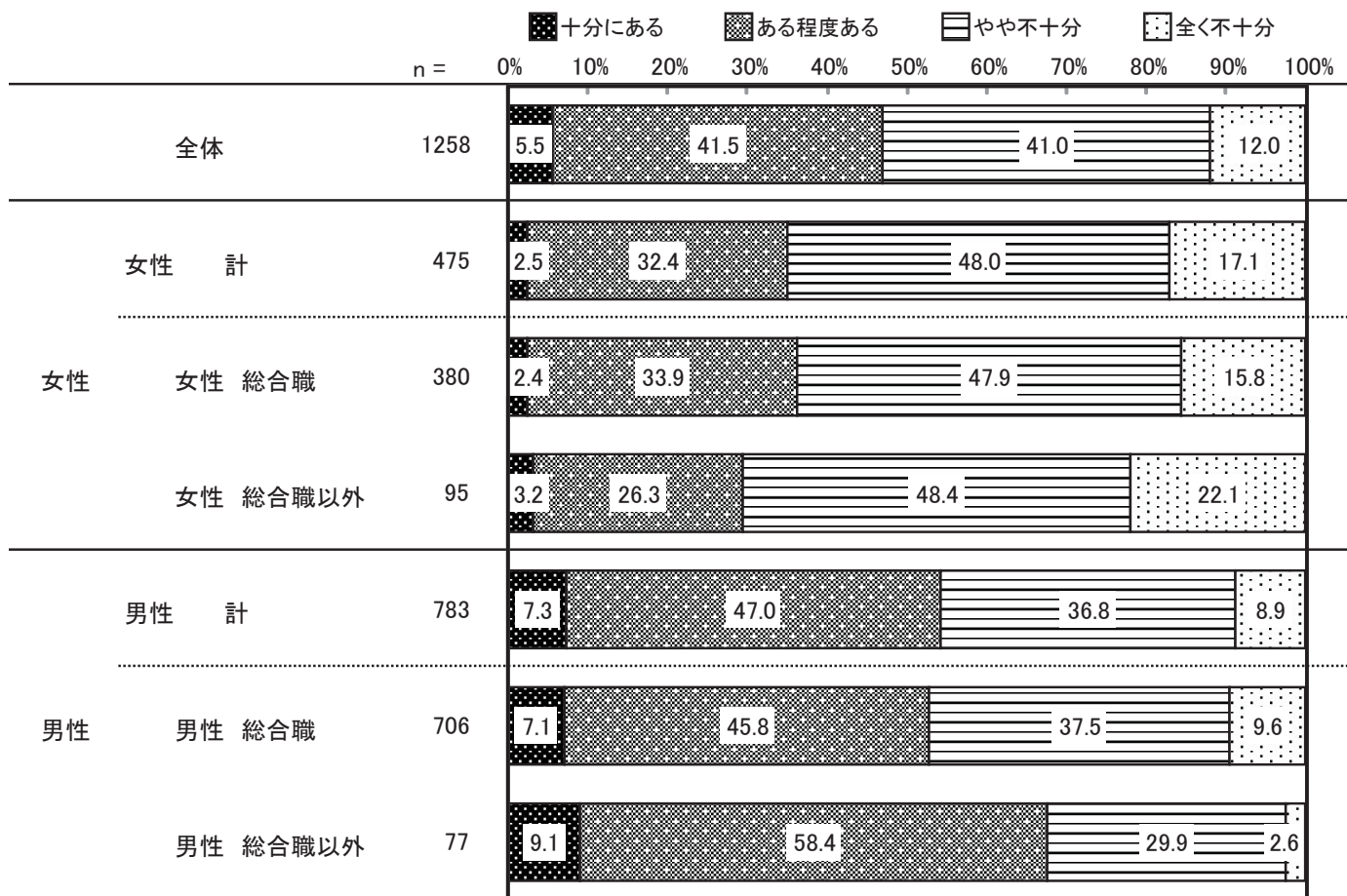


4-9. 自己のビジネススキル評価 (論理的な思考力)

- ◆「論理的な思考力」については、『女性 計』と『男性 計』の「十分にある＋ある程度ある」のスコアを比べると、男性の方が高い。
- ◆『男性 総合職以外』の「十分にある＋ある程度ある」のスコアは、他の層と比べて高い。
- ◆『女性 総合職』と『女性 総合職以外』の「十分にある＋ある程度ある」のスコアを比較すると、『女性 総合職』の方がやや高い。

Q9. あなたは現時点で、次のような能力をどの程度身につけていますか。(単一回答)

4-9-8. 自己のビジネススキル評価 【論理的な思考力】

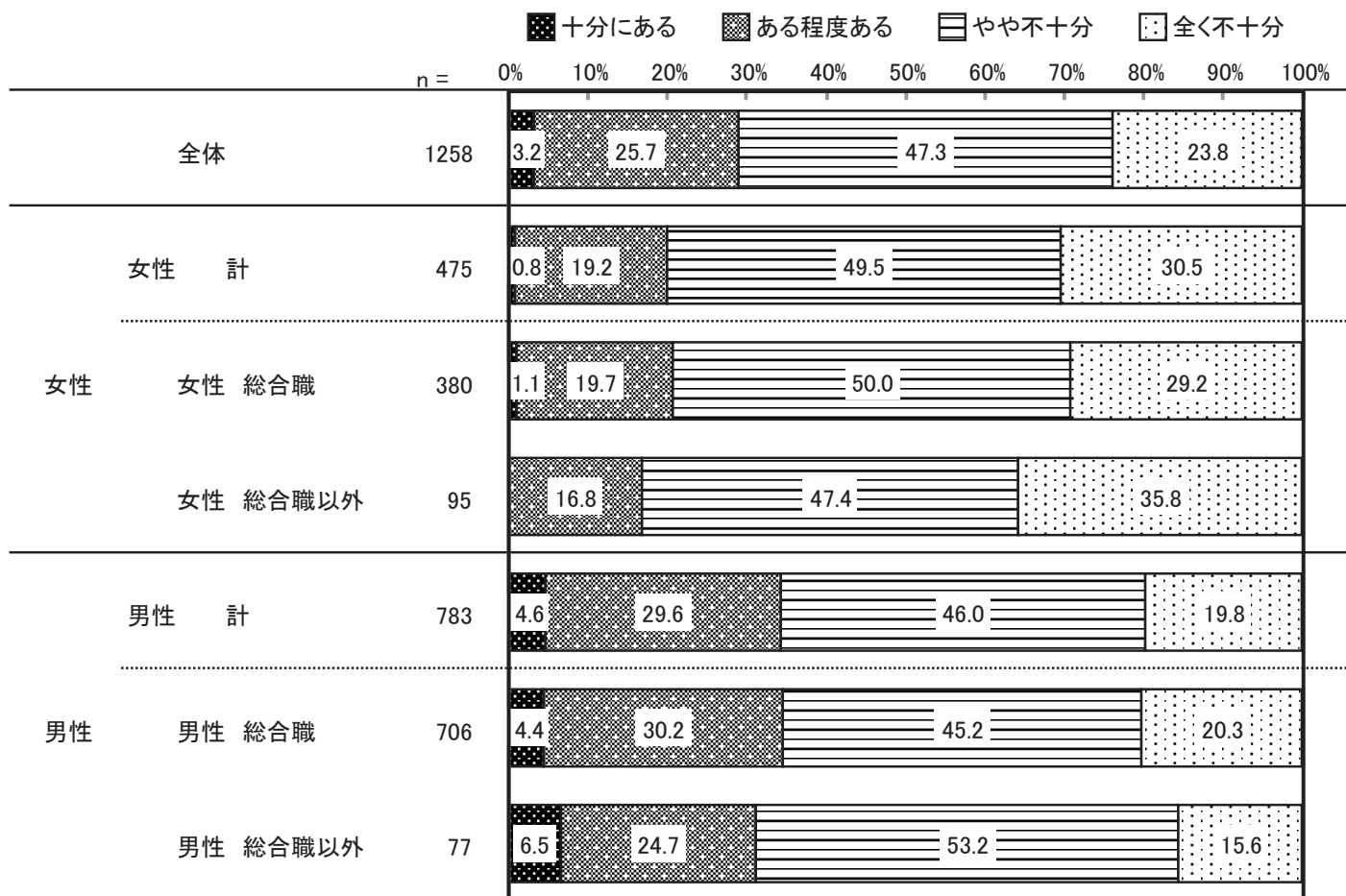


4-9. 自己のビジネススキル評価 (チームやグループを牽引するリーダーシップ)

◆「チームやグループを牽引するリーダーシップ」については、『女性 計』と『男性 計』の「十分にある+ある程度ある」のスコアを比べると、男性の方が高い。

Q9. あなたは現時点で、次のような能力をどの程度身につけていますか。(単一回答)

4-9-9. 自己のビジネススキル評価 【チームやグループを牽引するリーダーシップ】

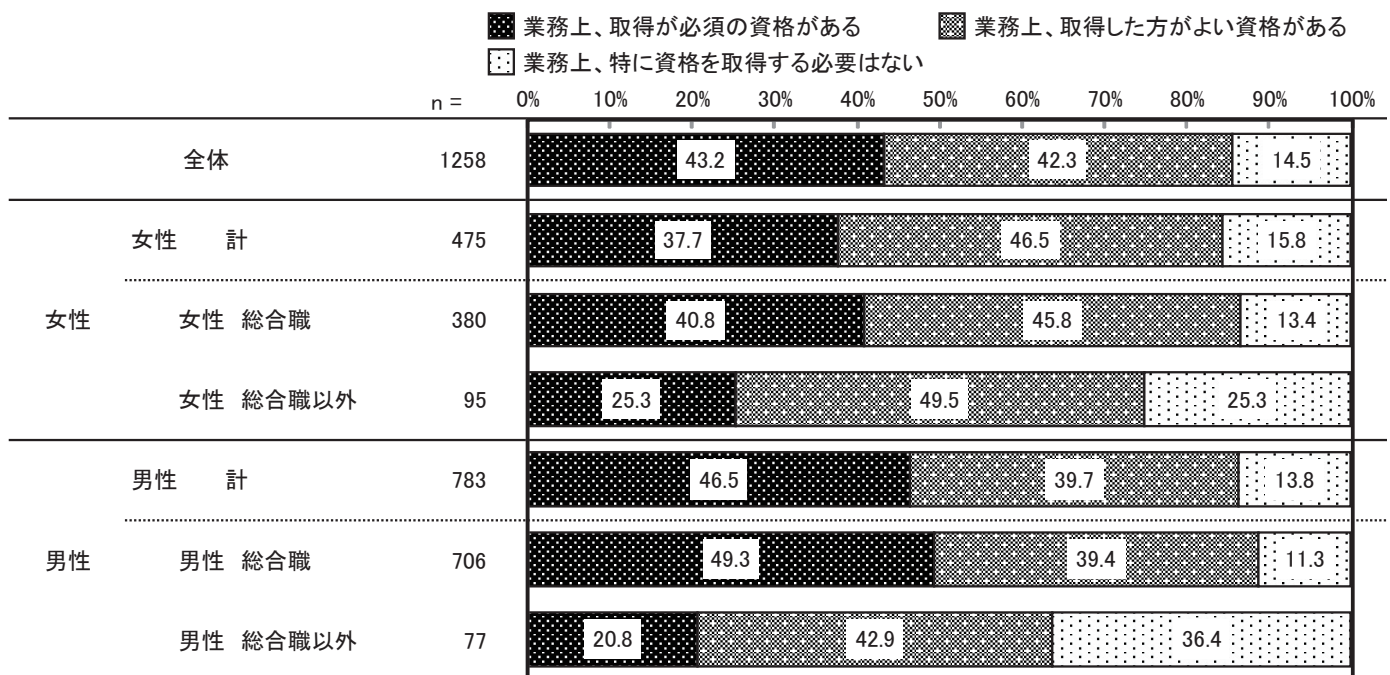


4-10. 業務上の資格取得の必要性

- ◆ 全体でみると、「業務上、取得が必須の資格がある」が約4割、「業務上、取得した方がよい資格がある」が約4割、「業務上、特に資格を取得する必要はない」が約1割で、85.5%の人が資格取得の必要性ありと答えている。
- ◆ 『女性 計』と『男性 計』を比べると、「業務上、取得が必須の資格がある」は男性の方がやや高い。
総合職と総合職以外の「業務上、取得が必須の資格がある」を比べると、女性、男性ともに総合職の方が高い。

Q10. あなたは現在もしくは今後の業務を進めるうえで、資格を取得する必要がありますか。（単一回答）

4-10-1. 業務上の資格取得の必要性

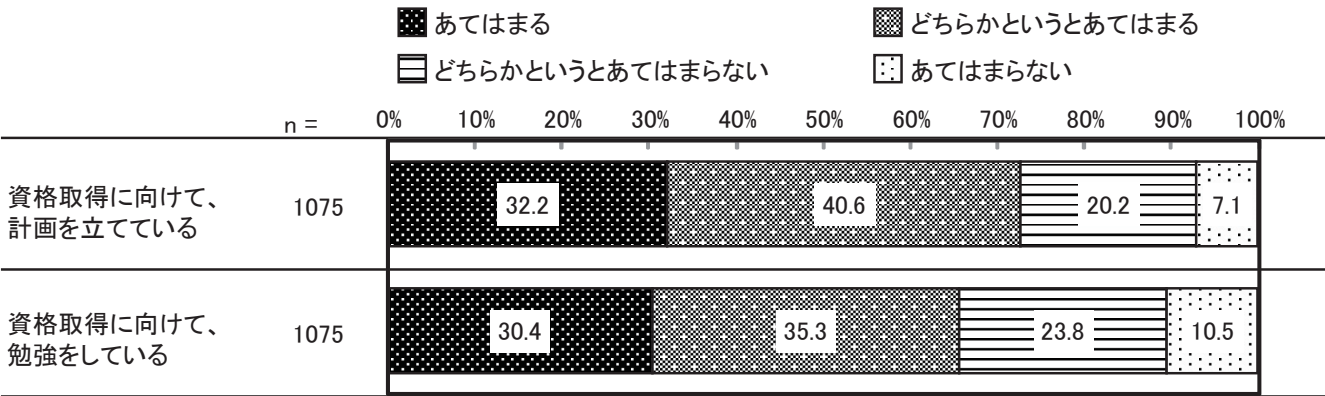


4-11. 資格取得のための行動

◆ 資格必要者の資格取得のための行動については、「あてはまる+どちらかというにあてはまる」のスコアは、『資格取得に向けて、計画を立てている』で72.7%、『資格取得に向けて、勉強をしている』で65.7%。

Q11. 次のことは、どの程度あてはまりますか。（単一回答）

4-11-1. 資格取得のための行動
＜資格必要者ベース＞



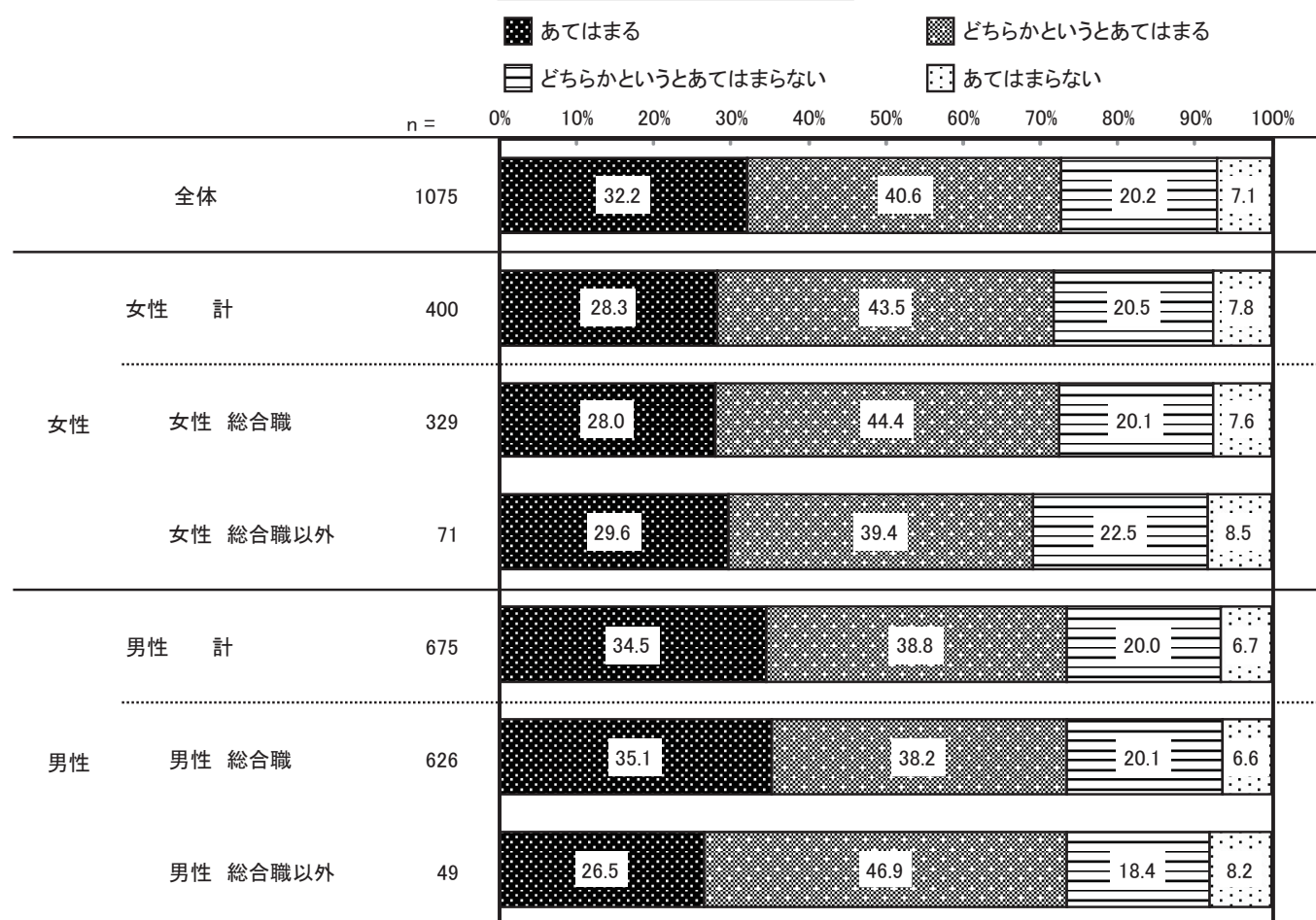
4-11. 資格取得のための行動 (資格取得に向けて、計画を立てている)

◆「資格取得に向けて、計画を立てている」については、『女性 計』の「あてはまる+どちらかというにあてはまる」のスコアは71.8%、『男性 計』の「あてはまる+どちらかというにあてはまる」のスコアは73.3%と、大きな差は見られない。

Q11. 次のことは、どの程度あてはまりますか。(単一回答)

4-11-2. 資格取得のための行動 【資格取得に向けて、計画を立てている】

<資格必要者ベース>



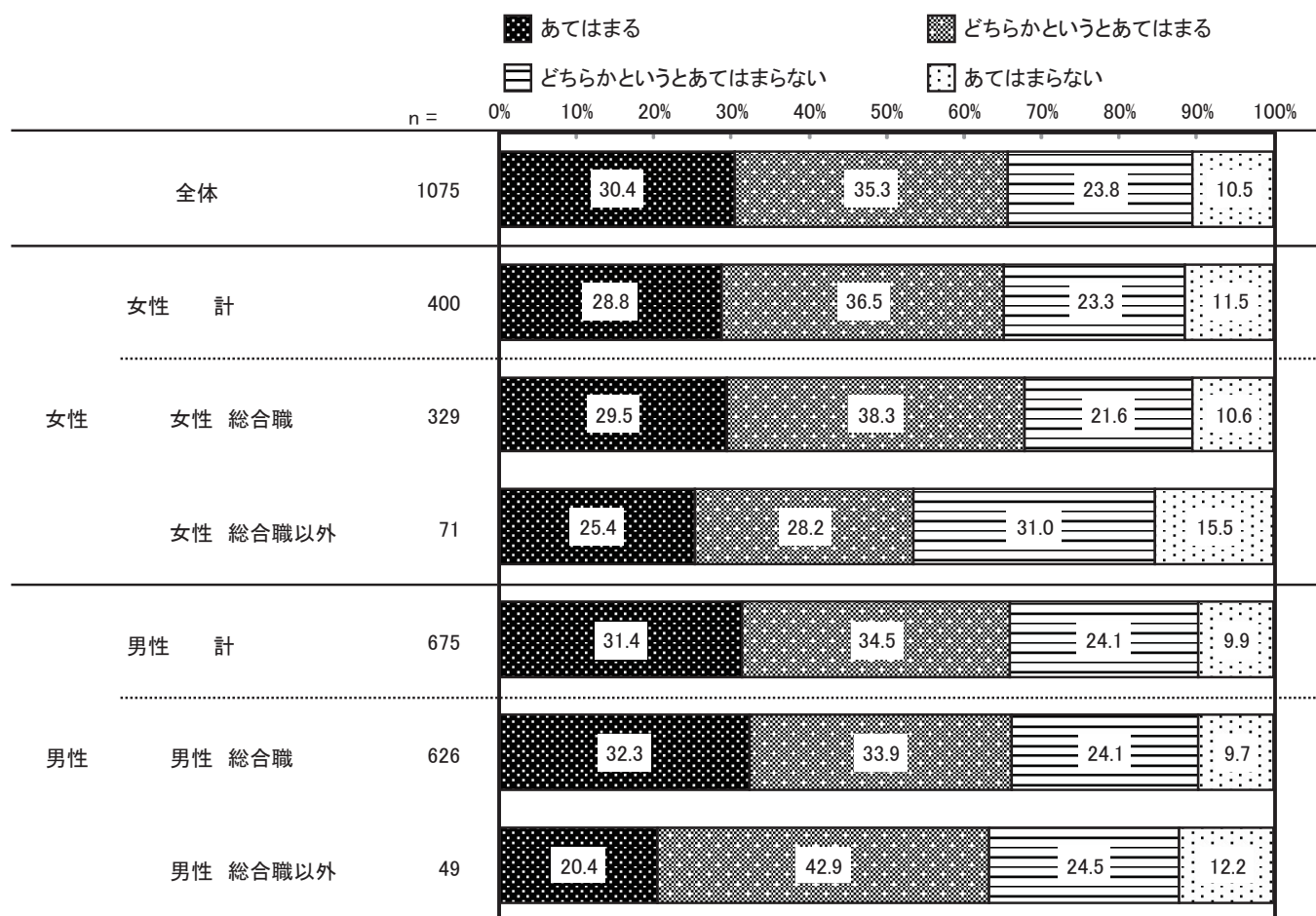
4-11. 資格取得のための行動 (資格取得に向けて、勉強をしている)

- ◆「資格取得に向けて、勉強をしている」については、『女性 計』の「あてはまる+どちらか」とあてはまる」のスコアは65.3%、『男性 計』の「あてはまる+どちらか」とあてはまる」のスコアは65.9%と、大きな差は見られない。
- ◆『女性 総合職』と『女性 総合職以外』の「あてはまる+どちらか」とあてはまる」のスコアを比べると、『女性 総合職』の方が高い。

Q11. 次のことは、どの程度あてはまりますか。(単一回答)

4-11-3. 資格取得のための行動 【資格取得に向けて、勉強をしている】

<資格必要者ベース>

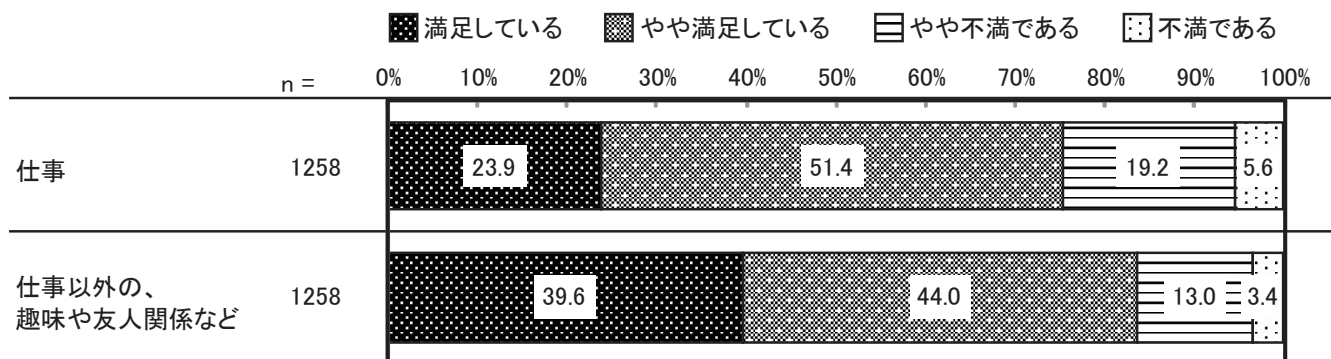


4-12. 仕事／仕事以外への満足度

◆仕事／仕事以外への満足度について、「満足している＋やや満足している」のスコアは、『仕事』が75.3%、『仕事以外の、趣味や友人関係など』が83.6%。
『仕事』と『仕事以外の、趣味や友人関係など』を比較すると、「満足している」は『仕事以外の、趣味や友人関係など』の方が高い。

Q12. あなたは現在、次のようなことにどの程度満足していますか。（単一回答）

4-12-1. 仕事／仕事以外への満足度

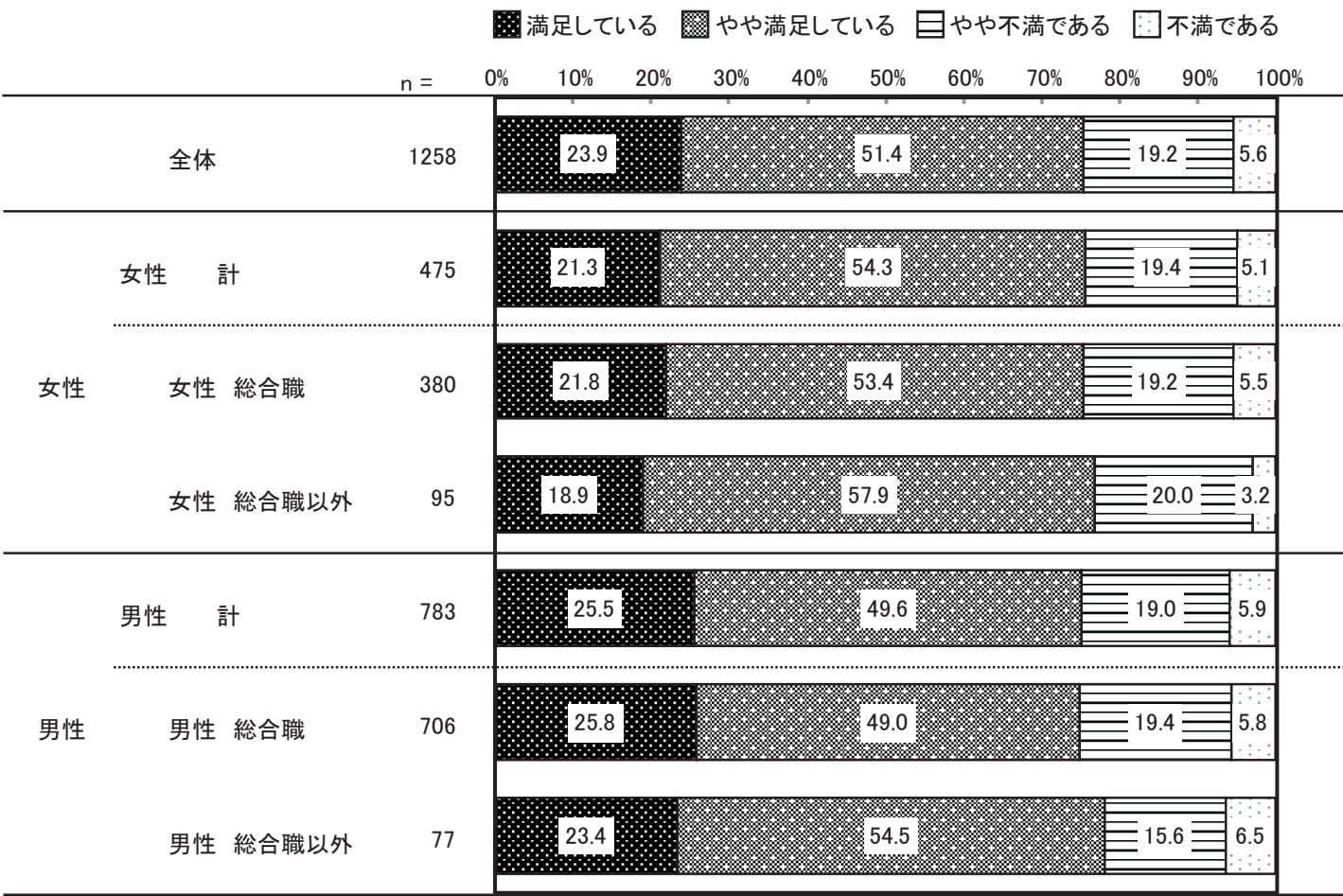


4-12. 仕事／仕事以外への満足度(仕事)

◆「仕事への満足度」については、『女性 計』の「満足している＋やや満足している」のスコアは75.6%、『男性 計』の「満足している＋やや満足している」のスコアは75.1%と、ほとんど差は見られない。

Q12. あなたは現在、次のようなことにどの程度満足していますか。(単一回答)

4-12-2. 仕事／仕事以外への満足度
【仕事】

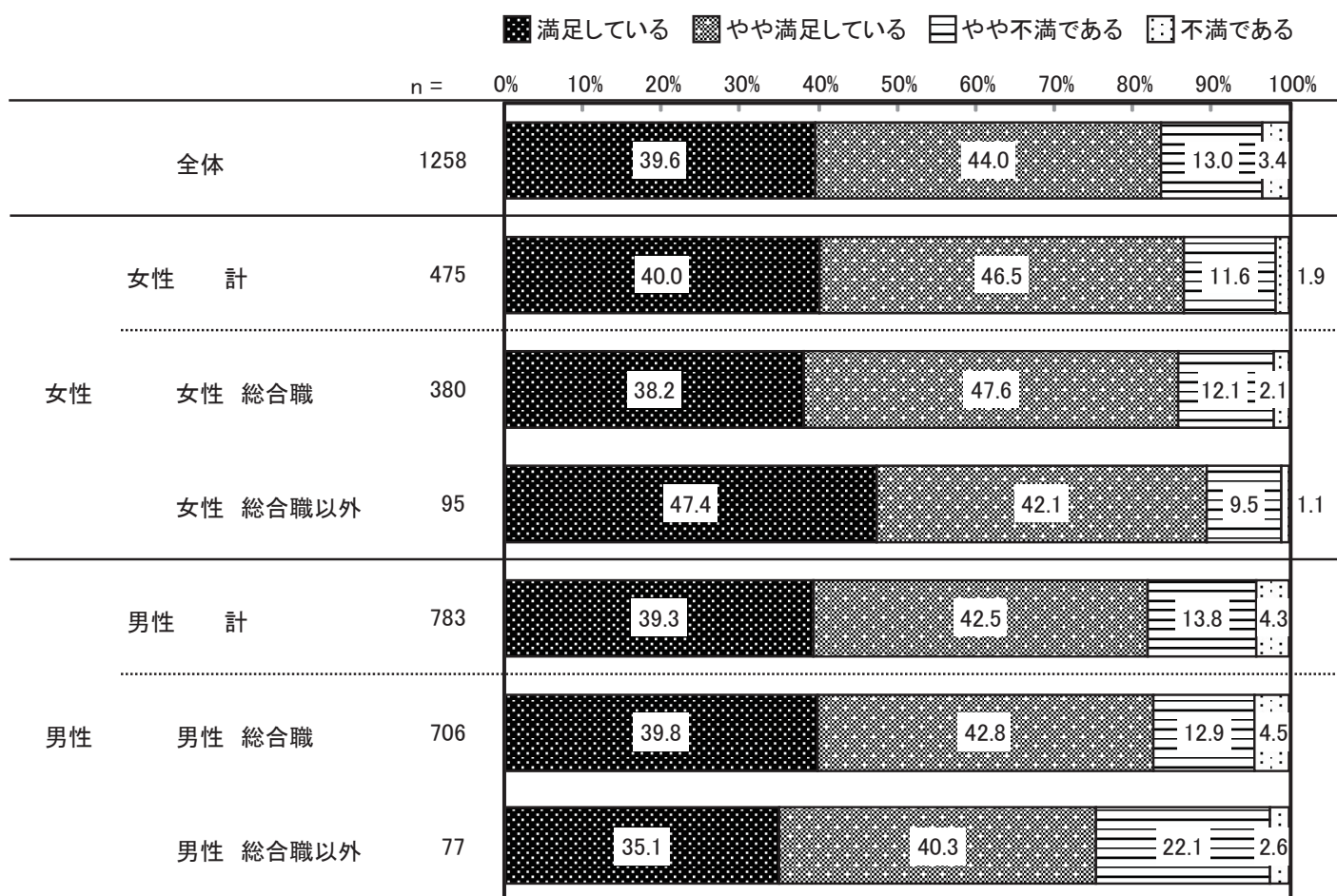


4-12. 仕事／仕事以外への満足度(仕事以外の、趣味や友人関係など)

- ◆「仕事以外の、趣味や友人関係などの満足度」については、『女性 計』の「満足している＋やや満足している」のスコアは86.5%、『男性 計』の「満足している＋やや満足している」のスコアは81.9%と、大きな差は見られない。
- ◆『女性 総合職』と『女性 総合職以外』の「満足している＋やや満足している」のスコアを比べると、『女性 総合職以外』の方がやや高い。

Q12. あなたは現在、次のようなことにどの程度満足していますか。(単一回答)

4-12-3. 仕事／仕事以外への満足度
【仕事以外の、趣味や友人関係など】



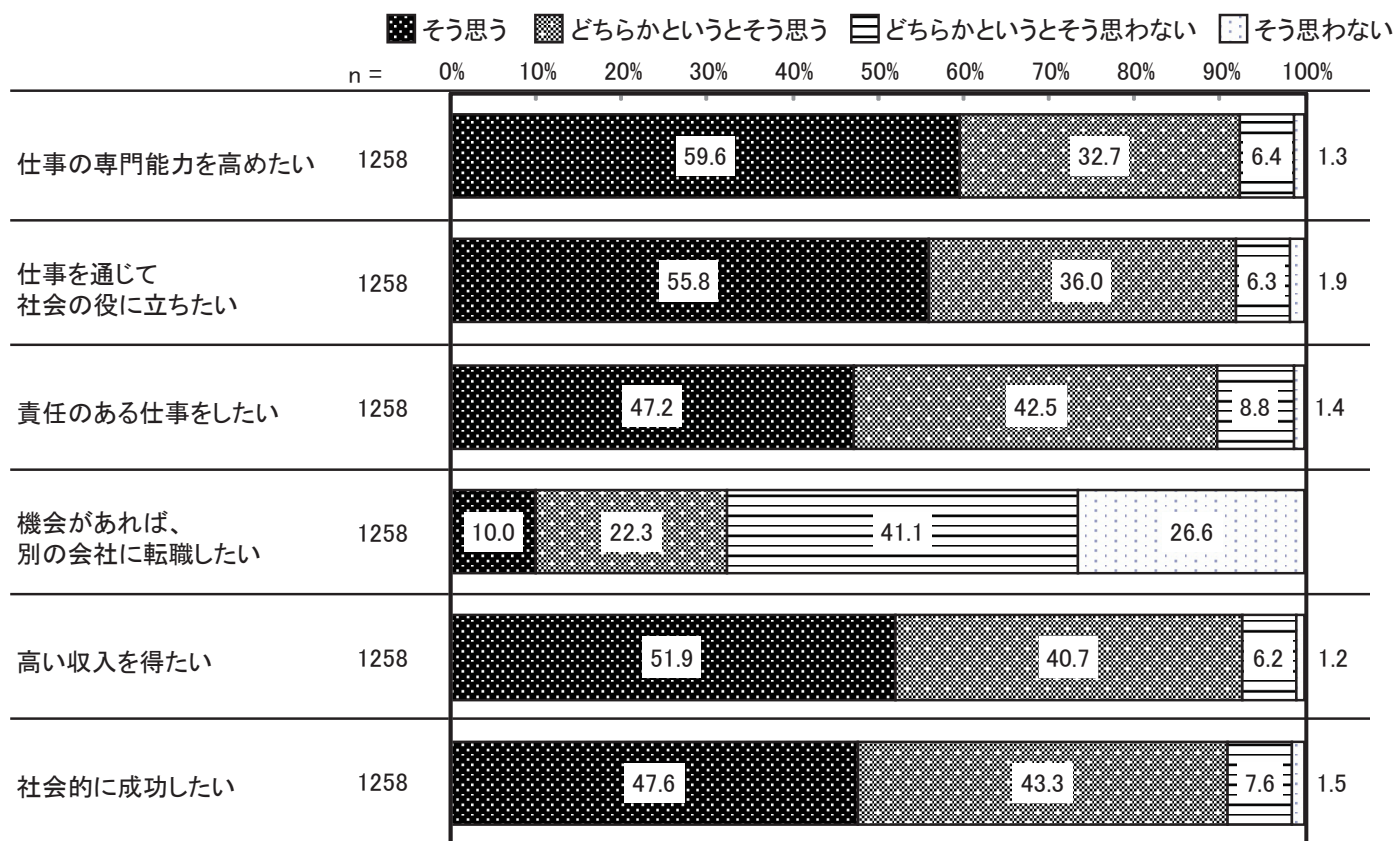
5. 結果詳細Ⅱ ～今後の希望・見通し～

5-1. 今後の意向

- ◆ 今後の意向については、「そう思う+どちらかというと思う」のスコアは、高い順に『高い収入を得たい』、『仕事の専門能力を高めたい』『仕事を通じて社会の役に立ちたい』『社会的に成功したい』『責任のある仕事をしたい』で、それぞれ約9割。
- ◆ 『機会があれば、別の会社に転職したい』の「そう思う」は、他の項目と比べて特に低い。

Q13. 今後について、どのようにお考えですか。（単一回答）

5-1-1. 今後の意向

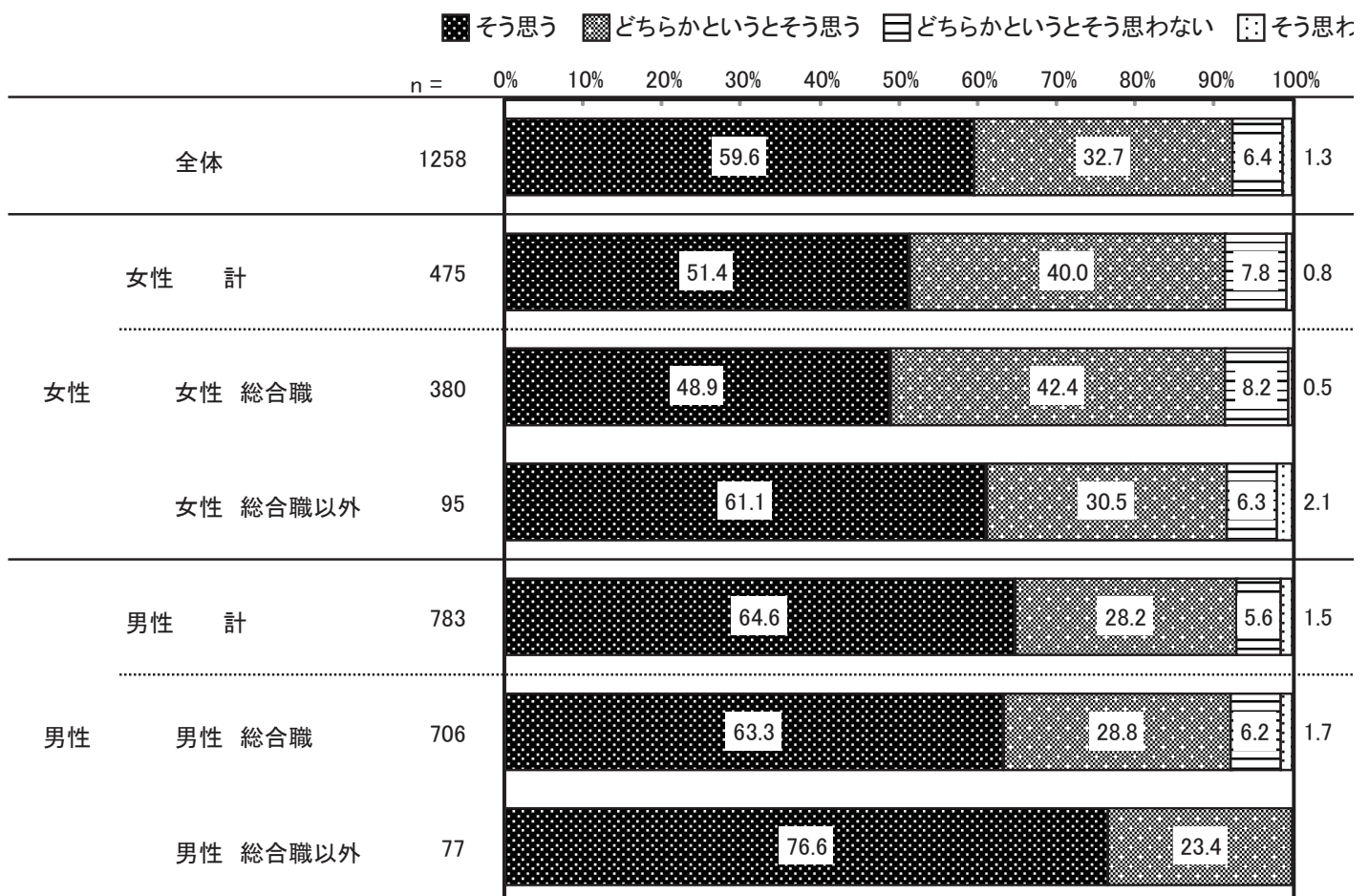


5-1. 今後の意向 (仕事の専門能力を高めたい)

- ◆「仕事の専門能力を高めたい」については、『女性 計』と『男性 計』の「そう思う」のスコアを比べると、男性の方が10ポイント以上高い。
- ◆ 総合職と総合職以外の「そう思う」のスコアを比べると、女性、男性ともに総合職以外の方が高い。

Q13. 今後について、どのようにお考えですか。(単一回答)

5-1-2. 今後の意向 【仕事の専門能力を高めたい】

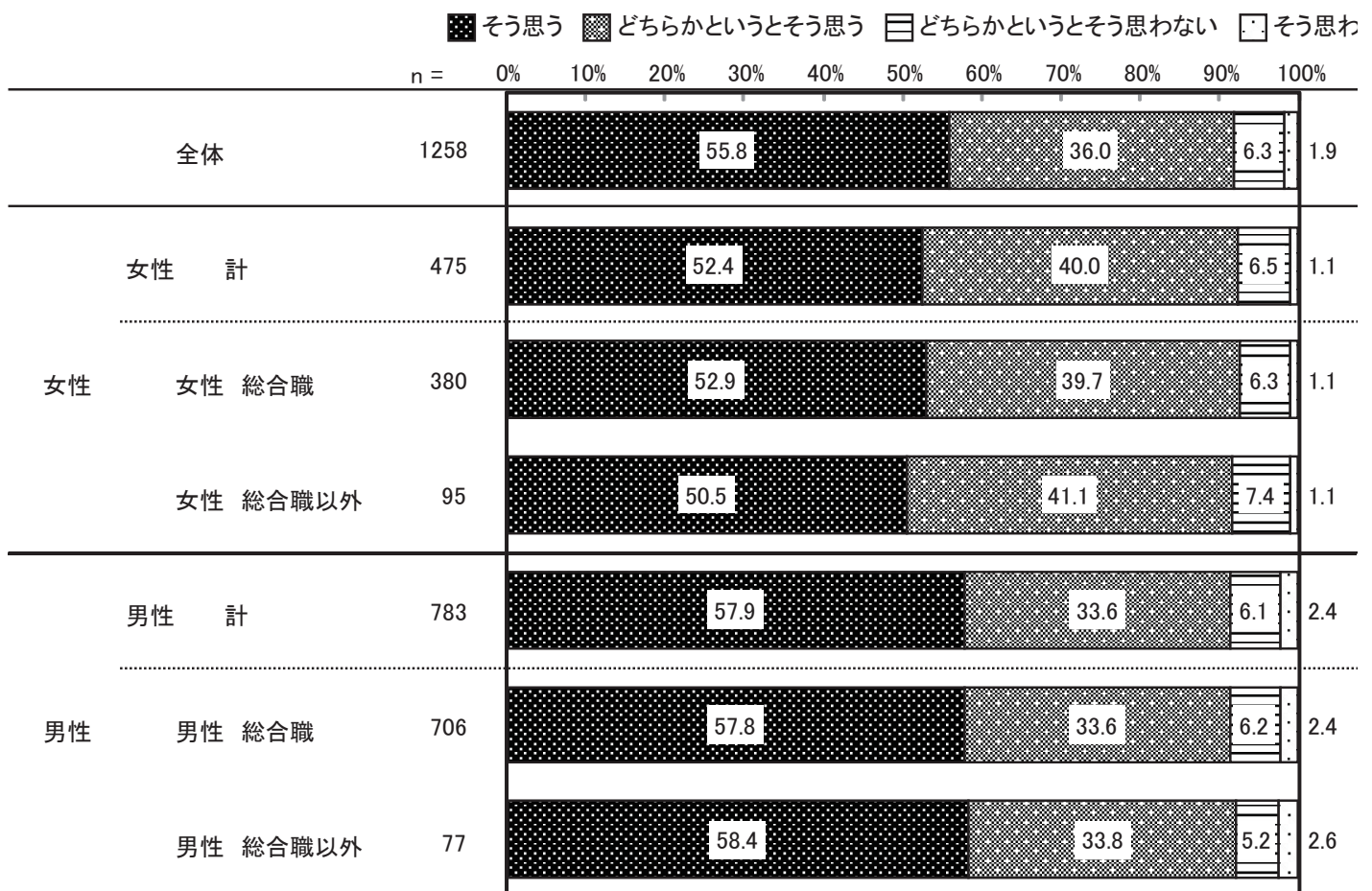


5-1. 今後の意向 (仕事を通じて社会の役に立ちたい)

◆「仕事を通じて社会の役に立ちたい」については、『女性 計』の「そう思う+どちらかというと思う」のスコアは92.4%、『男性 計』の「そう思う+どちらかというと思う」のスコアは91.4%と、ほとんど差は見られない。

Q13. 今後について、どのようにお考えですか。(単一回答)

5-1-3. 今後の意向 【仕事を通じて社会の役に立ちたい】

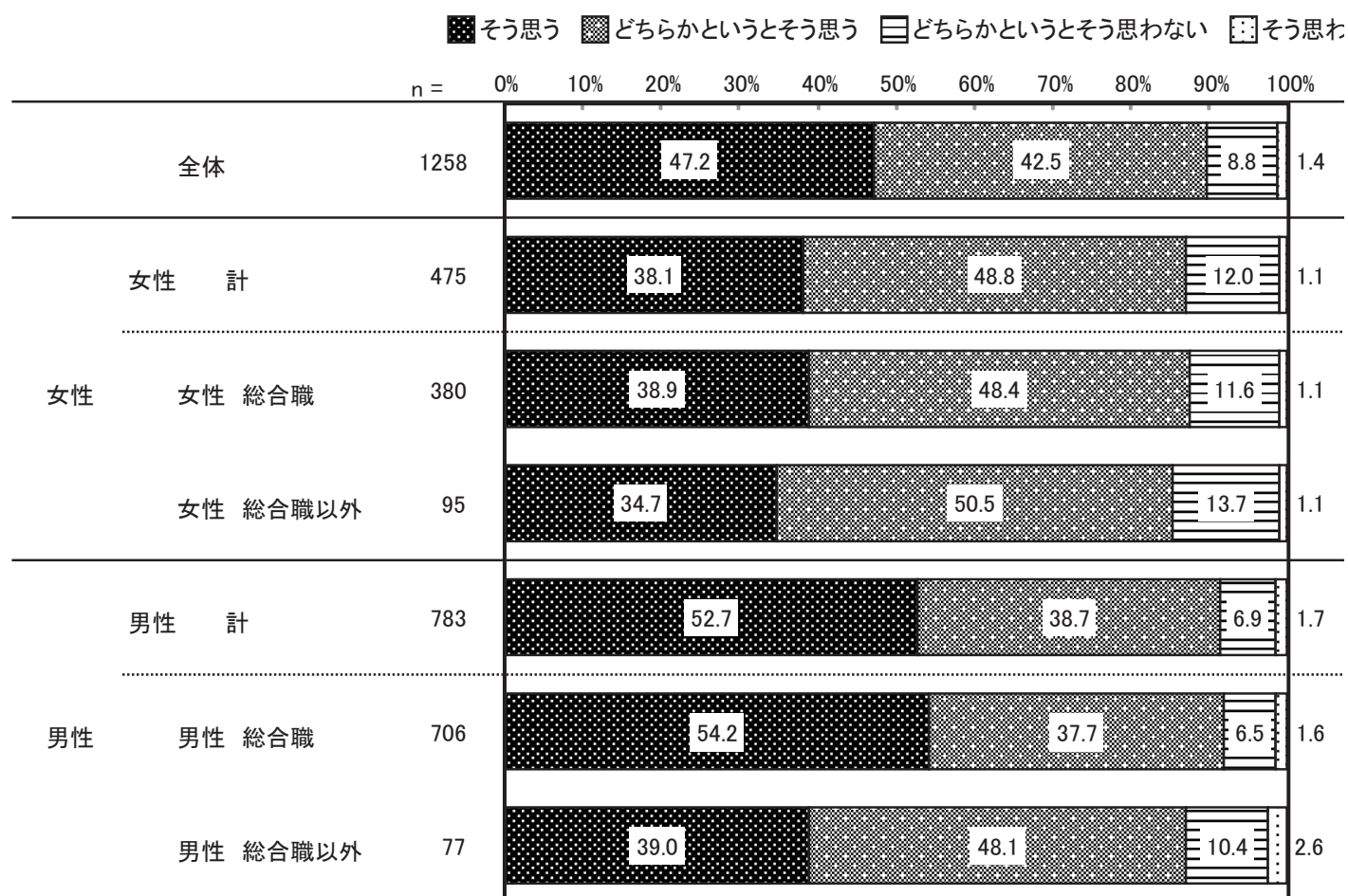


5-1. 今後の意向 (責任のある仕事をしたい)

- ◆「責任のある仕事をしたい」については、『女性 計』と『男性 計』の「そう思う」のスコアを比べると、男性の方が10ポイント以上高い。
- ◆『男性 総合職』と『男性 総合職以外』の「そう思う」を比べると、『男性 総合職』の方が高い。
一方、『女性 総合職』と『女性 総合職以外』では大きな差は見られない。

Q13. 今後について、どのようにお考えですか。(単一回答)

5-1-4. 今後の意向 【責任のある仕事をしたい】



5-1. 今後の意向

(機会があれば、別の会社に転職したい)

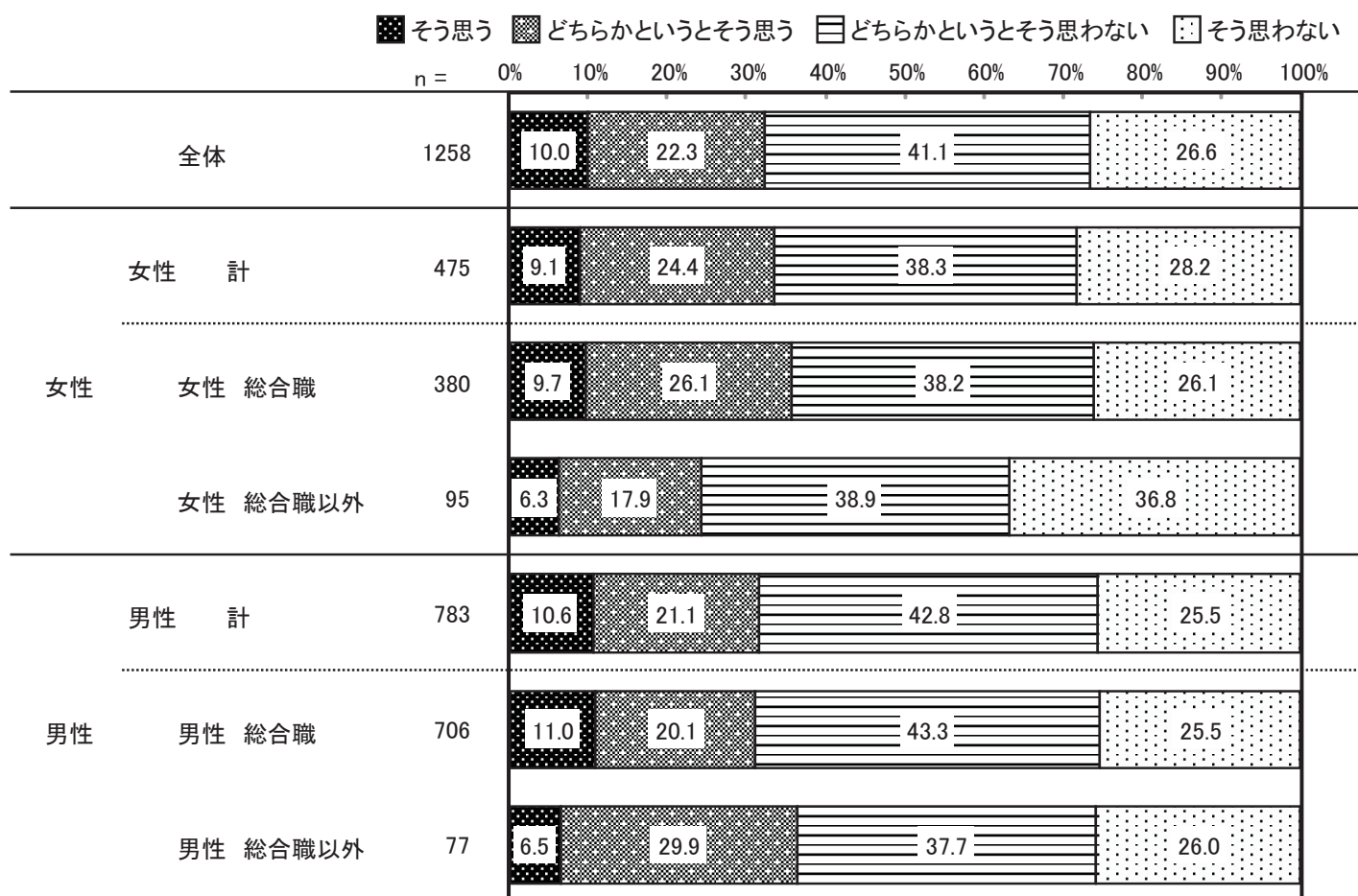
◆「機会があれば、別の会社に転職したい」については、『女性 計』の「そう思う+どちらかというと思う」のスコアは33.5%、『男性 計』の「そう思う+どちらかというと思う」のスコアは31.7%と、大きな差は見られない。

◆『女性 総合職』と『女性 総合職以外』の「そう思う+どちらかというと思う」のスコアを比べると、『女性 総合職』の方が高い。

一方、『男性 総合職』と『男性 総合職以外』の「そう思う+どちらかというと思う」のスコアを比べると、『男性 総合職以外』の方がやや高い。

Q13. 今後について、どのようにお考えですか。(単一回答)

5-1-5. 今後の意向 【機会があれば、別の会社に転職したい】

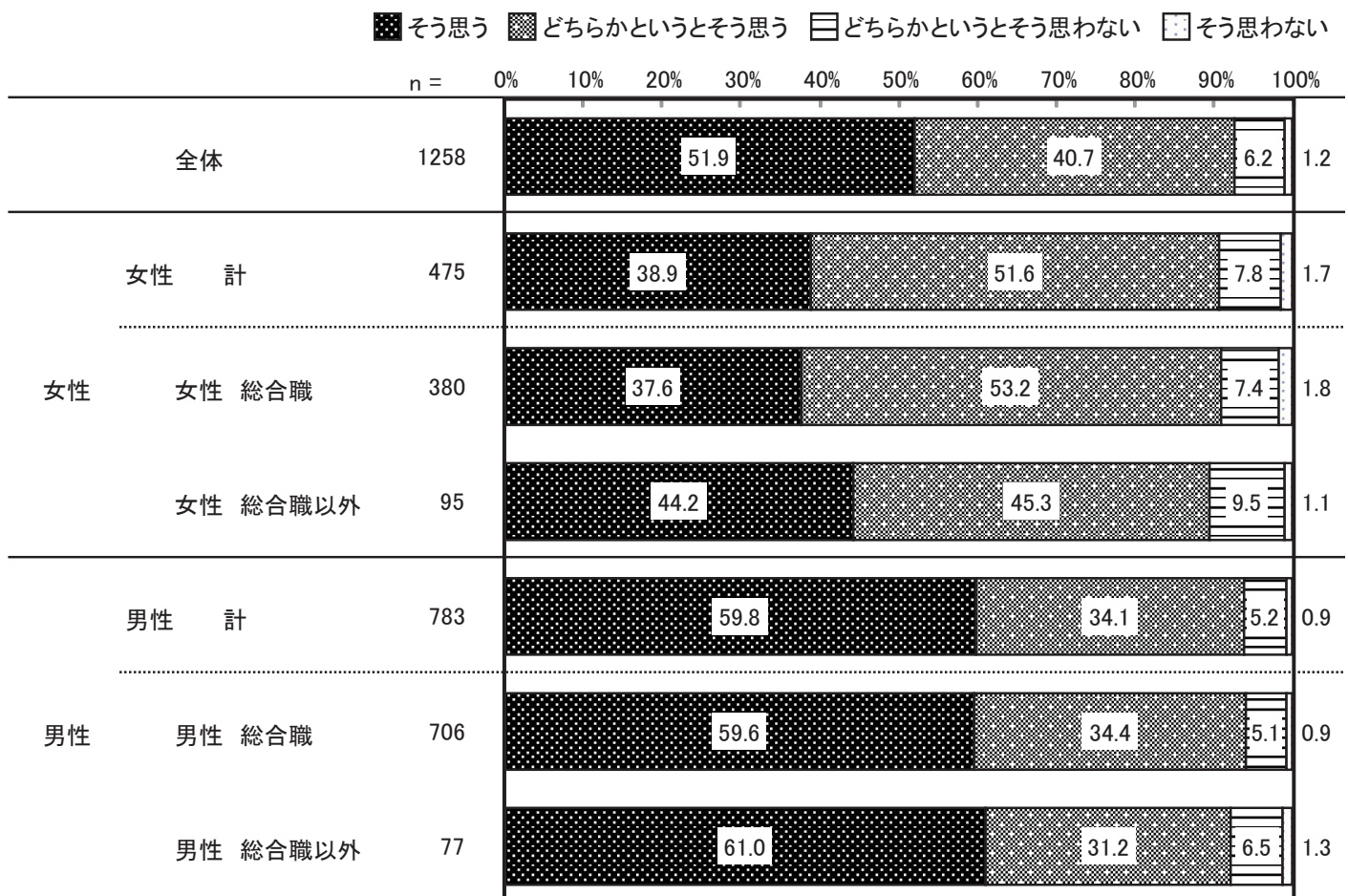


5-1. 今後の意向 (高い収入を得たい)

- ◆「高い収入を得たい」については、『女性 計』と『男性 計』の「そう思う」のスコアを比べると、男性の方が20ポイント以上高い。
- ◆『女性 総合職』と『女性 総合職以外』の「そう思う」のスコアを比べると、『女性 総合職以外』の方がやや高い。

Q13. 今後について、どのようにお考えですか。(単一回答)

5-1-6. 今後の意向 【高い収入を得たい】

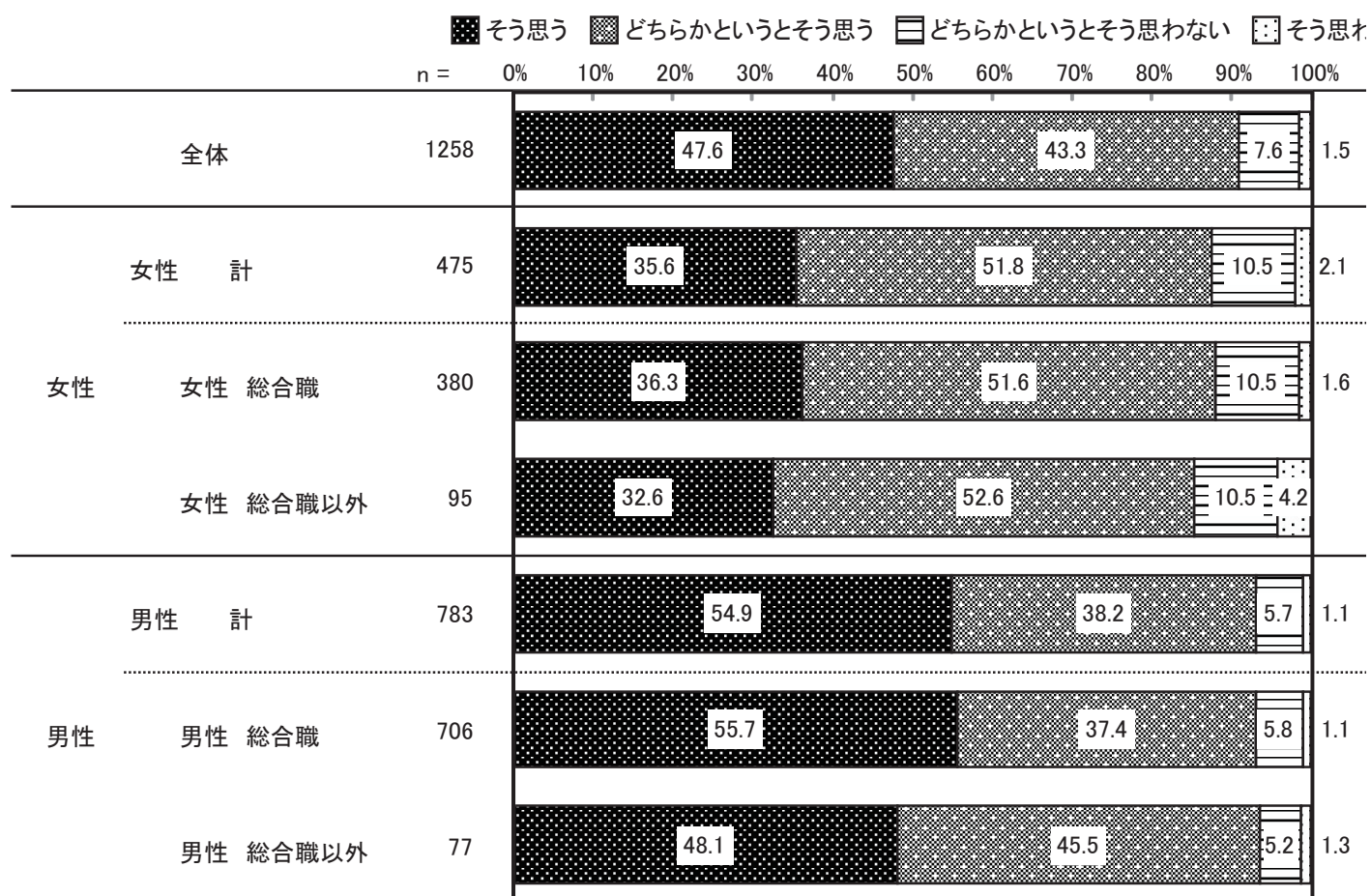


5-1. 今後の意向 (社会的に成功したい)

◆「社会的に成功したい」については、『女性 計』と『男性 計』の「そう思う」を比べると、男性の方が20ポイント近く高い。

Q13. 今後について、どのようにお考えですか。(単一回答)

5-1-7. 今後の意向 【社会的に成功したい】

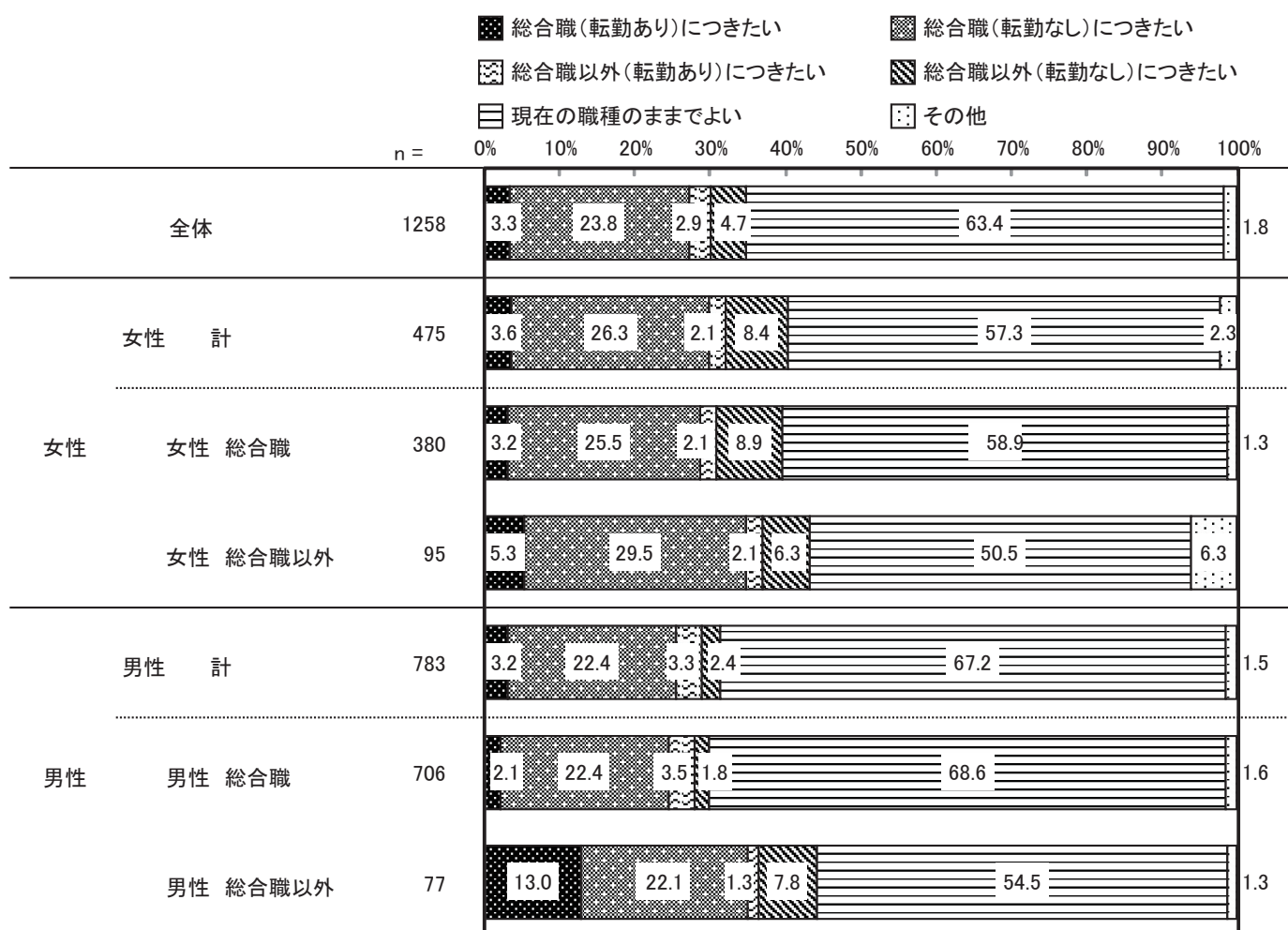


5-2. 今後の希望職種

- ◆ 今後の希望職種について、全体でみると、職種変更希望者は3割強、「現在の職種のままでよい」が約6割。
- ◆ 『女性 計』と『男性 計』の職種変更希望者の割合を比べると、女性の方がやや高い。『男性 総合職』と『男性 総合職以外』の職種変更希望者の割合を比べると、『男性 総合職以外』の方が高い。

Q14. あなたは今後、できればどのような職種で働きたいですか。なお、ここでいう「転勤」とは、「転居を伴う」異動を意味します。（単一回答）

5-2-1. 今後の希望職種



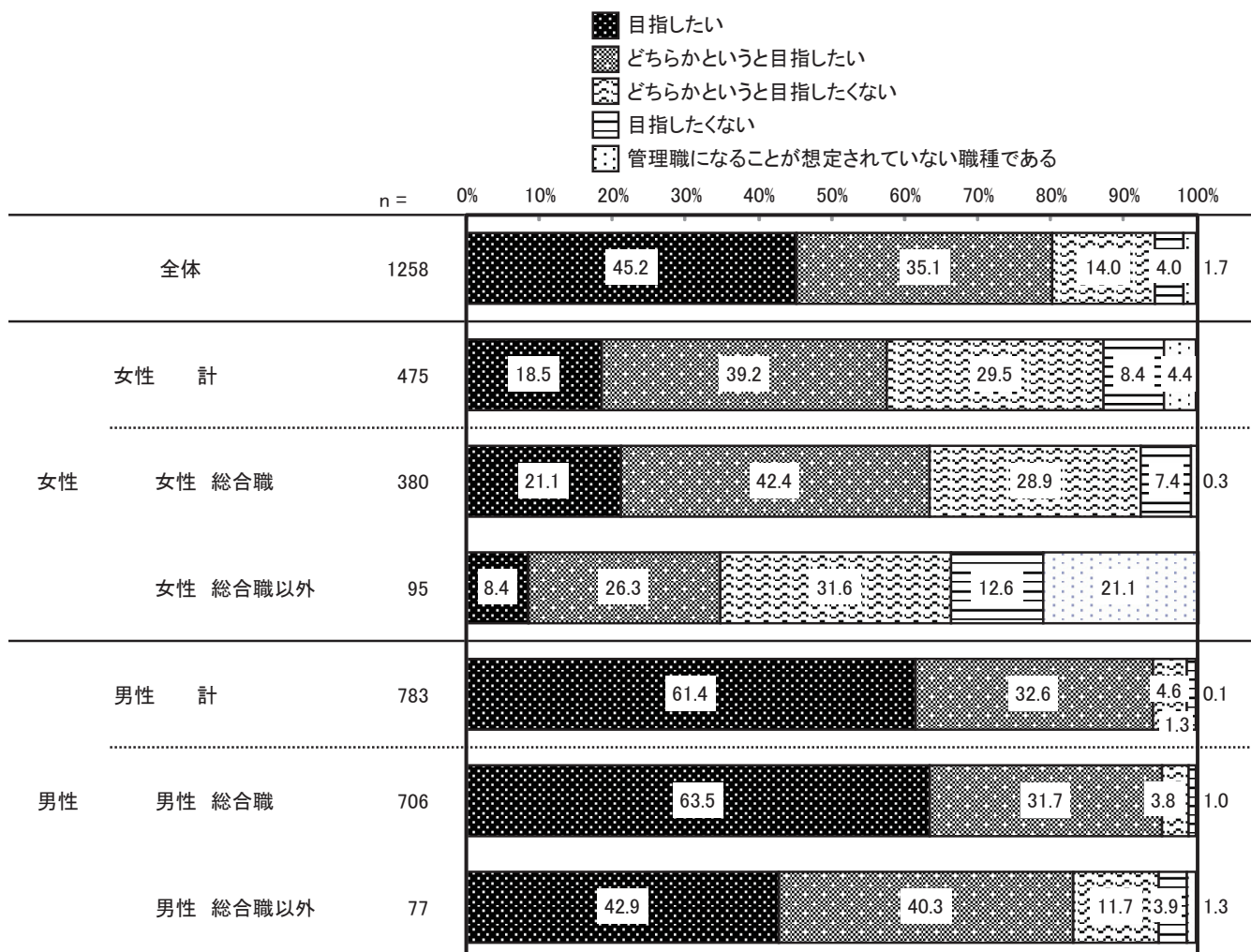
5-3. 管理職を目指したいか

◆「管理職を目指したいか」については、全体でみると、「目指したい」が45.2%、「どちらかという目指したい」が35.1%で、これらを合わせると約8割。

◆『女性 計』と『男性 計』の「目指したい」のスコアを比べると、男性の方が約40ポイント高い。総合職と総合職以外の「目指したい」のスコアを比べると、女性、男性ともに総合職の方が高い。

Q15. あなたは、管理職を目指したいですか。（単一回答）

5-3-1. 管理職を目指したいか

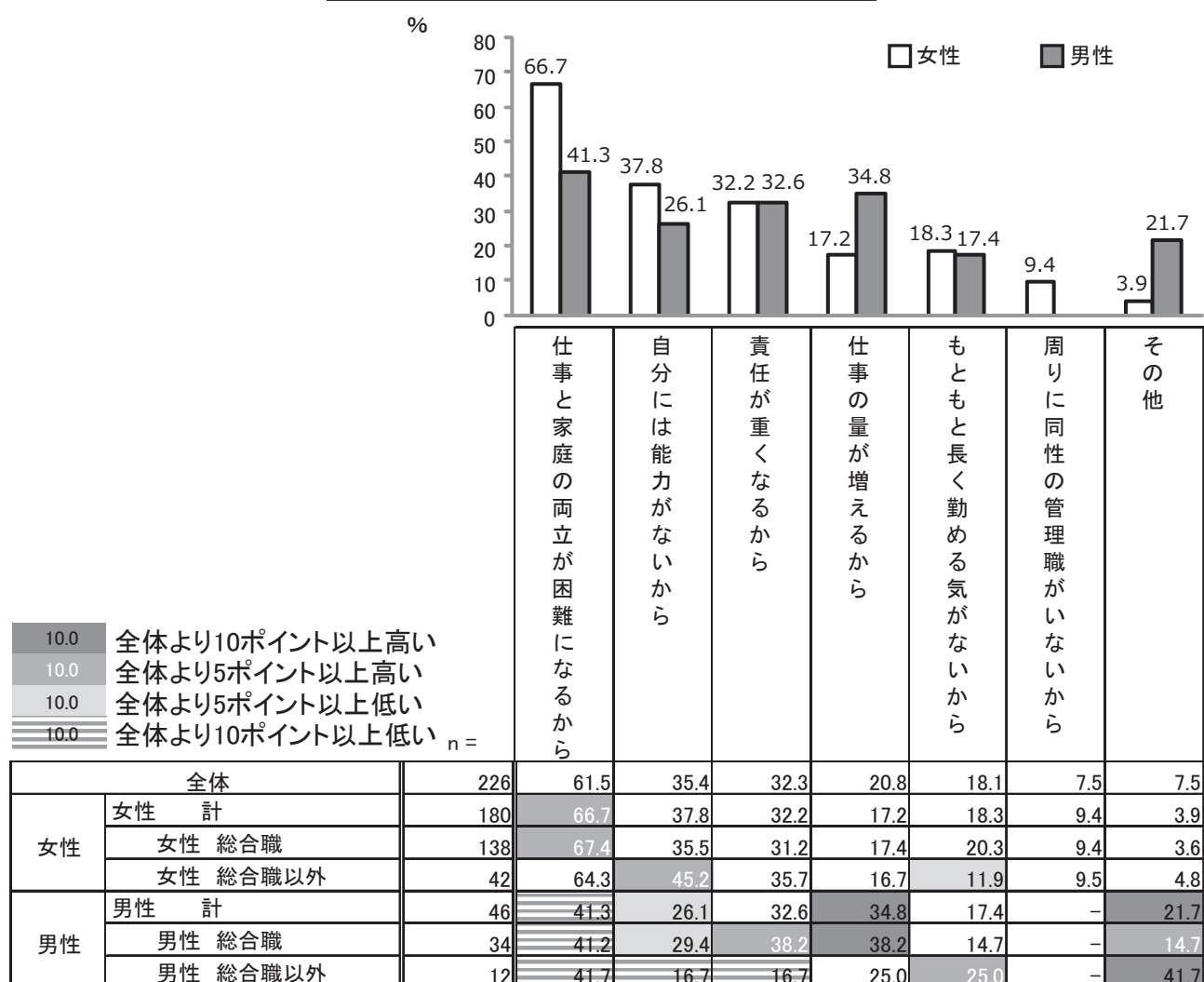


5-4. 管理職を目指したくない理由

- ◆「管理職を目指したくない理由」については、全体でみると、「仕事と家庭の両立が困難になるから」が61.5%と最も高い。それに「自分には能力がないから」が35.4%、「責任が重くなるから」が32.3%と続く。
- ◆『女性 計』と『男性 計』を比べると、「仕事と家庭の両立が困難になるから」と「自分には能力がないから」の割合は女性の方が高い。
- ◆一方『男性 計』では、「仕事の量が増えるから」が『女性 計』よりも高い。

Q16. 目指したくない理由は何ですか。あてはまるものすべてをお選びください。（複数回答）

5-4-1. 管理職を目指したくない理由 ＜管理職を目指したくない人ベース＞



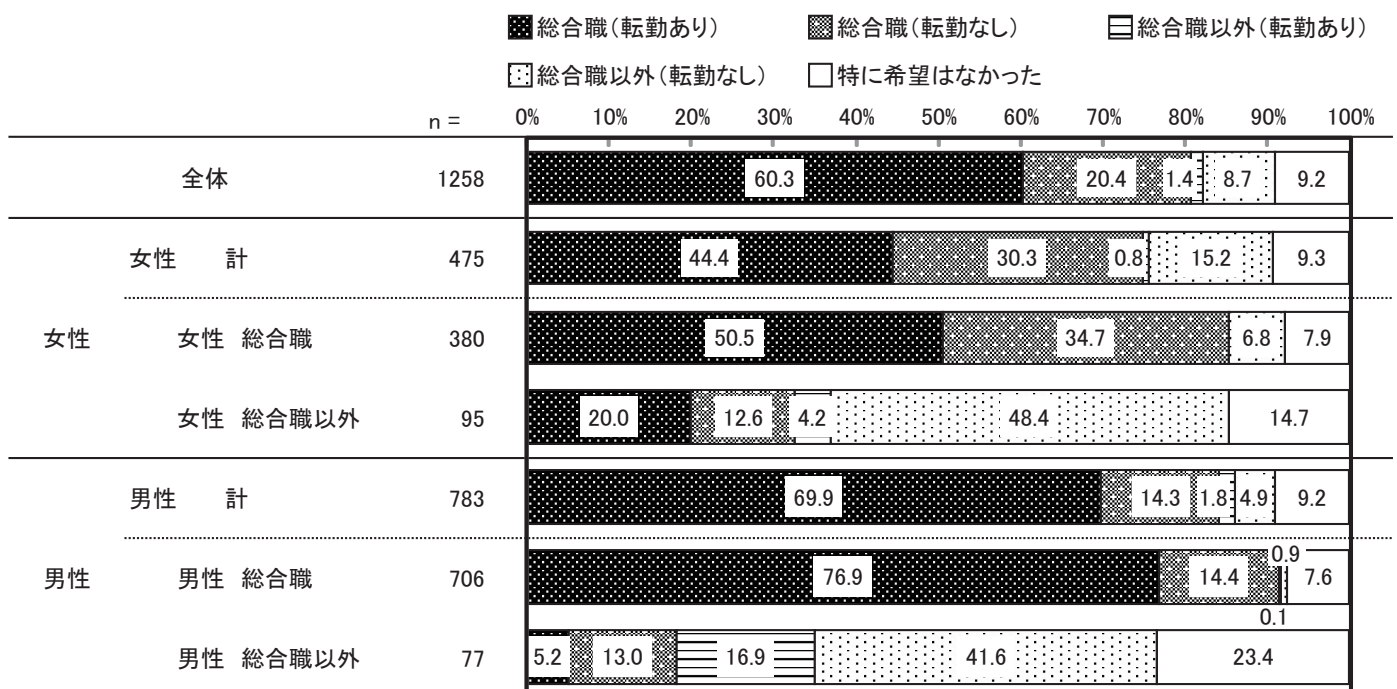
6. 結果詳細Ⅲ ～就職活動と大学生活～

6-1. 就職活動時の希望職種

- ◆「就職活動時の希望職種」については、全体でみると、「総合職(転勤あり)」が約6割、「総合職(転勤なし)」が約2割、「総合職以外(転勤あり)」が約1%、「総合職以外(転勤なし)」が1割弱、「特に希望はなかった」が1割弱。
- ◆『女性 計』と『男性 計』を比べると、「総合職(転勤あり)」は男性の方が高い。一方、「総合職(転勤なし)」と「総合職以外(転勤なし)」は女性の方が高い。

Q17. あなたは就職活動の時、どのような職種を希望していましたか。なお、ここでいう「転勤」とは、「転居を伴う」異動を意味します。(単一回答)

6-1-1. 就職活動時の希望職種

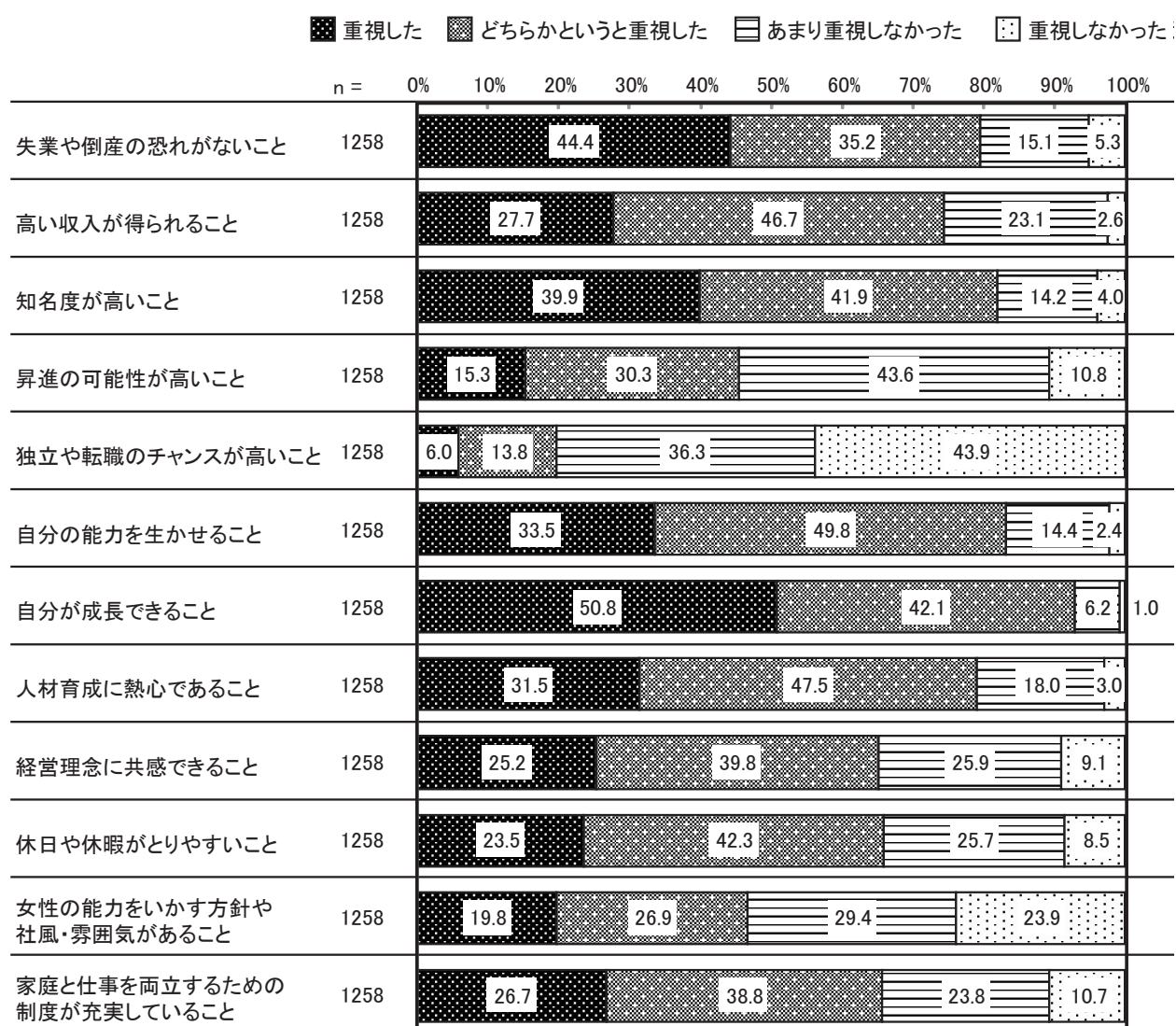


6-2. 就職活動時の各基準重視度

- ◆ 就職活動時の各基準重視度の「重視した+どちらかという重視した」のスコアは、『自分が成長できること』が約9割と最も高い。『自分の能力を生かせること』、『知名度が高いこと』、『失業や倒産の恐れがないこと』、『人材育成に熱心であること』が8割前後で続く。
- ◆ 『昇進の可能性が高いこと』、『独立や転職のチャンスが高いこと』、『女性の能力をいかす方針や社風・雰囲気があること』は、「重視した+どちらかという重視した」のスコアが50%を下回る。
中でも『独立や転職のチャンスが高いこと』の「重視した+どちらかという重視した」のスコアは、他の項目と比べて特に低い。

Q18. あなたは就職活動のとき、会社を選ぶ基準として、次のようなことをどの程度重視しましたか。
(単一回答)

6-2-1. 就職活動時の各基準重視度

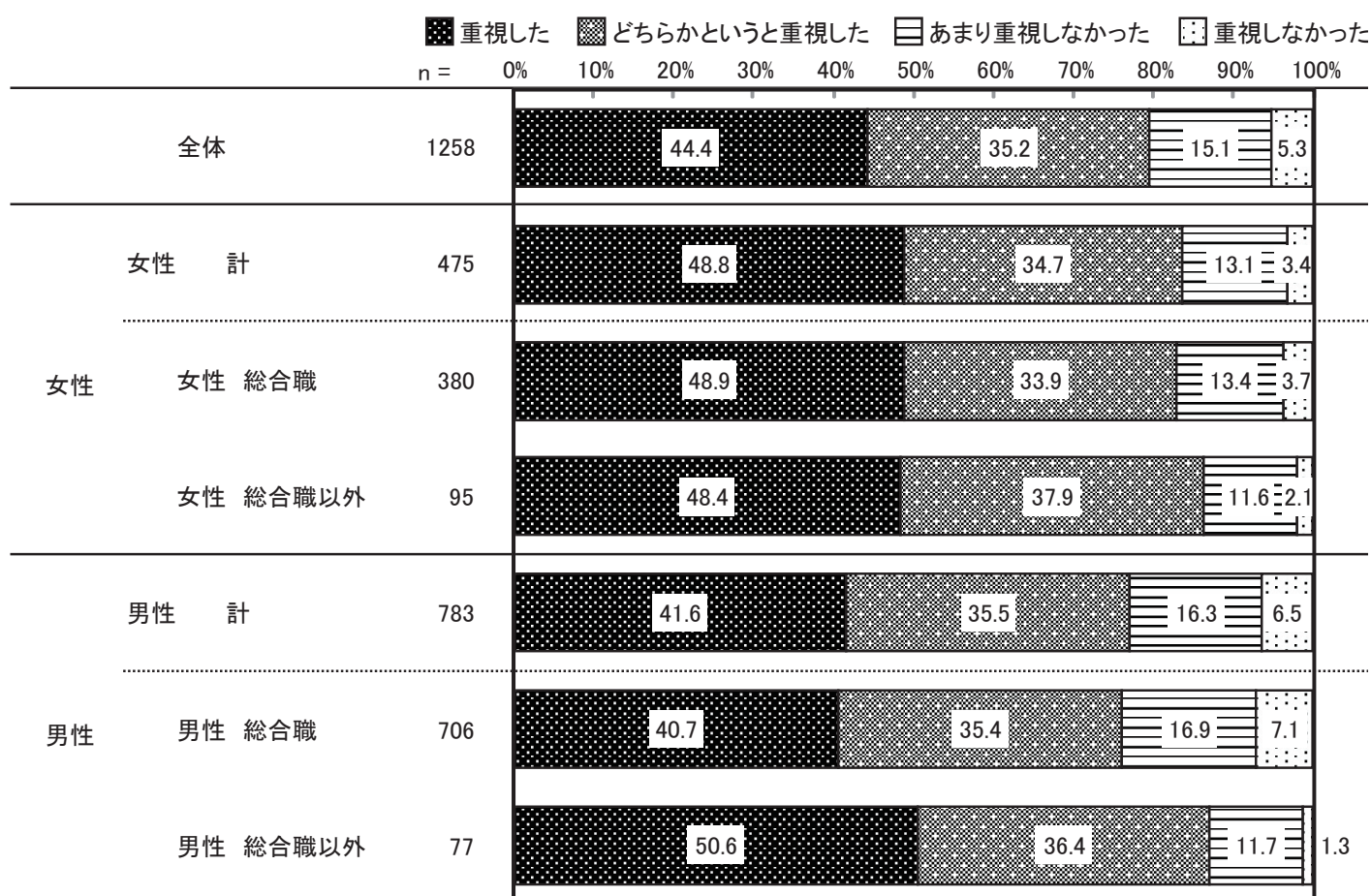


6-2. 就職活動時の各基準重視度 (失業や倒産の恐れがないこと)

- ◆「失業や倒産の恐れがないこと」については、『女性 計』と『男性 計』の「重視した+どちらかという重視した」のスコアを比べると、女性の方がやや高い。
- ◆『男性 総合職』と『男性 総合職以外』の「重視した+どちらかという重視した」のスコアを比べると、『男性 総合職以外』の方が高い。
一方、『女性 総合職』と『女性 総合職以外』では大きな差は見られない。

Q18. あなたは就職活動のとき、会社を選ぶ基準として、次のようなことをどの程度重視しましたか。
(単一回答)

6-2-2. 就職活動時の各基準重視度 【失業や倒産の恐れがないこと】

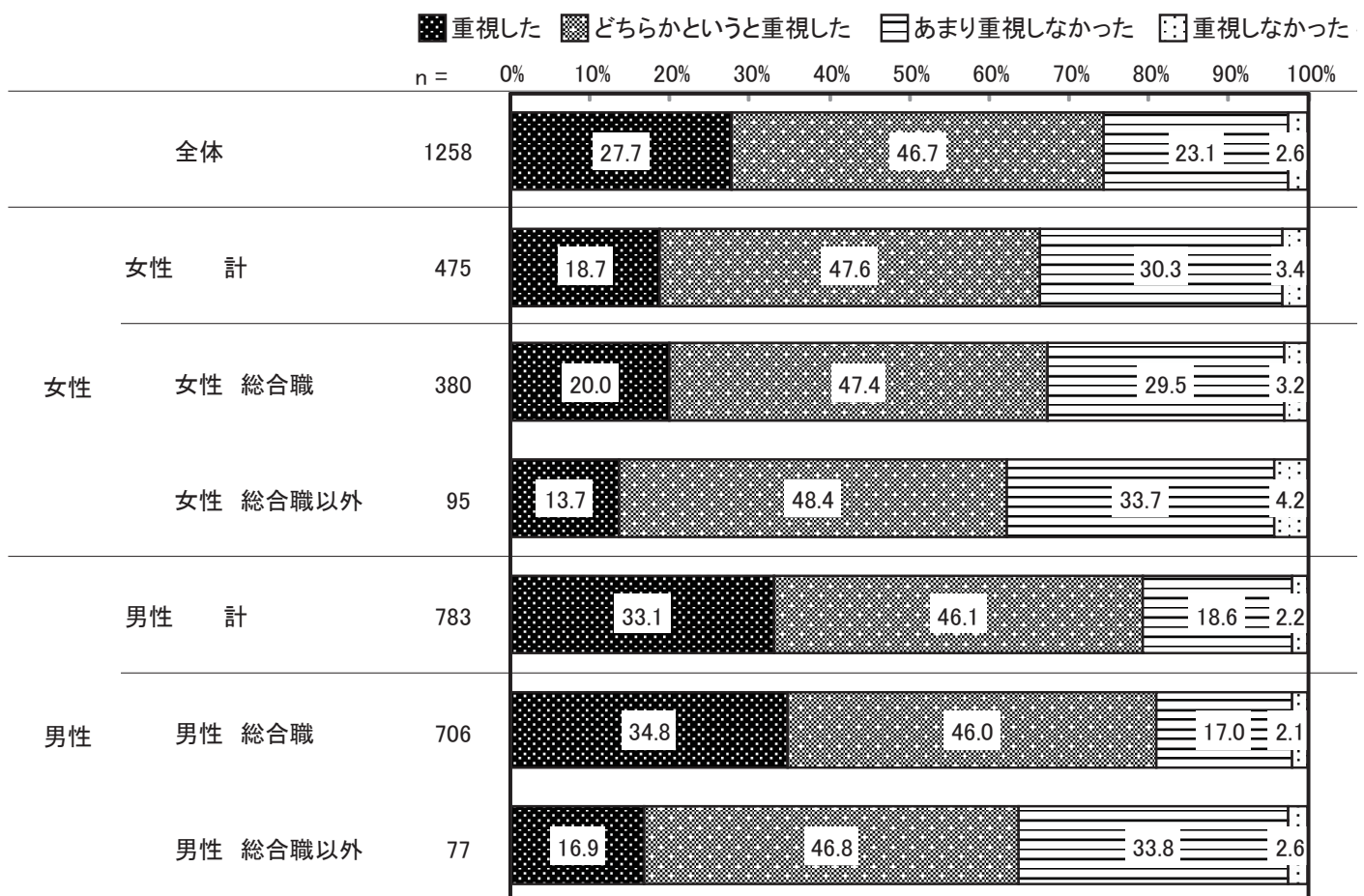


6-2. 就職活動時の各基準重視度 (高い収入が得られること)

- ◆「高い収入が得られること」については、『女性 計』と『男性 計』の「重視した+どちらか」というと重視した」のスコアを比べると、男性の方が高い。
- ◆ 総合職と総合職以外の「重視した」を比べると、女性、男性ともに総合職の方が高い。

Q18. あなたは就職活動のとき、会社を選ぶ基準として、次のようなことをどの程度重視しましたか。
(単一回答)

6-2-3. 就職活動時の各基準重視度 【高い収入が得られること】

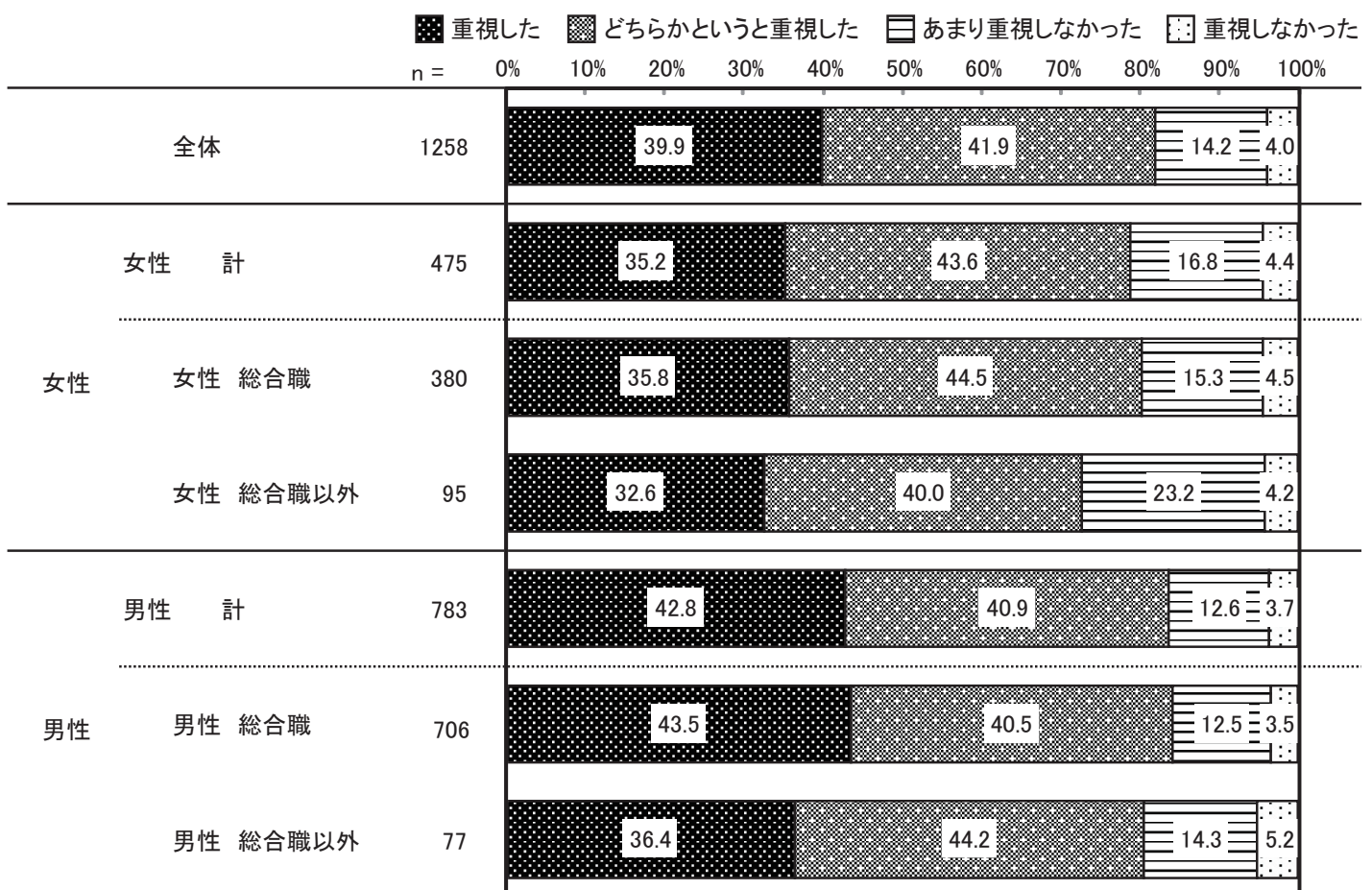


6-2. 就職活動時の各基準重視度 (知名度が高いこと)

- ◆「知名度が高いこと」については、『女性 計』と『男性 計』の「重視した+どちらかという重視した」のスコアを比べると、男性の方がやや高い。
- ◆『女性 総合職』と『女性 総合職以外』の「重視した+どちらかという重視した」のスコアを比べると、『女性 総合職』の方がやや高い。

Q18. あなたは就職活動のとき、会社を選ぶ基準として、次のようなことをどの程度重視しましたか。
(単一回答)

6-2-4. 就職活動時の各基準重視度 【知名度が高いこと】

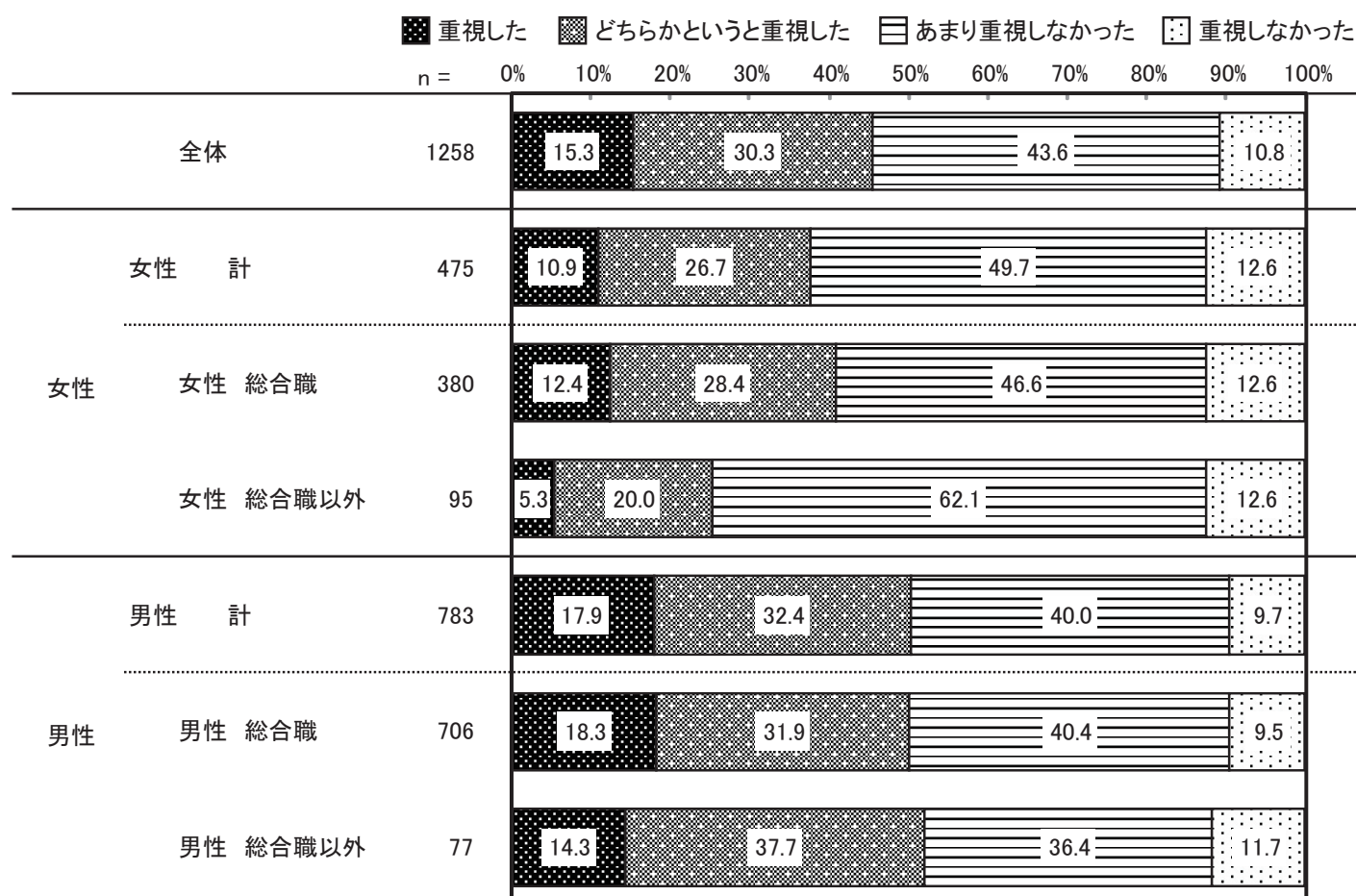


6-2. 就職活動時の各基準重視度 (昇進の可能性が高いこと)

- ◆「昇進の可能性が高いこと」については、『女性 計』と『男性 計』の「重視した+どちらか」というと重視した」のスコアを比べると、男性の方が高い。
- ◆『女性 総合職』と『女性 総合職以外』の「重視した+どちらか」というと重視した」のスコアを比べると、『女性 総合職』の方が高い。

Q18. あなたは就職活動のとき、会社を選ぶ基準として、次のようなことをどの程度重視しましたか。
(単一回答)

6-2-5. 就職活動時の各基準重視度 【昇進の可能性が高いこと】

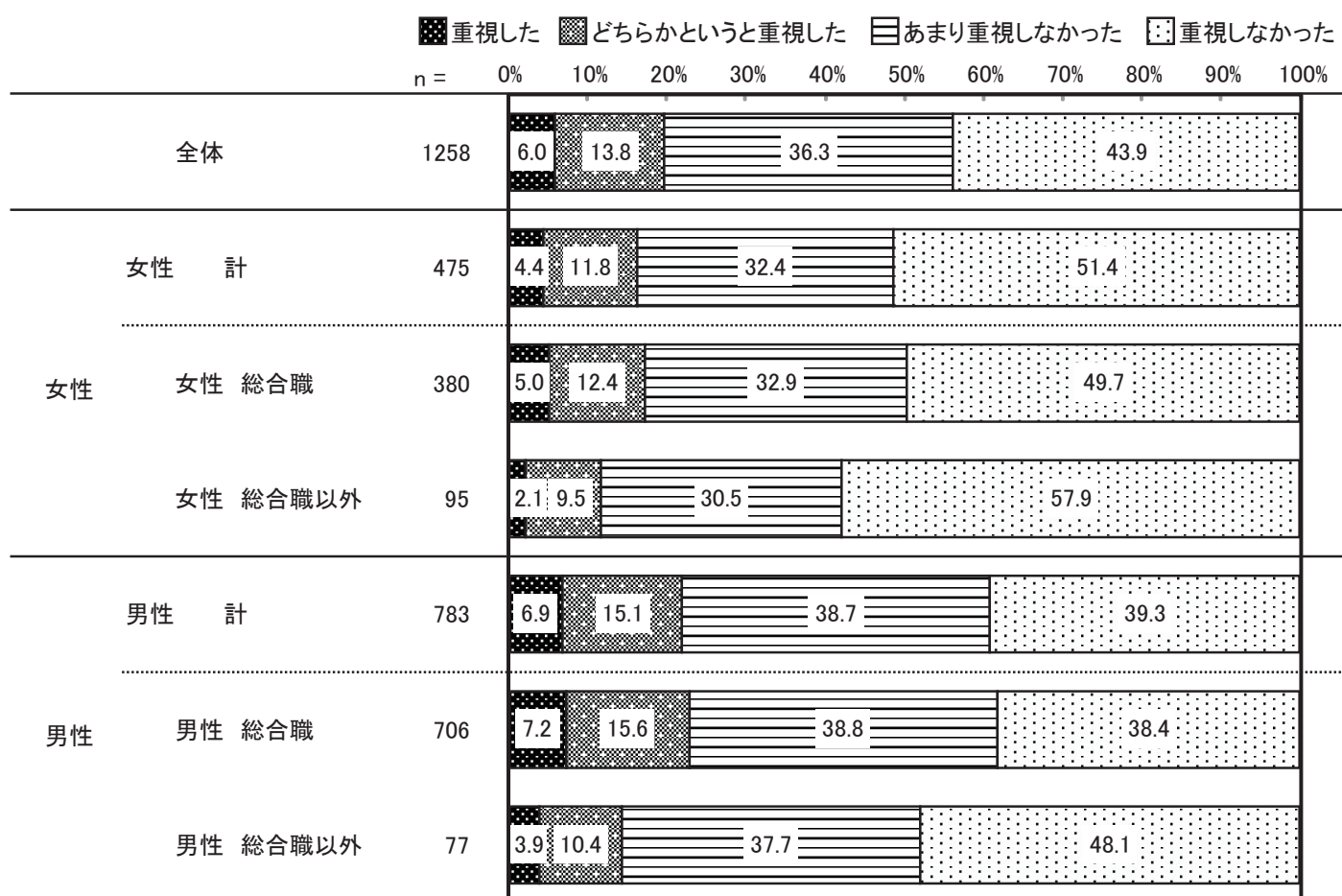


6-2. 就職活動時の各基準重視度 (独立や転職のチャンスが高いこと)

- ◆「独立や転職のチャンスが高いこと」については、『女性 計』と『男性 計』の「重視した+どちらかという重視した」のスコアを比べると、男性の方がやや高い。
- ◆ 総合職と総合職以外の「重視した+どちらかという重視した」のスコアを比べると、女性、男性ともに総合職の方がやや高い。

Q18. あなたは就職活動のとき、会社を選ぶ基準として、次のようなことをどの程度重視しましたか。
(単一回答)

6-2-6. 就職活動時の各基準重視度 【独立や転職のチャンスが高いこと】

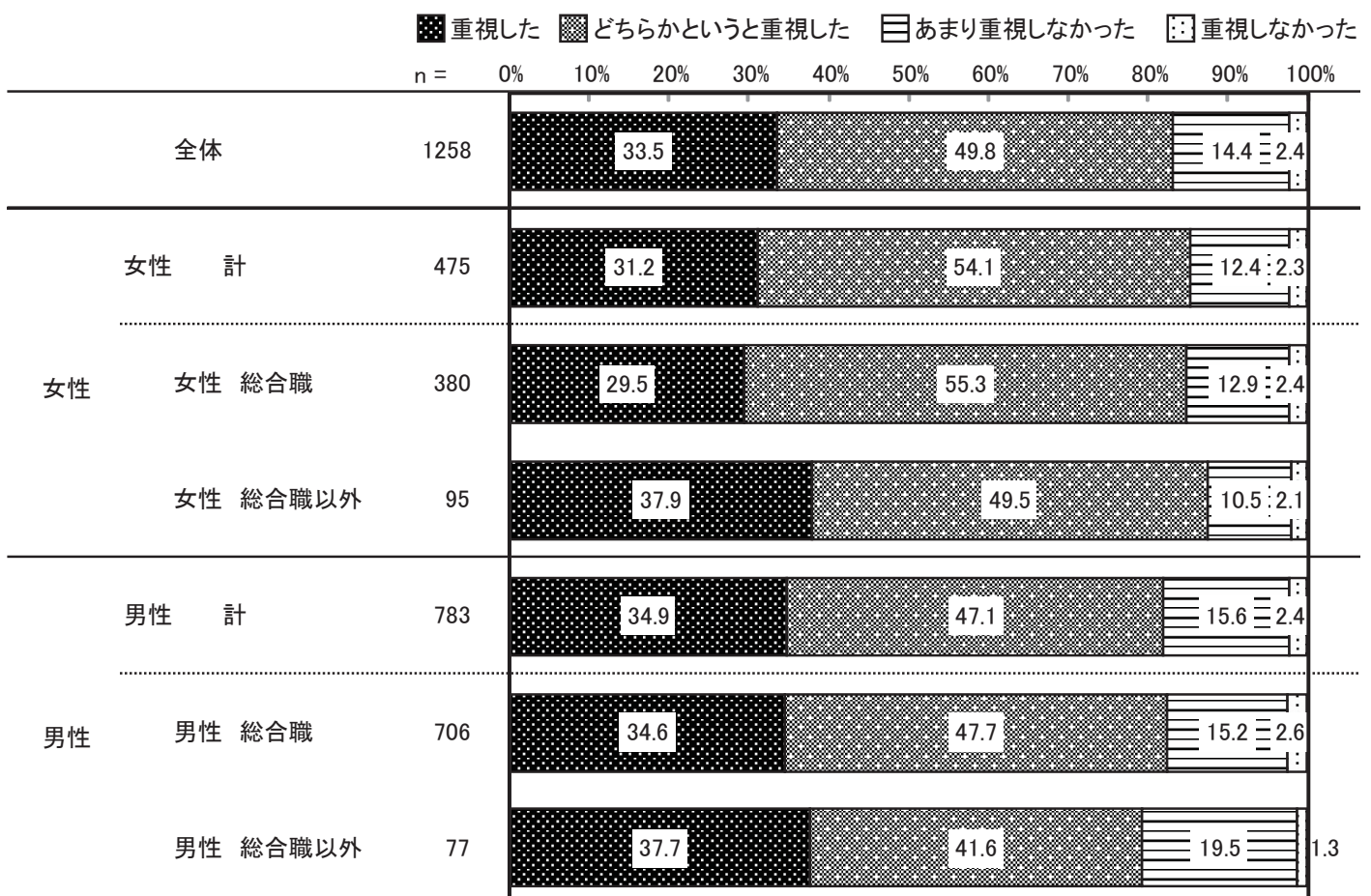


6-2. 就職活動時の各基準重視度 (自分の能力を生かせること)

- ◆「自分の能力を生かせること」については、『女性 計』の「重視した+どちらかという」と重視した」のスコアは85.3%、『男性 計』の「重視した+どちらかという」と重視した」のスコアは82.0%と、大きな差は見られない。
- ◆『女性 総合職』と『女性 総合職以外』の「重視した」を比べると、『女性 総合職以外』の方がやや高い。

Q18. あなたは就職活動のとき、会社を選ぶ基準として、次のようなことをどの程度重視しましたか。
(単一回答)

6-2-7. 就職活動時の各基準重視度 【自分の能力を生かせること】



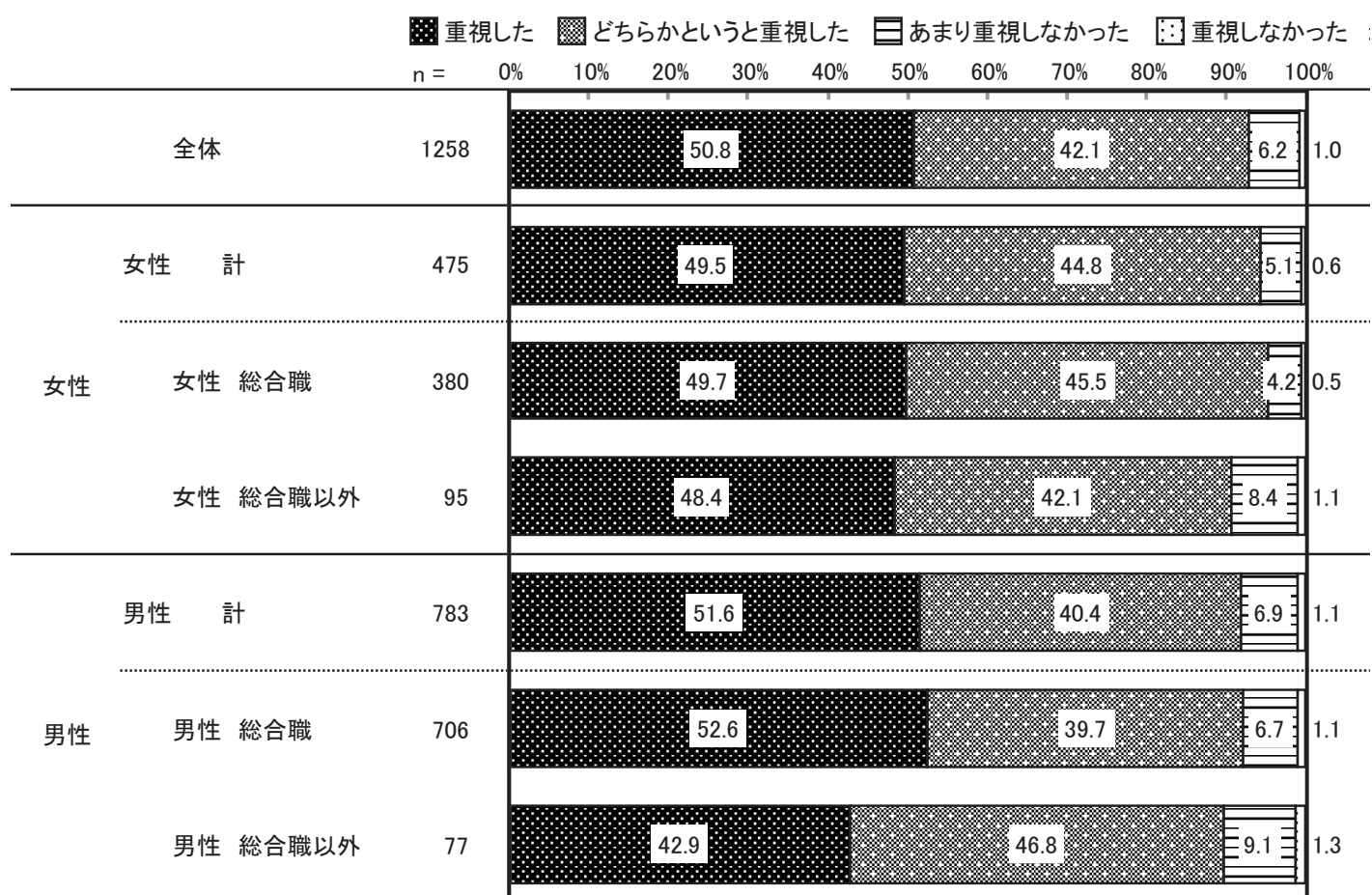
6-2. 就職活動時の各基準重視度 (自分が成長できること)

◆「自分が成長できること」については、『女性 計』の「重視した+どちらかという重視した」のスコアは94.3%、『男性 計』の「重視した+どちらかという重視した」のスコアは92.0%と、ほとんど差は見られない。

◆『男性 総合職』と『男性 総合職以外』の「重視した」を比べると、『男性 総合職』の方がやや高い。
一方、『女性 総合職』と『女性 総合職以外』では大きな差は見られない。

Q18. あなたは就職活動のとき、会社を選ぶ基準として、次のようなことをどの程度重視しましたか。
(単一回答)

6-2-8. 就職活動時の各基準重視度 【自分が成長できること】

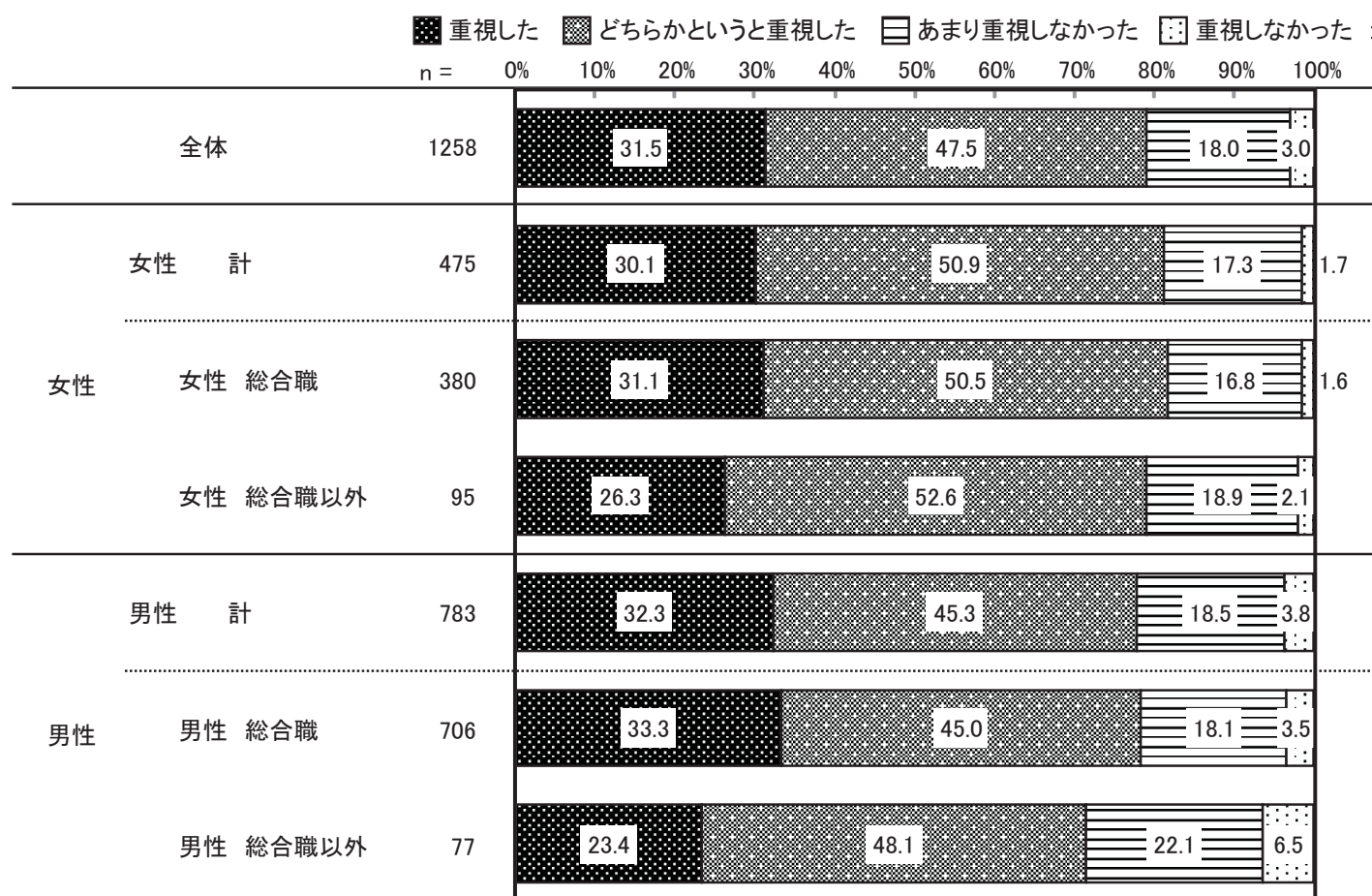


6-2. 就職活動時の各基準重視度 (人材育成に熱心であること)

- ◆「人材育成に熱心であること」については、『女性 計』の「重視した+どちらかという重視した」のスコアは81.1%、『男性 計』の「重視した+どちらかという重視した」のスコアは77.7%と、大きな差は見られない。
- ◆『男性 総合職』と『男性 総合職以外』の「重視した」を比べると、『男性 総合職』の方がやや高い。
一方、『女性 総合職』と『女性 総合職以外』では大きな差は見られない。

Q18. あなたは就職活動のとき、会社を選ぶ基準として、次のようなことをどの程度重視しましたか。
(単一回答)

6-2-9. 就職活動時の各基準重視度 【人材育成に熱心であること】

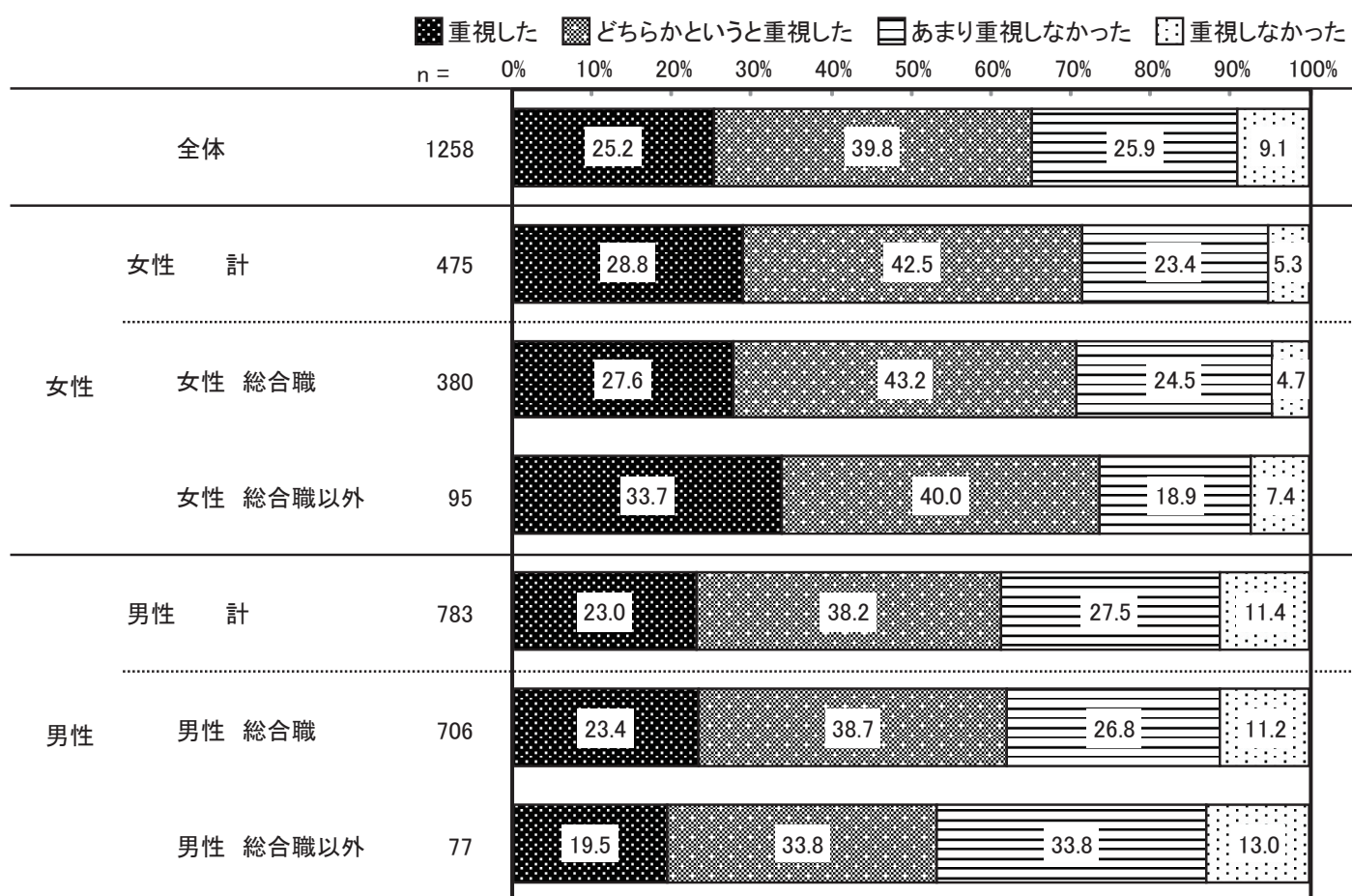


6-2. 就職活動時の各基準重視度 (経営理念に共感できること)

- ◆「経営理念に共感できること」については、『女性 計』と『男性 計』の「重視した+どちらか」と重視した」のスコアを比べると、女性の方が高い。
- ◆『女性 総合職』と『女性 総合職以外』の「重視した」を比べると、『女性 総合職以外』の方がやや高い。

Q18. あなたは就職活動のとき、会社を選ぶ基準として、次のようなことをどの程度重視しましたか。
(単一回答)

6-2-10. 就職活動時の各基準重視度 【経営理念に共感できること】

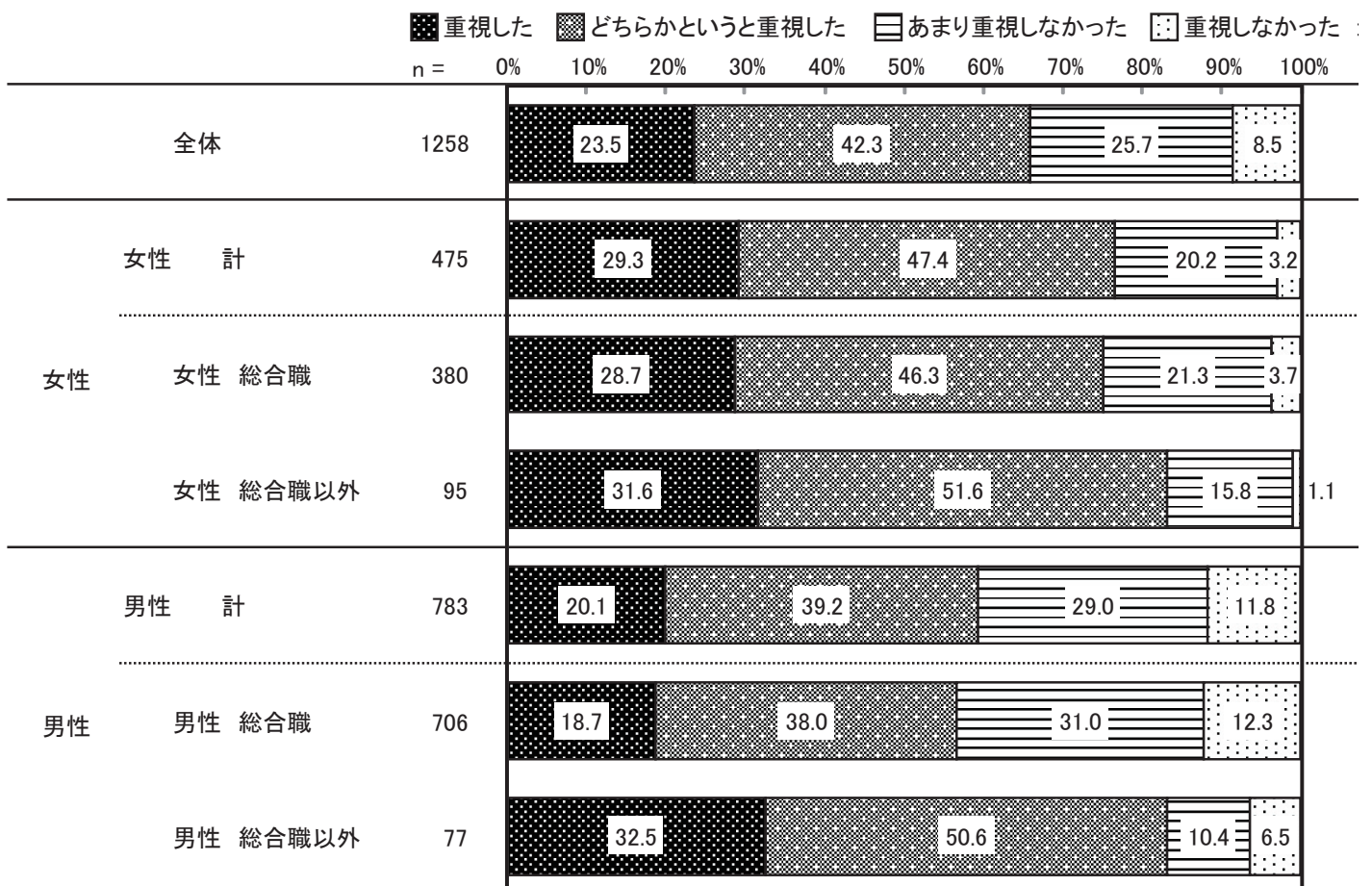


6-2. 就職活動時の各基準重視度 (休日や休暇がとりやすいこと)

- ◆「休日や休暇がとりやすいこと」については、『女性 計』と『男性 計』の「重視した+どちらかという重視した」のスコアを比べると、女性の方が高い。
- ◆ 総合職と総合職以外の「重視した+どちらかという重視した」のスコアを比べると、女性、男性ともに総合職以外の方が高い。

Q18. あなたは就職活動のとき、会社を選ぶ基準として、次のようなことをどの程度重視しましたか。
(単一回答)

6-2-11. 就職活動時の各基準重視度 【休日や休暇がとりやすいこと】



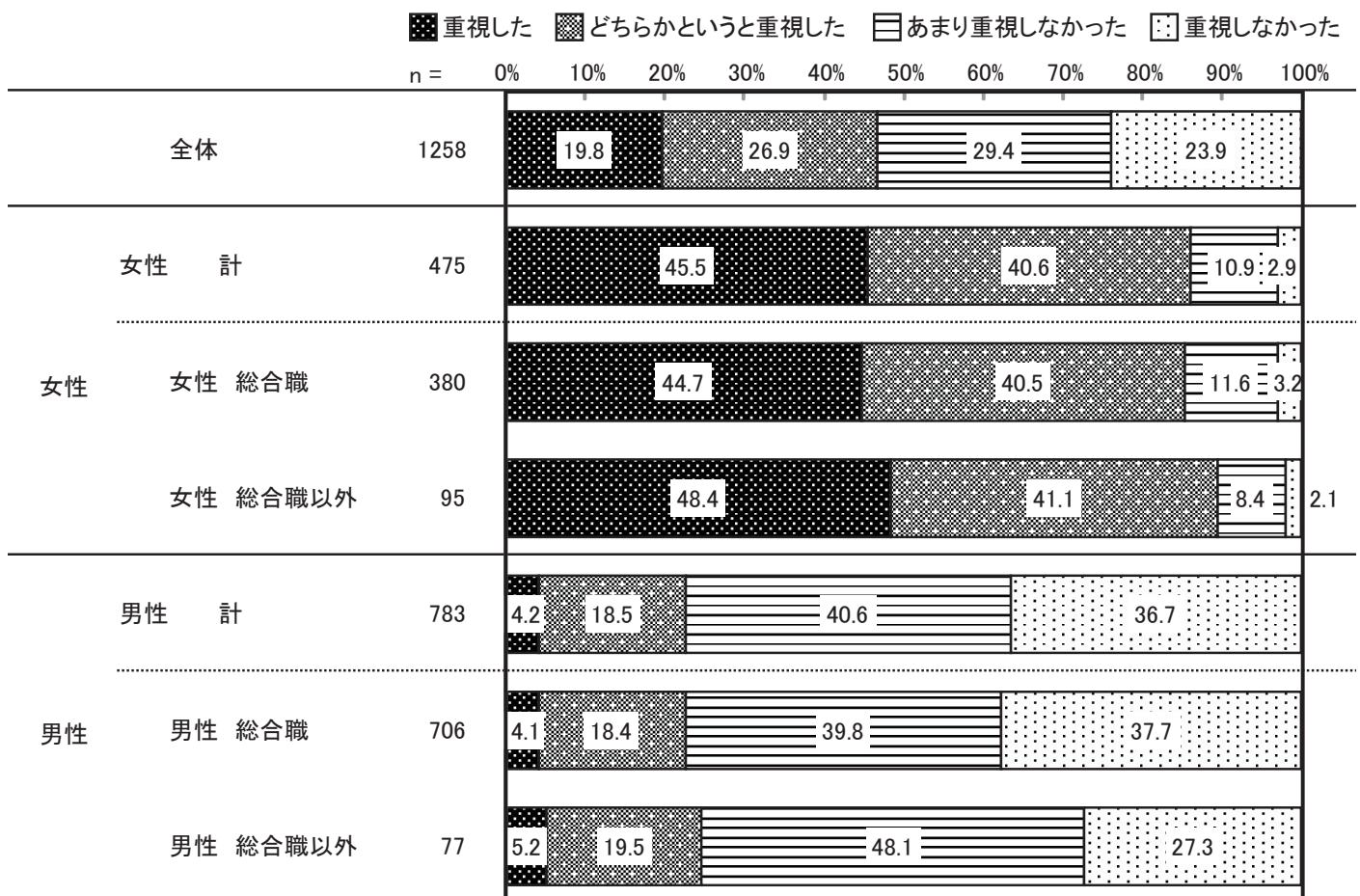
6-2. 就職活動時の各基準重視度

(女性の能力をいかす方針や社風・雰囲気があること)

◆「女性の能力をいかす方針や社風・雰囲気があること」については、『女性 計』の86.1%が「重視した+どちらかという重視した」と回答している。

Q18. あなたは就職活動のとき、会社を選ぶ基準として、次のようなことをどの程度重視しましたか。
(単一回答)

6-2-12. 就職活動時の各基準重視度
【女性の能力をいかす方針や社風・雰囲気があること】



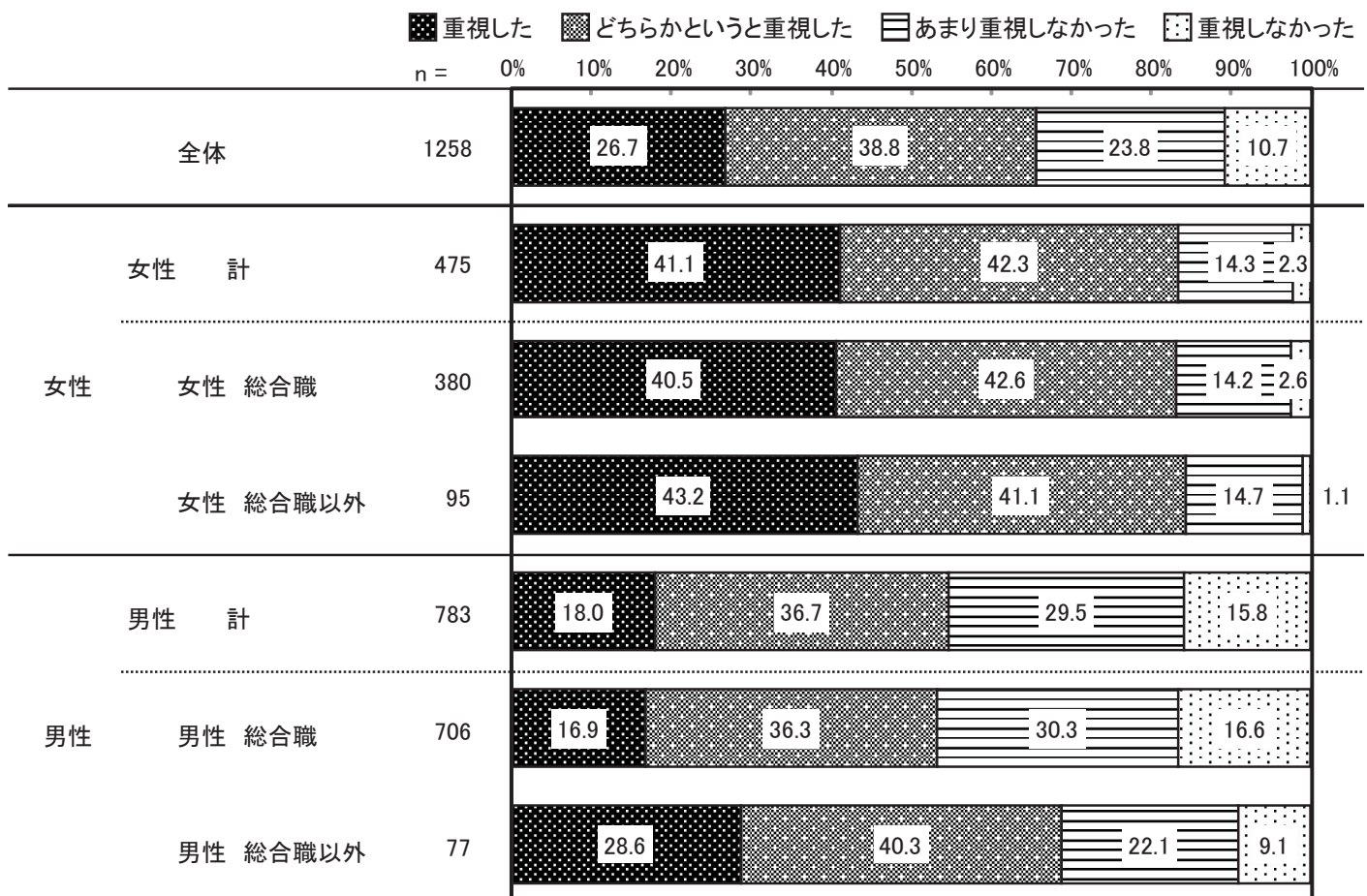
6-2. 就職活動時の各基準重視度

(家庭と仕事を両立するための制度が充実していること)

◆「家庭と仕事を両立するための制度が充実していること」については、『女性 計』と『男性 計』の「重視した+どちらかという重視した」のスコアを比べると、女性の方が約30ポイント高い。

Q18. あなたは就職活動のとき、会社を選ぶ基準として、次のようなことをどの程度重視しましたか。
(単一回答)

6-2-13. 就職活動時の各基準重視度
【家庭と仕事を両立するための制度が充実していること】

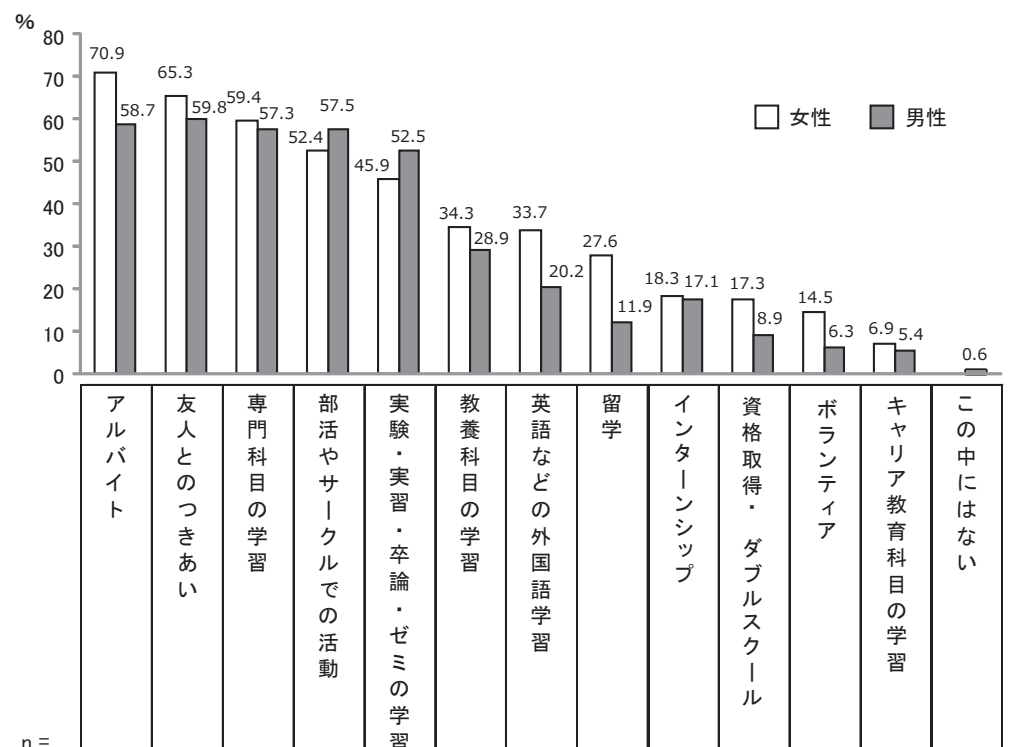


6-3. 大学時代に取り組んだこと

- ◆「大学時代に取り組んだこと」については、全体でみると、「アルバイト」が63.4%と最も高い。それに「友人とのつきあい」、「専門科目の学習」、「部活やサークルでの活動」、「実験・実習・卒論・ゼミの学習」がそれぞれ約5～6割で続く。
- ◆『女性 計』と『男性 計』を比べると、「アルバイト」、「英語などの外国語学習」、「留学」の割合は女性の方が高い。また、「教養科目の学習」「資格取得・ダブルスクール」「友人とのつきあい」「ボランティア」などもやや高い。

Q19. 次のような大学時代の学習・経験のうち、あなたが熱心に取り組んだものすべてをお選びください。（複数回答）

6-3-1. 大学時代に取り組んだこと



10.0 全体より10ポイント以上高い
 10.0 全体より5ポイント以上高い
 10.0 全体より5ポイント以上低い
 10.0 全体より10ポイント以上低い

n =

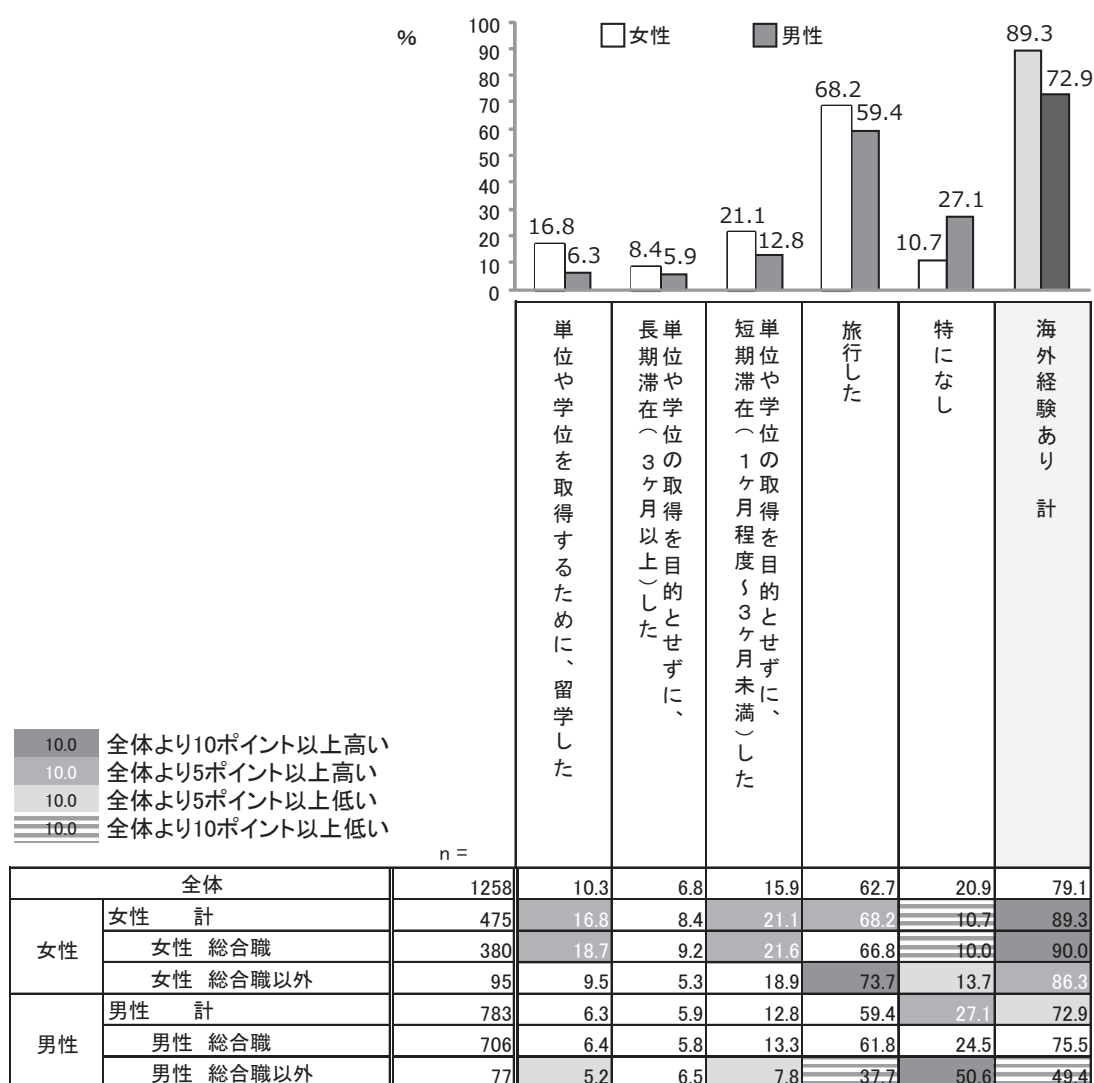
全体		1258	63.4	61.8	58.1	55.6	50.0	30.9	25.3	17.8	17.6	12.1	9.4	6.0	0.4
女性	女性 計	475	70.9	65.3	59.4	52.4	45.9	34.3	33.7	27.6	18.3	17.3	14.5	6.9	—
	女性 総合職	380	70.5	64.7	58.2	55.0	45.3	36.8	35.5	30.3	18.9	14.7	16.3	6.8	—
	女性 総合職以外	95	72.6	67.4	64.2	42.1	48.4	24.2	26.3	16.8	15.8	27.4	7.4	7.4	—
男性	男性 計	783	58.7	59.8	57.3	57.5	52.5	28.9	20.2	11.9	17.1	8.9	6.3	5.4	0.6
	男性 総合職	706	59.1	59.8	56.1	59.2	50.6	27.9	19.8	11.8	17.0	8.2	6.1	5.7	0.6
	男性 総合職以外	77	55.8	59.7	68.8	41.6	70.1	37.7	23.4	13.0	18.2	15.6	7.8	2.6	1.3

6-4. 大学時代の海外生活経験

- ◆「大学時代の海外生活経験」については、全体でみると、79.1%が大学時代に海外経験あり。
- ◆『女性 計』と『男性 計』の海外経験ありを比べると、女性の方が多い。
また「単位や学位を取得するために、留学した」の割合も、女性の方が10ポイント以上上回る。

Q20. あなたは大学時代に、海外生活を経験しましたか。あてはまるものすべてをお選びください。
(複数回答)

6-4-1. 大学時代の海外生活経験



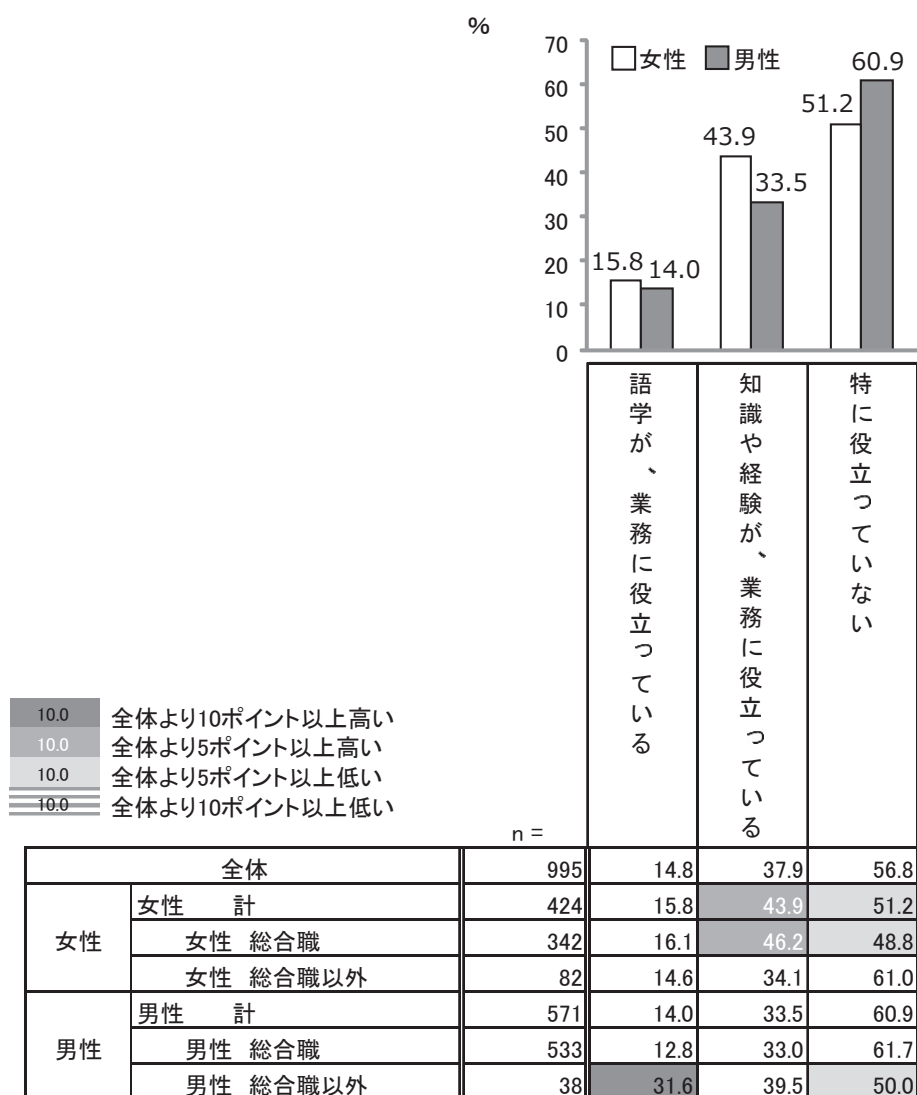
6-5. 海外生活経験が業務に役立っているか

- ◆「海外生活経験が業務に役立っているか」については、全体でみると、「語学が、業務に役立っている」が約1割、「知識や経験が、業務に役立っている」が約4割、「特に役立っていない」が約6割。
- ◆『女性 計』と『男性 計』を比べると、「知識や経験が、業務に役立っている」は女性の方が10ポイント以上高い。

Q21. それらの経験は、業務に役立っていますか。あてはまるものすべてをお選びください。（複数回答）

6-5-1. 海外生活経験が業務に役立っているか

<海外生活経験ありベース>



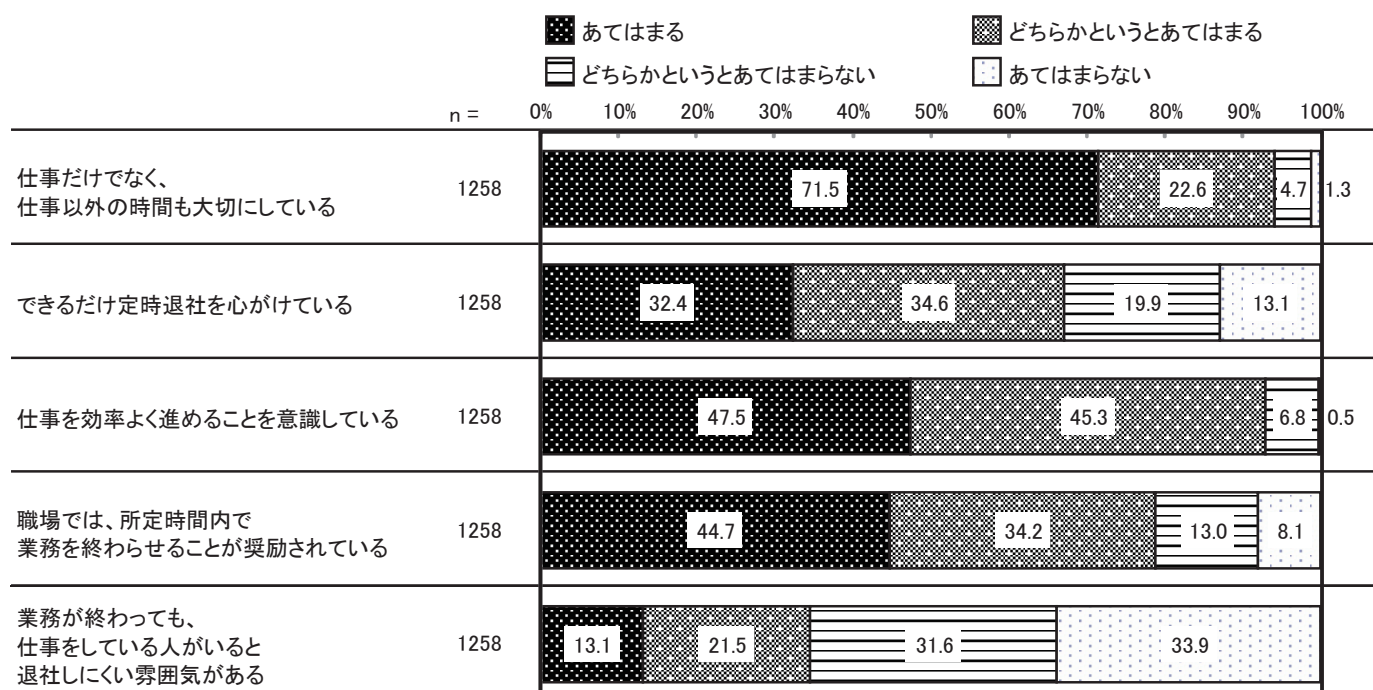
7. 結果詳細Ⅳ ～ライフプラン～

7-1. 仕事と仕事以外の両立について

- ◆「仕事と仕事以外の両立について」は、「あてはまる＋どちらかという」とあてはまる」のスコアは、『仕事だけでなく、仕事以外の時間も大切にしている』、『仕事を効率よく進めることを意識している』がそれぞれ約9割。
『職場では、所定時間内で業務を終わらせることが奨励されている』が約8割、『できるだけ定時退社を心がけている』が約7割と続く。
- ◆『業務が終わっても、仕事をしている人がいると退社しにくい雰囲気がある』の「あてはまる＋どちらかという」とあてはまる」のスコアは、他の項目と比べて特に低い。

Q22. あなたご自身のお考えとして、次の項目はどの程度あてはまりますか。（単一回答）

7-1-1. 仕事と仕事以外の両立について



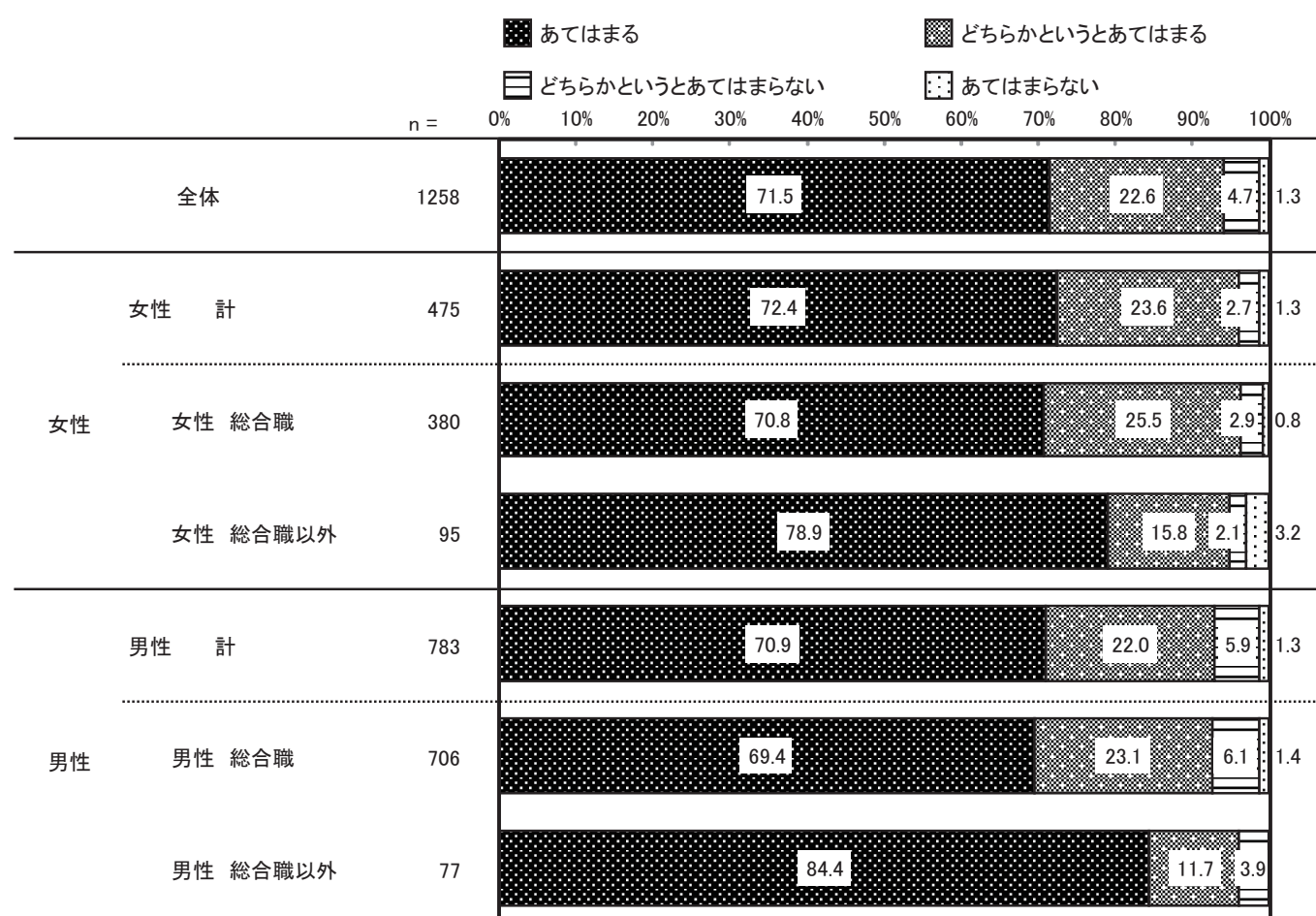
7-1. 仕事と仕事以外の両立について (仕事だけでなく、仕事以外の時間も大切にしている)

◆「仕事だけでなく、仕事以外の時間も大切にしている」については、『女性 計』の「あてはまる＋どちらかというにあてはまる」のスコアは96.0%、『男性 計』の「あてはまる＋どちらかというにあてはまる」のスコアは92.8%と、大きな差は見られない。

◆ 総合職と総合職以外の「あてはまる」のスコアを比べると、女性、男性ともに総合職以外の方が高い。

Q22. あなたご自身のお考えとして、次の項目はどの程度あてはまりますか。(単一回答)

7-1-2. 仕事と仕事以外の両立について 【仕事だけでなく、仕事以外の時間も大切にしている】

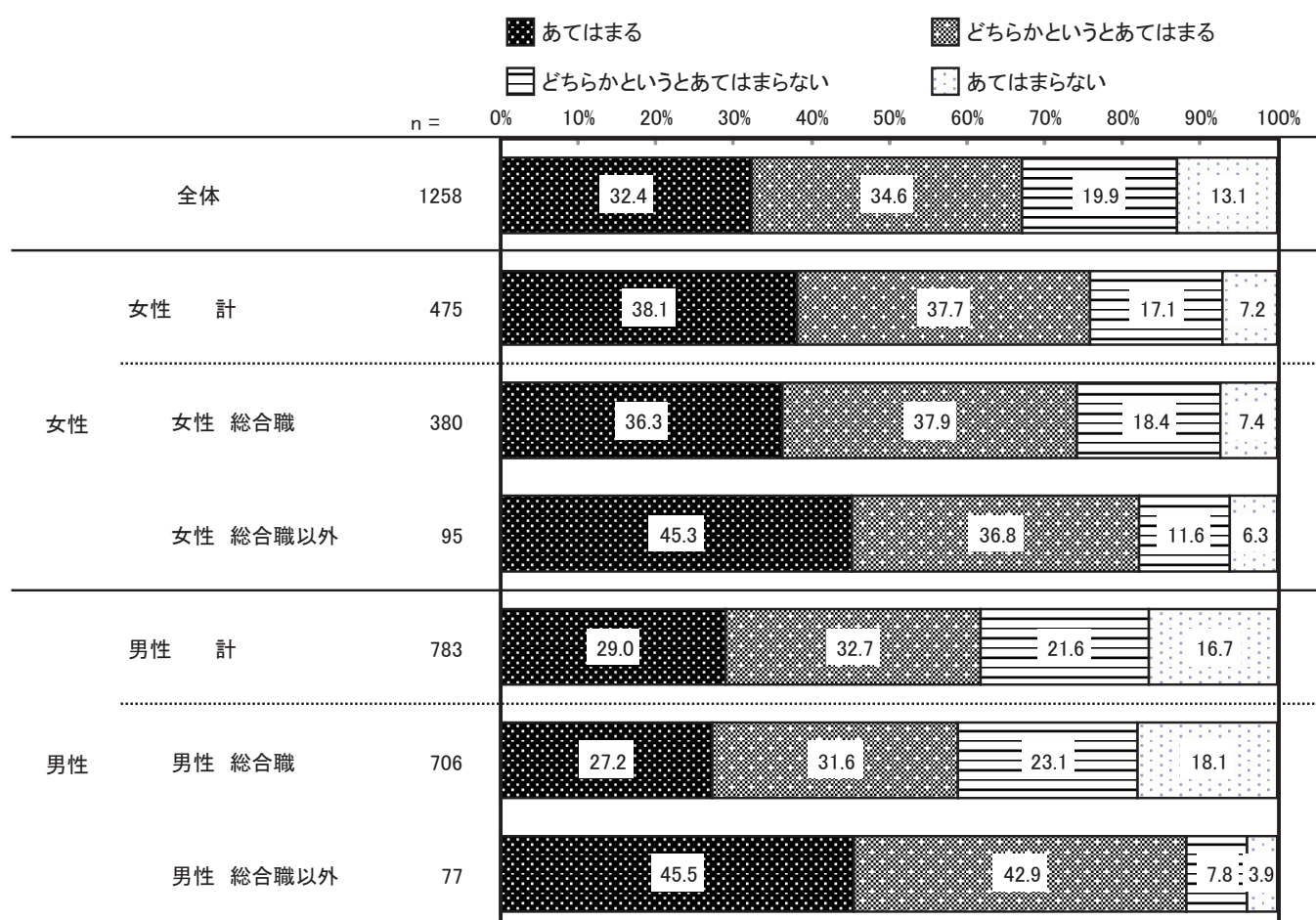


7-1. 仕事と仕事以外の両立について (できるだけ定時退社を心がけている)

- ◆ 「できるだけ定時退社を心がけている」については、『女性 計』と『男性 計』の「あてはまる+どちらかというにあてはまる」のスコアを比べると、女性の方が高い。
- ◆ 総合職と総合職以外の「あてはまる+どちらかというにあてはまる」のスコアを比べると、女性、男性ともに総合職以外の方が高い。

Q22. あなたご自身のお考えとして、次の項目はどの程度あてはまりますか。(単一回答)

7-1-3. 仕事と仕事以外の両立について 【できるだけ定時退社を心がけている】



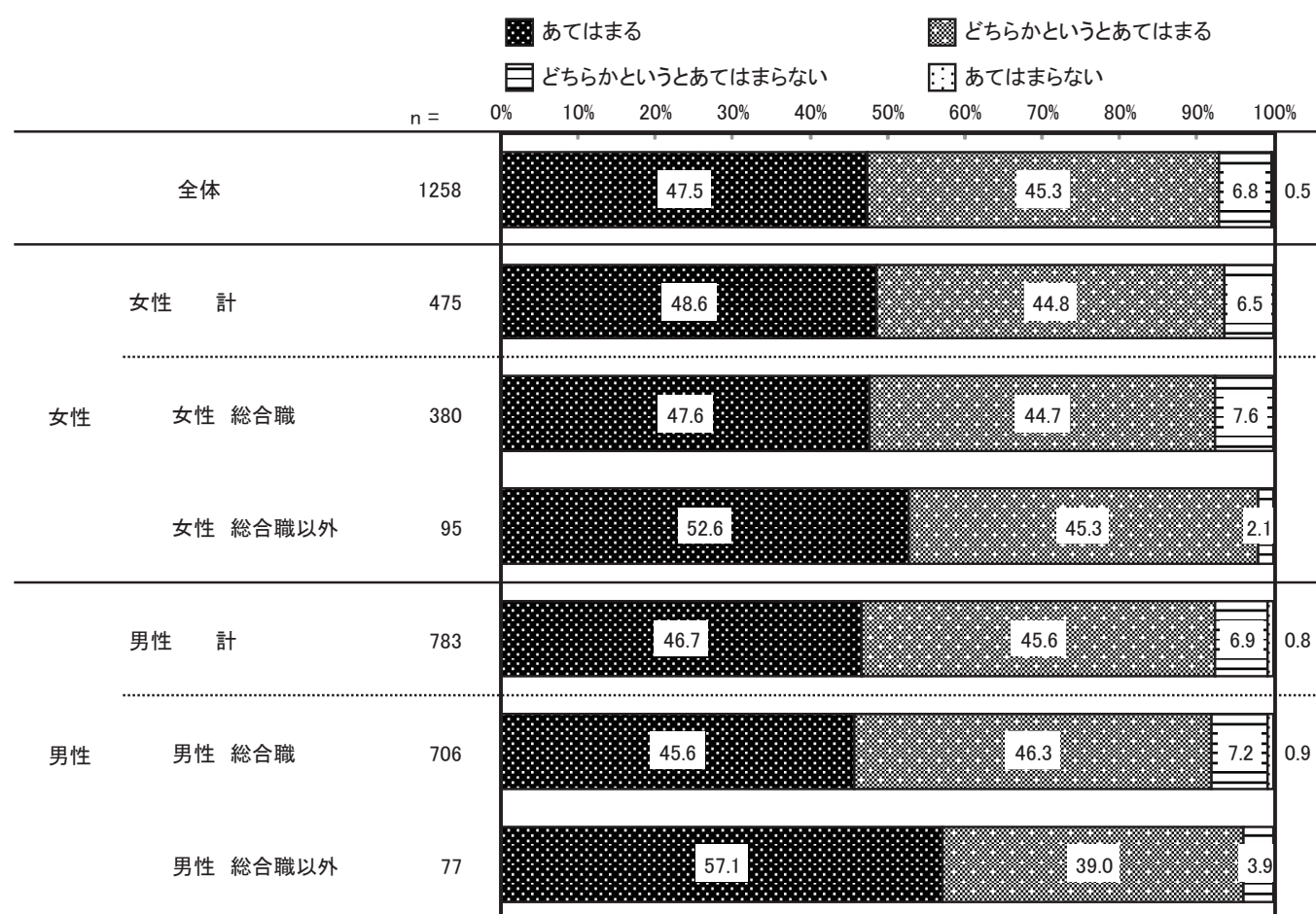
7-1. 仕事と仕事以外の両立について (仕事を効率よく進めることを意識している)

◆「仕事を効率よく進めることを意識している」については、『女性 計』の「あてはまる＋どちらかというあてはまる」のスコアは93.5%、『男性 計』の「あてはまる＋どちらかというあてはまる」のスコアは92.3%と、ほとんど差は見られない。

◆ 総合職と総合職以外の「あてはまる」のスコアを比べると、女性、男性ともに総合職以外の方が高い。

Q22. あなたご自身のお考えとして、次の項目はどの程度あてはまりますか。(単一回答)

7-1-4. 仕事と仕事以外の両立について 【仕事を効率よく進めることを意識している】



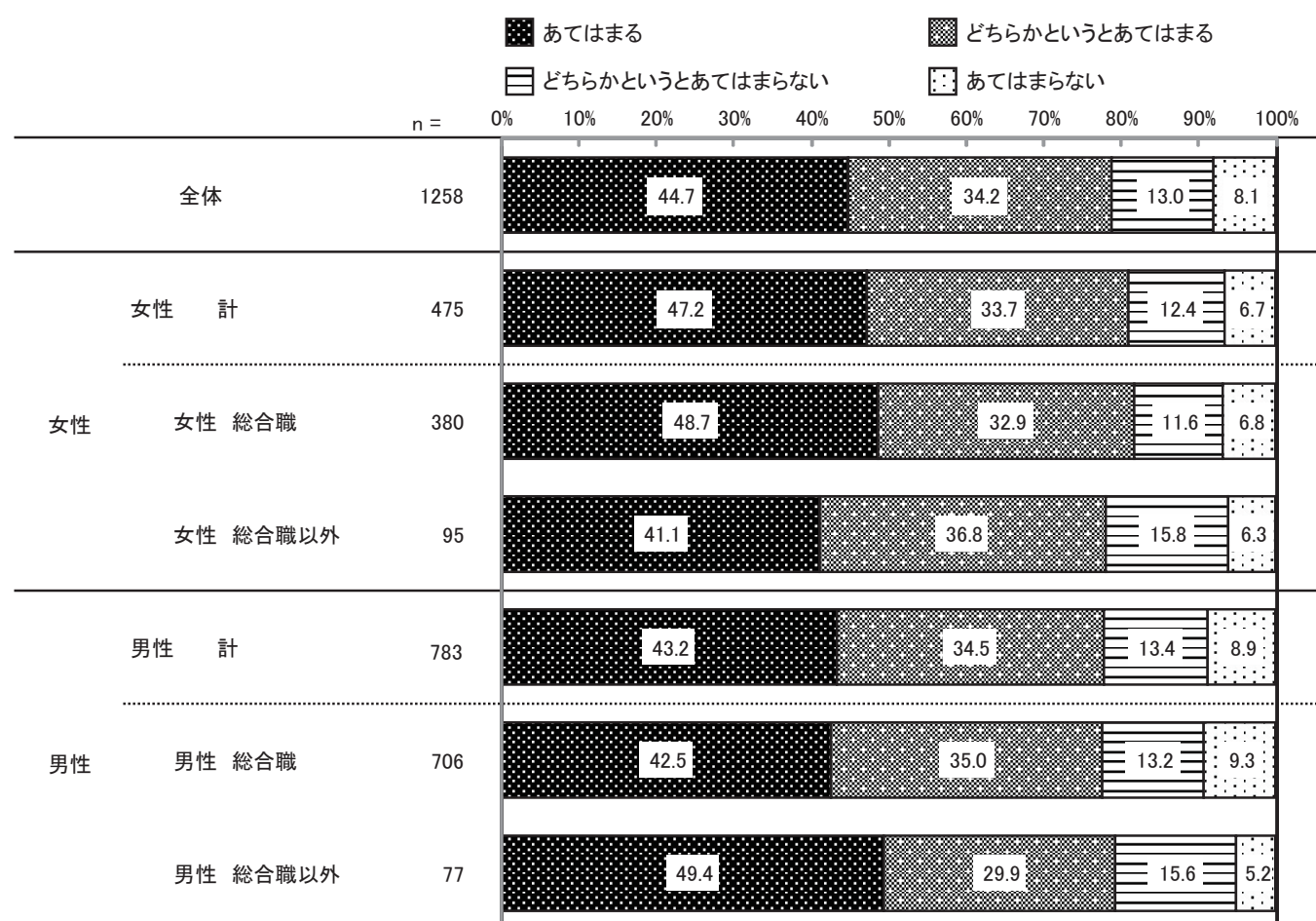
7-1. 仕事と仕事以外の両立について

(職場では、所定時間内で業務を終わらせることが奨励されている)

- ◆「職場では、所定時間内で業務を終わらせることが奨励されている」については、『女性 計』の「あてはまる+どちらかというあてはまる」のスコアは80.8%、『男性 計』の「あてはまる+どちらかというあてはまる」のスコアは77.7%と、大きな差は見られない。
- ◆『男性 総合職』と『男性 総合職以外』の「あてはまる」のスコアを比べると、『男性 総合職以外』の方がやや高い。一方、『女性 総合職』と『女性 総合職以外』の「あてはまる」のスコアを比べると、『女性 総合職』の方がやや高い。

Q22. あなたご自身のお考えとして、次の項目はどの程度あてはまりますか。(単一回答)

7-1-5. 仕事と仕事以外の両立について
【職場では、所定時間内で業務を終わらせることが奨励されている】



7-1. 仕事と仕事以外の両立について

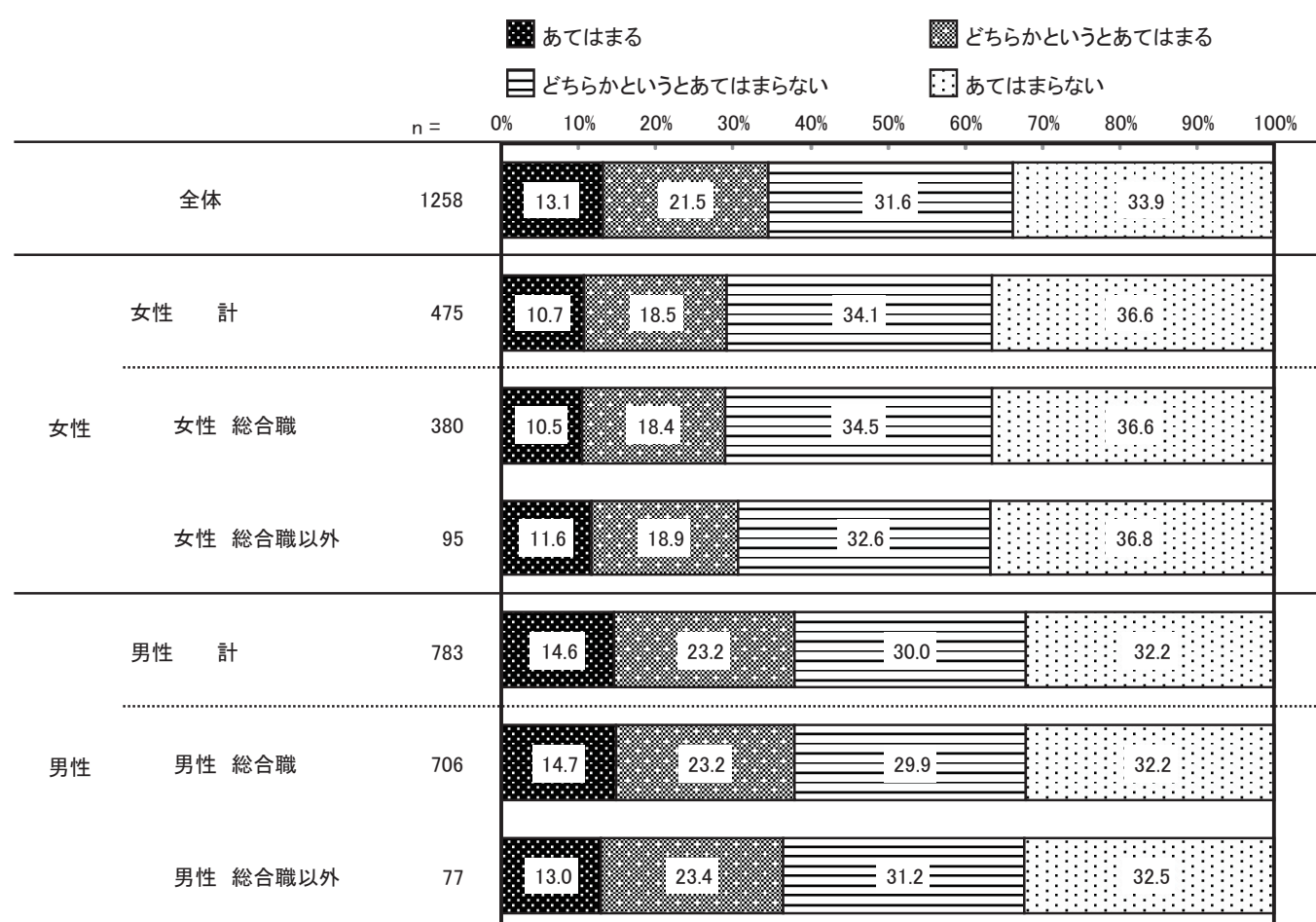
(業務が終わっても、仕事をしている人がいると退社しにくい雰囲気がある)

◆「業務が終わっても、仕事をしている人がいると退社しにくい雰囲気がある」については、『女性 計』と『男性 計』の「あてはまる+どちらかというあてはまる」のスコアを比べると、男性の方がやや高い。

Q22. あなたご自身のお考えとして、次の項目はどの程度あてはまりますか。(単一回答)

7-1-6. 仕事と仕事以外の両立について

【業務が終わっても、仕事をしている人がいると退社しにくい雰囲気がある】



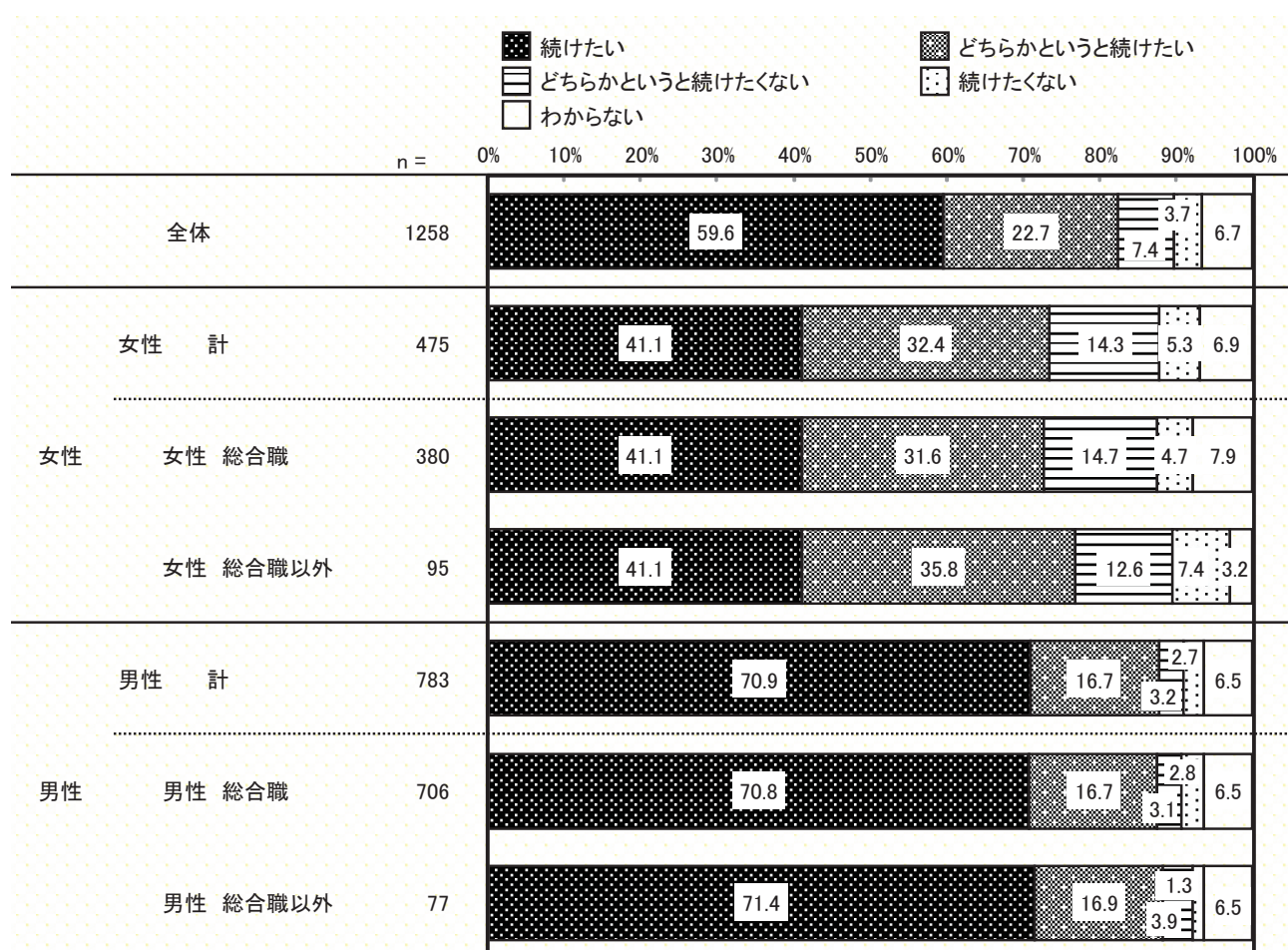
7-2. 結婚後や子どもが生まれた後の今の会社での継続意向

◆「結婚後や子どもが生まれた後の今の会社での継続意向」については、全体でみると、「続けたい」が約6割、「どちらかという続けたい」が約2割で、これらを合わせると約8割。

◆『女性 計』と『男性 計』の「続けたい」を比べると、男性の方が約30ポイント高い。

Q23. あなたは結婚したり子どもが生まれたりしても、今の会社で働き続けたいと思いますか。（単一回答）

7-2-1. 結婚後や子どもが生まれた後の今の会社での継続意向



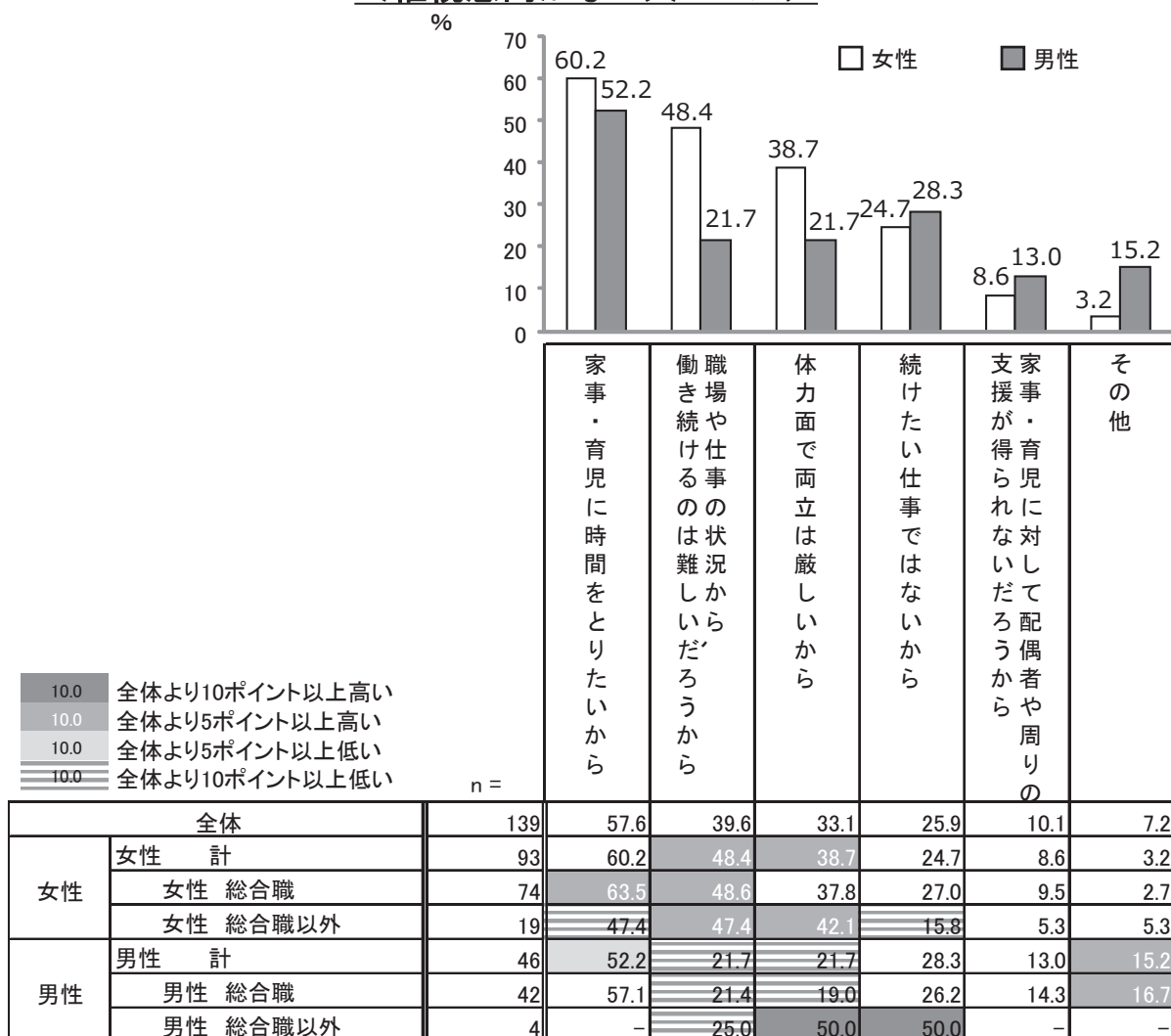
7-3. 継続意向なしの理由

- ◆「継続意向なしの理由」については、全体でみると、「家事・育児に時間を取りたいから」が約6割で最も高い。それに「職場や仕事の状況から、働き続けるのは難しいだろうから」が約4割、「体力面で両立は厳しいから」が約3割と続く。
- ◆『女性 計』と『男性 計』を比べると、「職場や仕事の状況から、働き続けるのは難しいだろうから」と「体力面で両立は厳しいから」の割合は、女性の方が高い。

Q24. その理由は何ですか。当てはまるものすべてをお選びください。（複数回答）

7-3-1. 継続意向なしの理由

<継続意向がない人ベース>

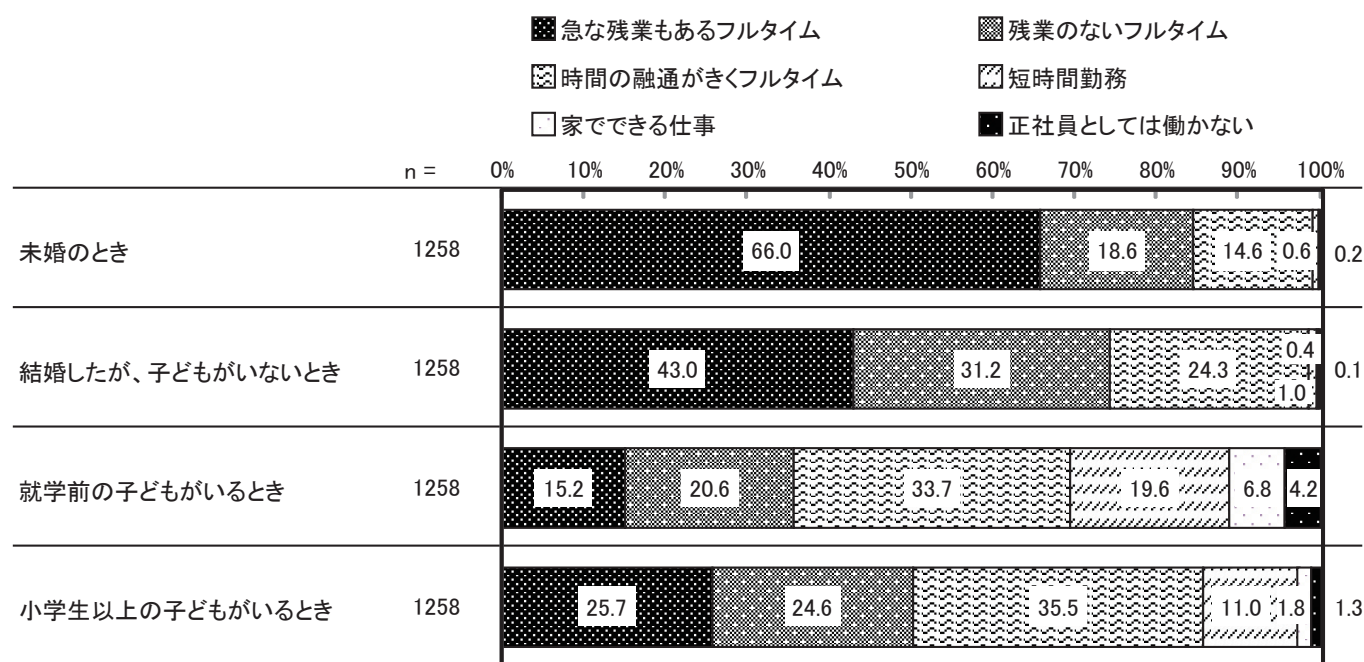


7-4. 結婚後や子どもが生まれた後の理想の働き方

- ◆ 結婚後や子どもが生まれた後の理想の働き方については、『未婚のとき』、『結婚したが、子どもがいないとき』では、「急な残業もあるフルタイム」が最も割合が高い。『就学前の子どもがいるとき』、『小学生以上の子どもがいるとき』では、「時間の融通がきくフルタイム」が最も割合が高い。
- ◆ 「急な残業もあるフルタイム」の割合は、『就学前の子どもがいるとき』までは減少するが、『小学生以上の子どもがいるとき』では増加する。
- ◆ 「短時間勤務」は、『未婚のとき』と『結婚したが、子どもがいないとき』では約1%と、子どもがいないときに希望する人はほとんどいない。

Q25. あなたは、結婚したり子どもが生まれたりした場合、正社員としてどのような働き方をしたいですか。あくまで現時点での理想として、最も近いタイプを1つ選んでください。（単一回答）

7-4-1. 結婚後や子どもが生まれた後の理想の働き方

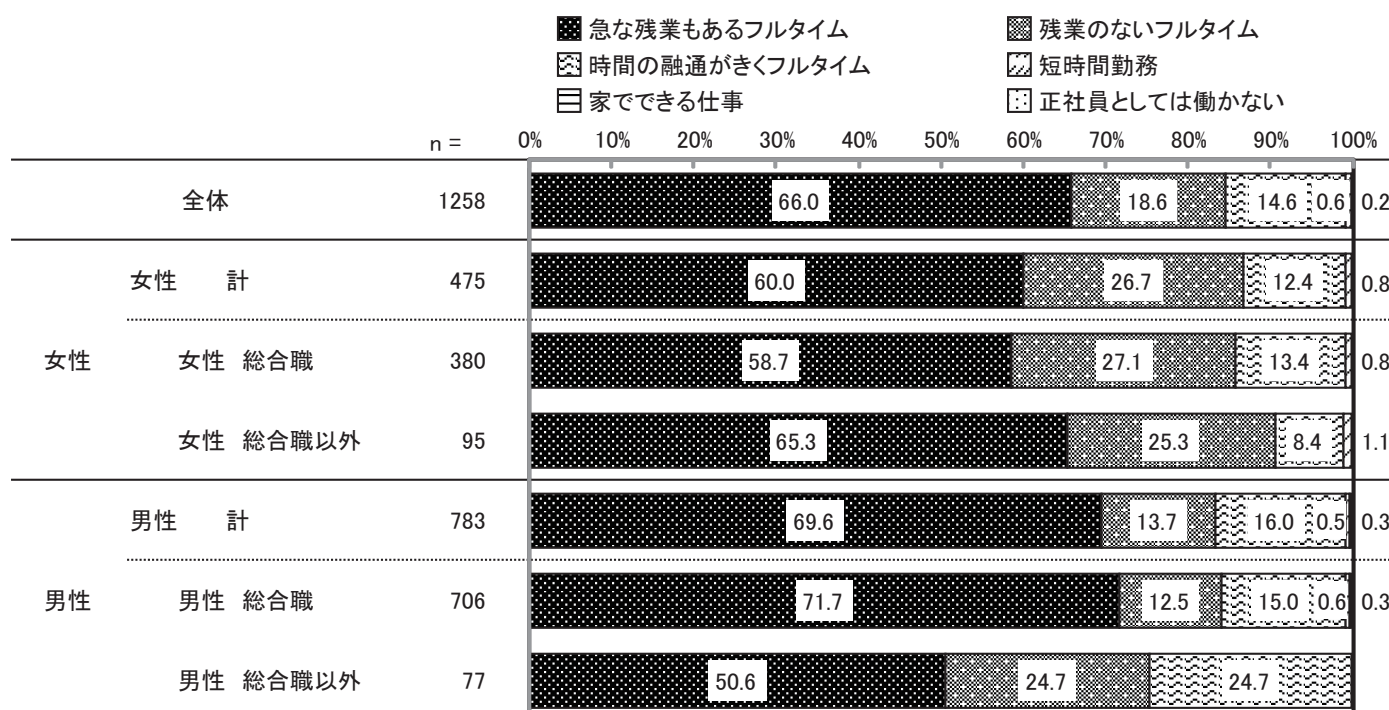


7-4. 結婚後や子どもが生まれた後の理想の働き方 (未婚のとき)

◆「未婚のときの理想の働き方」については、『女性 計』と『男性 計』を比べると「急な残業もあるフルタイム」の割合は、男性の方がやや高く、「残業のないフルタイム」は女性の方が高い。

Q25. あなたは、結婚したり子どもが生まれたりした場合、正社員としてどのような働き方をしたいですか。あくまで現時点での理想として、最も近いタイプを1つ選んでください。(単一回答)

7-4-2. 結婚後や子どもが生まれた後の理想の働き方 【未婚のとき】

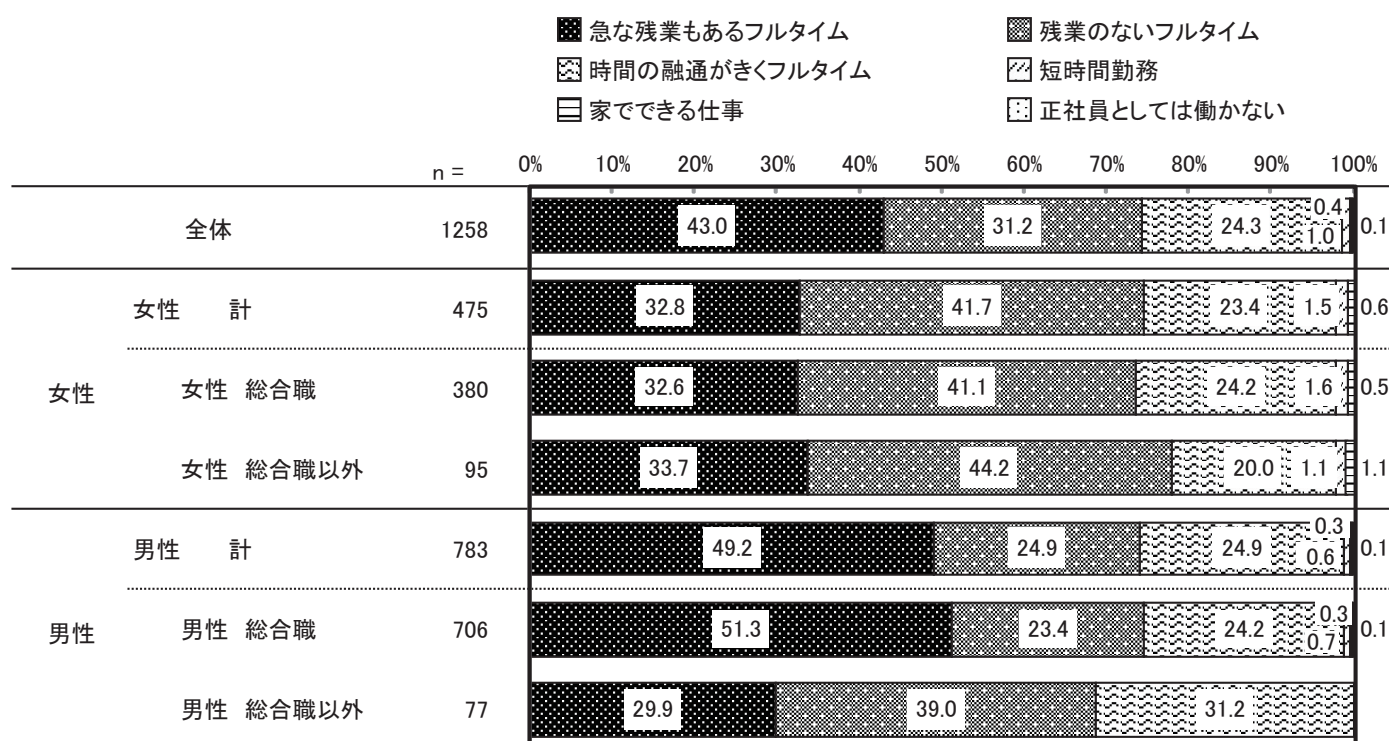


7-4. 結婚後や子どもが生まれた後の理想の働き方 (結婚したが、子どもがいないとき)

◆「結婚したが、子どもがいないときの理想の働き方」については、『女性 計』と『男性 計』を比べると、「急な残業もあるフルタイム」の割合は男性の方が高く、「残業のないフルタイム」の割合は女性の方が高い。

Q25. あなたは、結婚したり子どもが生まれたりした場合、正社員としてどのような働き方をしたいですか。あくまで現時点での理想として、最も近いタイプを1つ選んでください。(単一回答)

7-4-3. 結婚後や子どもが生まれた後の理想の働き方 【結婚したが、子どもがいないとき】

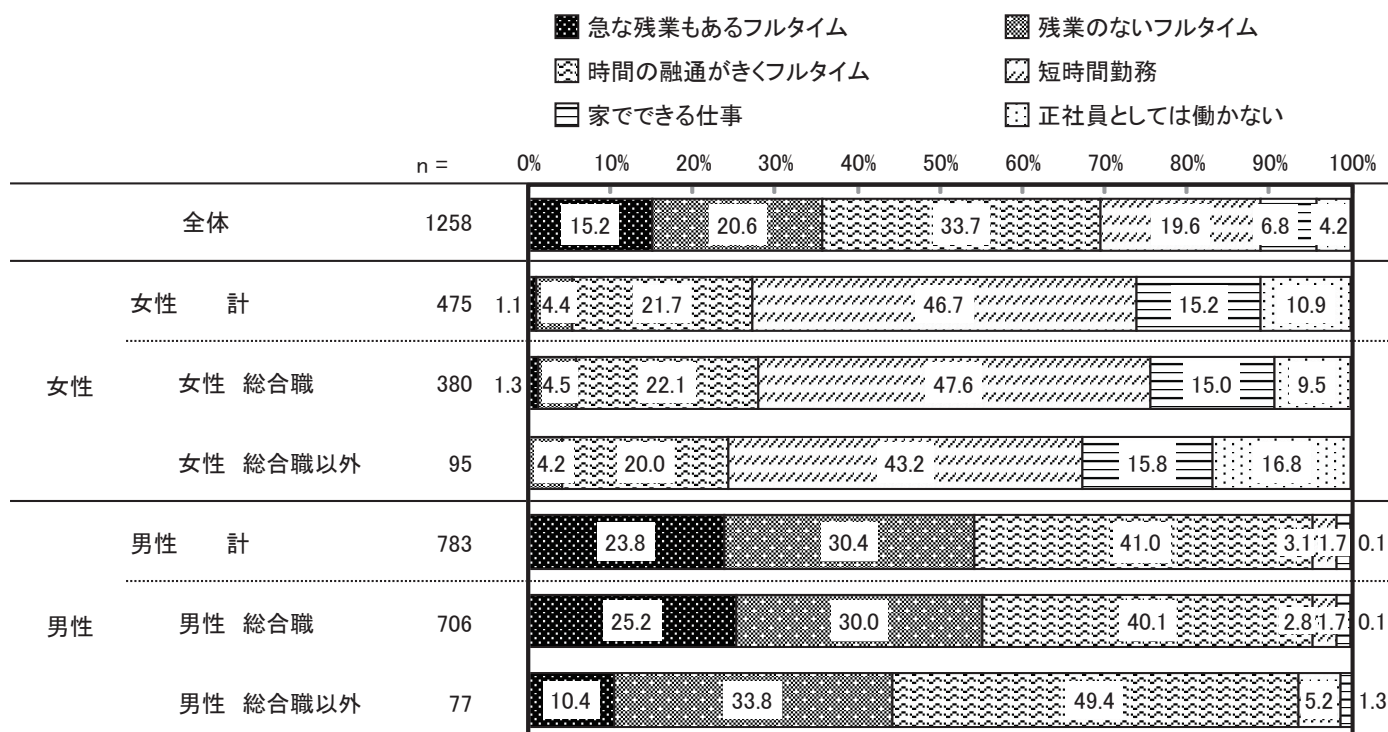


7-4. 結婚後や子どもが生まれた後の理想の働き方 (就学前の子どもがいるとき)

- ◆「就学前の子どもがいるときの理想の働き方」については、『女性 計』は「短時間勤務」の割合が最も高く、約5割を占める。
- ◆『女性 計』と『男性 計』を比べると、「短時間勤務」の割合は女性の方が40ポイント以上高い。また「家でできる仕事」や「正社員としては働かない」も女性の方が高い。
- ◆一方、男性では「時間の融通がきくフルタイム」や「残業のないフルタイム」の選択率が高くなるが、「短時間勤務」は約3%にとどまる。

Q25. あなたは、結婚したり子どもが生まれたりした場合、正社員としてどのような働き方をしたいですか。あくまで現時点での理想として、最も近いタイプを1つ選んでください。(単一回答)

7-4-4. 結婚後や子どもが生まれた後の理想の働き方 【就学前の子どもがいるとき】

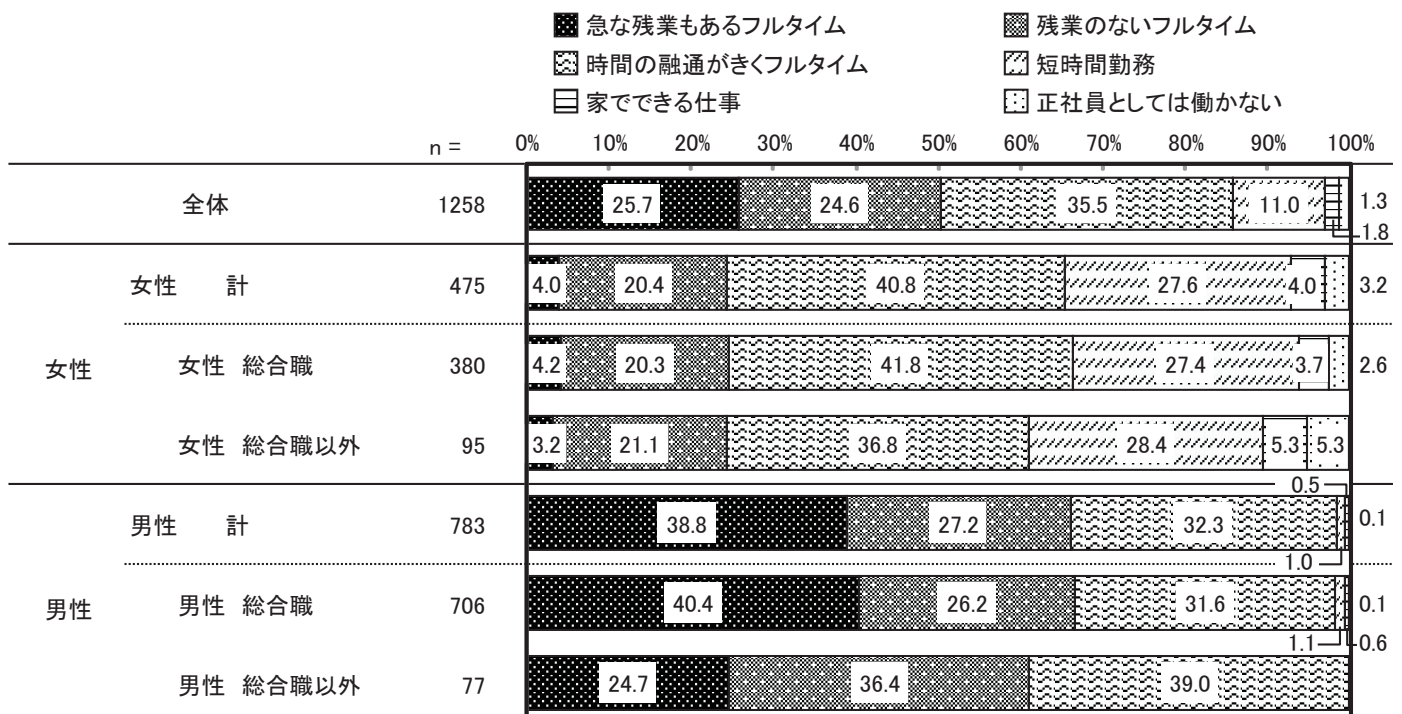


7-4. 結婚後や子どもが生まれた後の理想の働き方 (小学生以上の子どもがいるとき)

- ◆「小学生以上の子どもがいるときの理想の働き方」については、『女性 計』と『男性 計』を比べると、「短時間勤務」の割合は女性の方が約30ポイント高い。一方、「急な残業もあるフルタイム」は男性の方が30ポイント以上高い。
- ◆小学生以上の子どもがいるときの女性はフルタイム労働への復帰意向がみられるものの、「急な残業もあるフルタイム」は4%にとどまる。

Q25. あなたは、結婚したり子どもが生まれたりした場合、正社員としてどのような働き方をしたいですか。あくまで現時点での理想として、最も近いタイプを1つ選んでください。(単一回答)

7-4-5. 結婚後や子どもが生まれた後の理想の働き方 【小学生以上の子どもがいるとき】

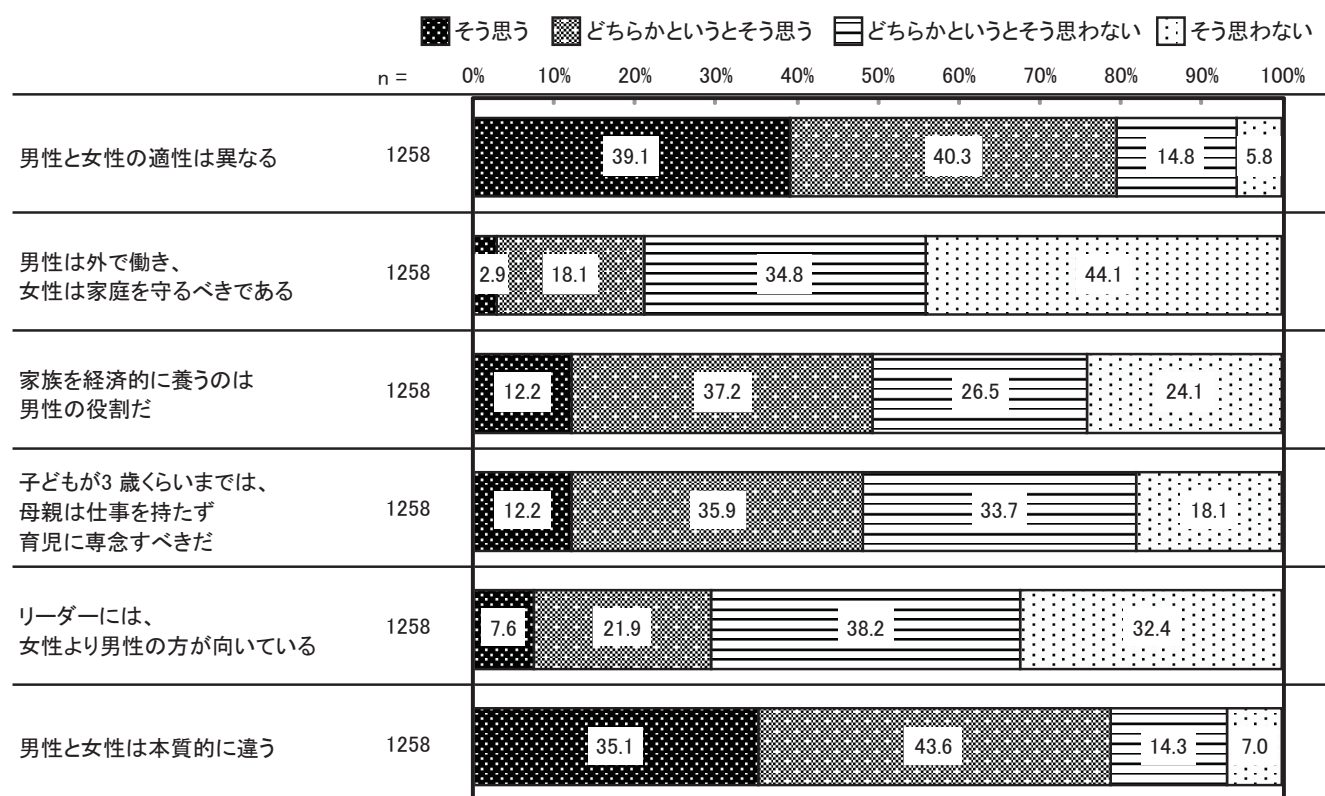


7-5. ジェンダー意識

- ◆ ジェンダー意識の「そう思う＋どちらかというと思う」のスコアは、『男性と女性の適性は異なる』、『男性と女性は本質的に違う』がそれぞれ8割弱。
- ◆ 『家族を経済的に養うのは男性の役割だ』、『子どもが3歳くらいまでは、母親は仕事を持たず育児に専念すべきだ』がそれぞれ5割弱、『リーダーには、女性より男性の方が向いている』が3割弱、『男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである』が2割強と続く。

Q26. あなたは、次のような考え方についてどのように思いますか。（単一回答）

7-5-1. ジェンダー意識

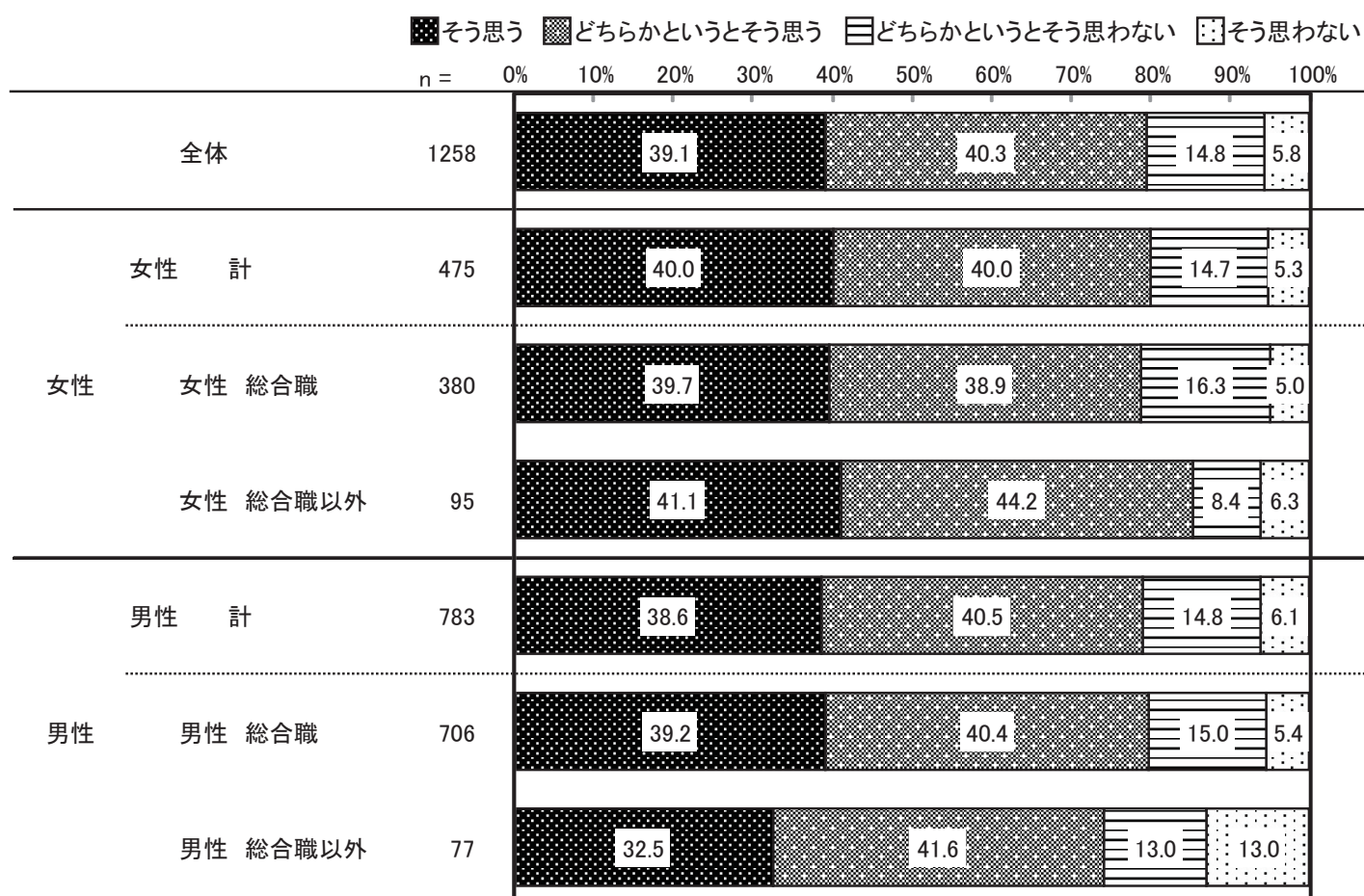


7-5. ジェンダー意識 (男性と女性の適性は異なる)

- ◆「男性と女性の適性は異なる」については、『女性 計』の「そう思う+どちらかというと思う」のスコアは80.0%、『男性 計』の「そう思う+どちらかというと思う」のスコアは79.1%と、ほとんど差は見られない。
- ◆『女性 総合職』と『女性 総合職以外』の「そう思う+どちらかというと思う」を比べると、『女性 総合職以外』の方がやや高い。一方、『男性 総合職』と『男性 総合職以外』の「そう思う+どちらかというと思う」を比べると、『男性 総合職』の方がやや高い。

Q26. あなたは、次のような考え方についてどのように思いますか。(単一回答)

7-5-2. ジェンダー意識 【男性と女性の適性は異なる】



7-5. ジェンダー意識

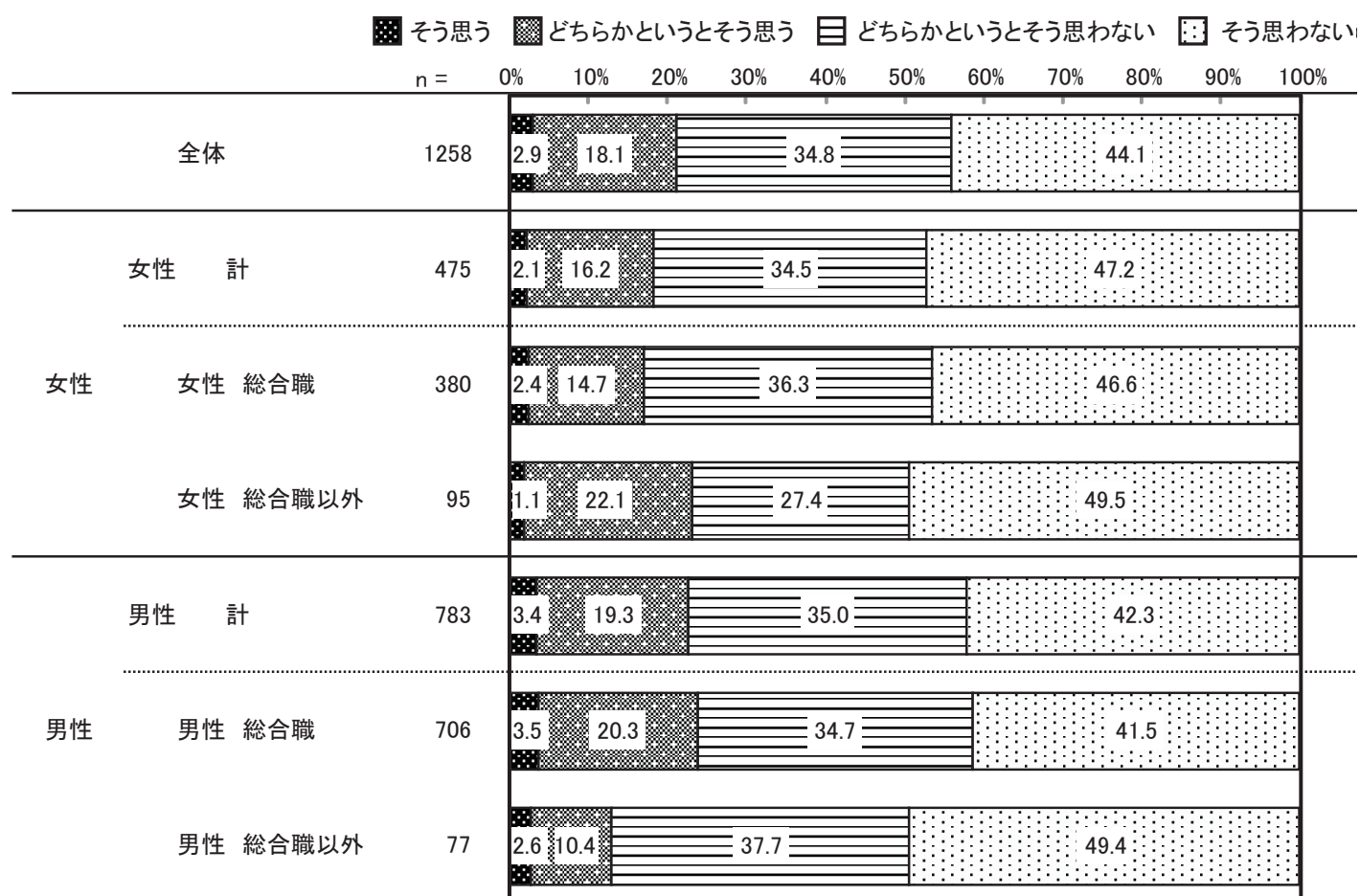
(男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである)

- ◆「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」については、『女性 計』の「思う+どちらかというと思う」のスコアは18.3%、『男性 計』の「思う+どちらかというと思う」のスコアは22.7%と、大きな差は見られない。
- ◆『女性 総合職』と『女性 総合職以外』の「思う+どちらかというと思う」のスコアを比べると、『女性 総合職以外』の方がやや高い。一方、『男性 総合職』と『男性 総合職以外』の「思う+どちらかというと思う」のスコアを比べると、『男性 総合職』の方が高い。

Q26. あなたは、次のような考え方についてどのように思いますか。(単一回答)

7-5-3. ジェンダー意識

【男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである】

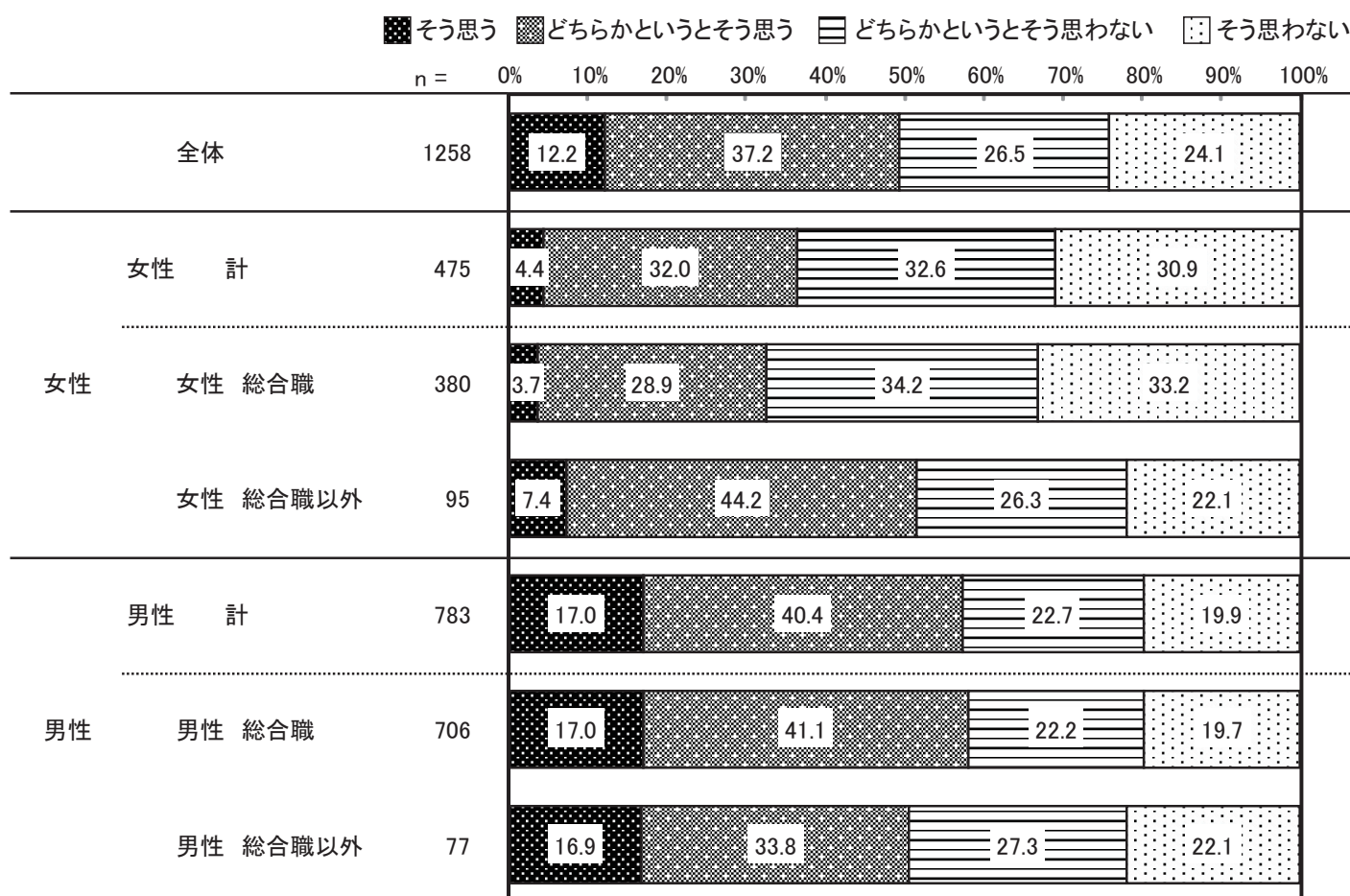


7-5. ジェンダー意識 (家族を経済的に養うのは男性の役割だ)

- ◆「家族を経済的に養うのは男性の役割だ」については、『女性 計』と『男性 計』の「そう思う+どちらかというと思う」のスコアを比べると、男性の方が高い。
- ◆『女性 総合職』と『女性 総合職以外』の「そう思う+どちらかというと思う」のスコアを比べると、『女性 総合職以外』の方が高い。

Q26. あなたは、次のような考え方についてどのように思いますか。(単一回答)

7-5-4. ジェンダー意識 【家族を経済的に養うのは男性の役割だ】



7-5. ジェンダー意識

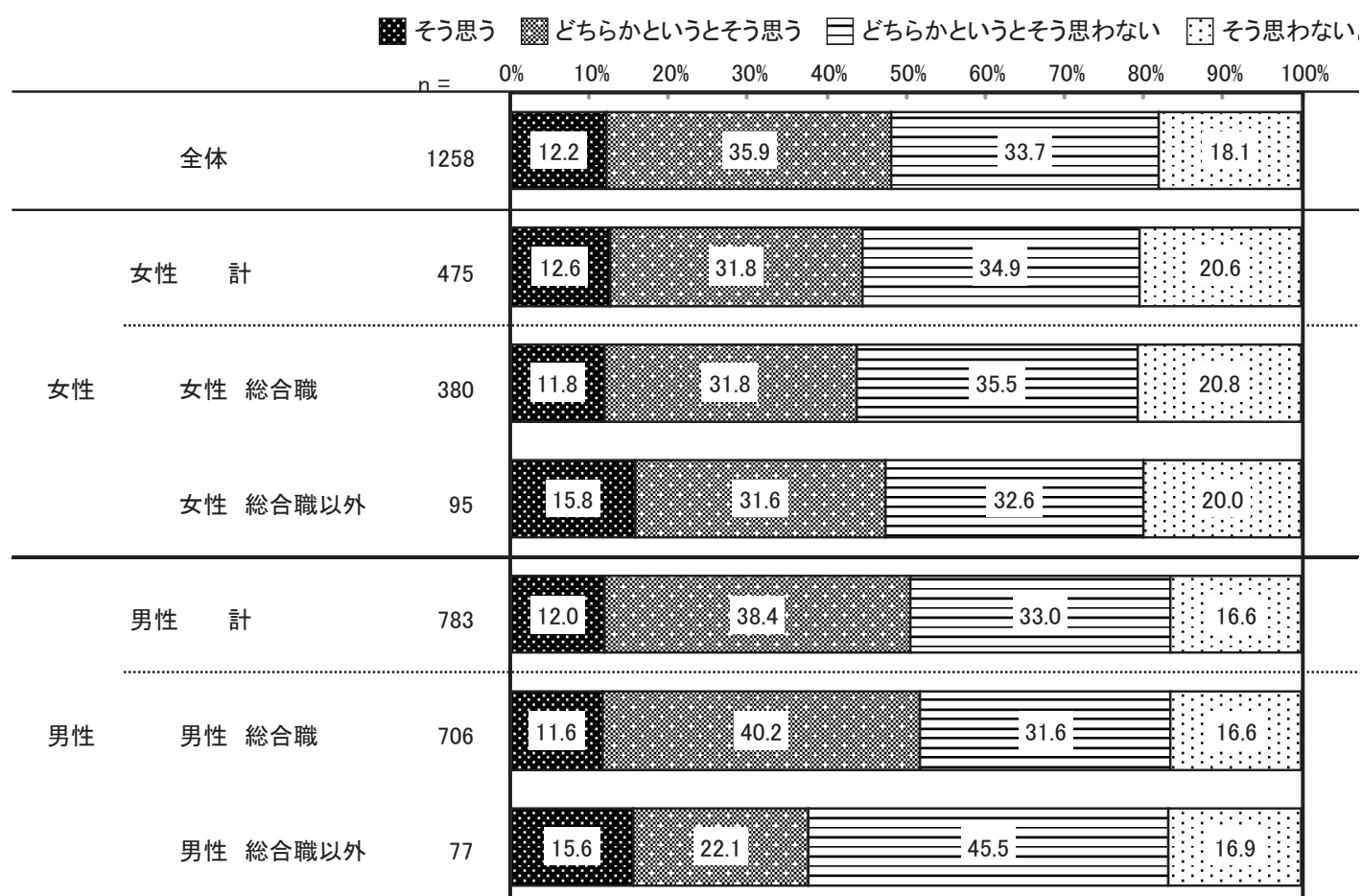
(子どもが3歳くらいまでは、母親は仕事を持たず育児に専念すべきだ)

◆「子どもが3歳くらいまでは、母親は仕事を持たず育児に専念すべきだ」については、『女性 計』と『男性 計』の「そう思う+どちらかというと思う」のスコアを比べると、男性の方がやや高い。

Q26. あなたは、次のような考え方についてどのように思いますか。(単一回答)

7-5-5. ジェンダー意識

【子どもが3歳くらいまでは、母親は仕事を持たず育児に専念すべきだ】



7-5. ジェンダー意識

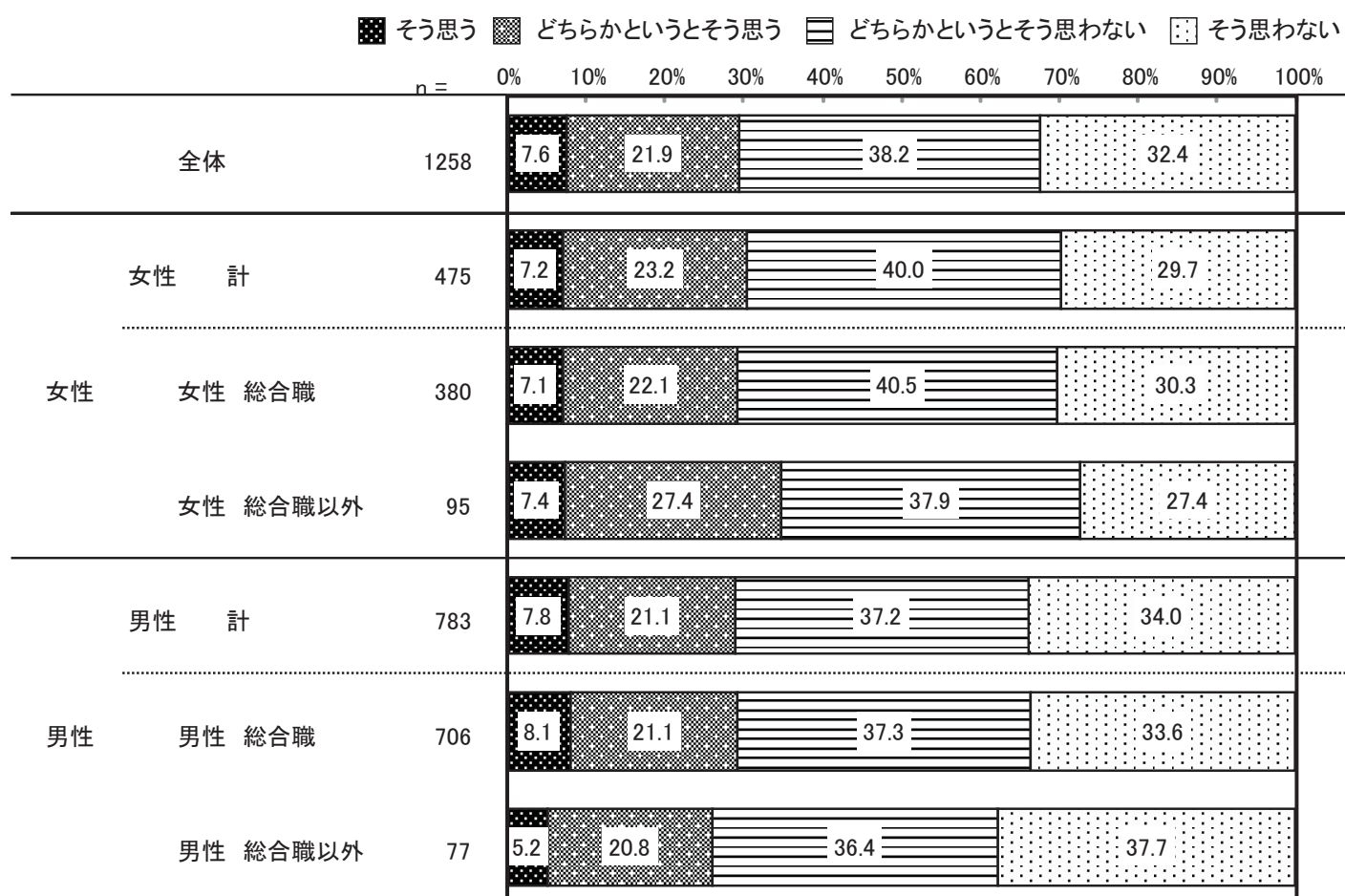
(リーダーには、女性より男性の方が向いている)

◆「リーダーには、女性より男性の方が向いている」については、『女性 計』の「そう思う+どちらかというと思う」のスコアは30.3%、『男性 計』の「そう思う+どちらかというと思う」のスコアは28.9%と、ほとんど差は見られない。

◆『女性 総合職』と『女性 総合職以外』の「そう思う+どちらかというと思う」のスコアを比べると、『女性 総合職以外』の方がやや高い。

Q26. あなたは、次のような考え方についてどのように思いますか。(単一回答)

7-5-6. ジェンダー意識
【リーダーには、女性より男性の方が向いている】



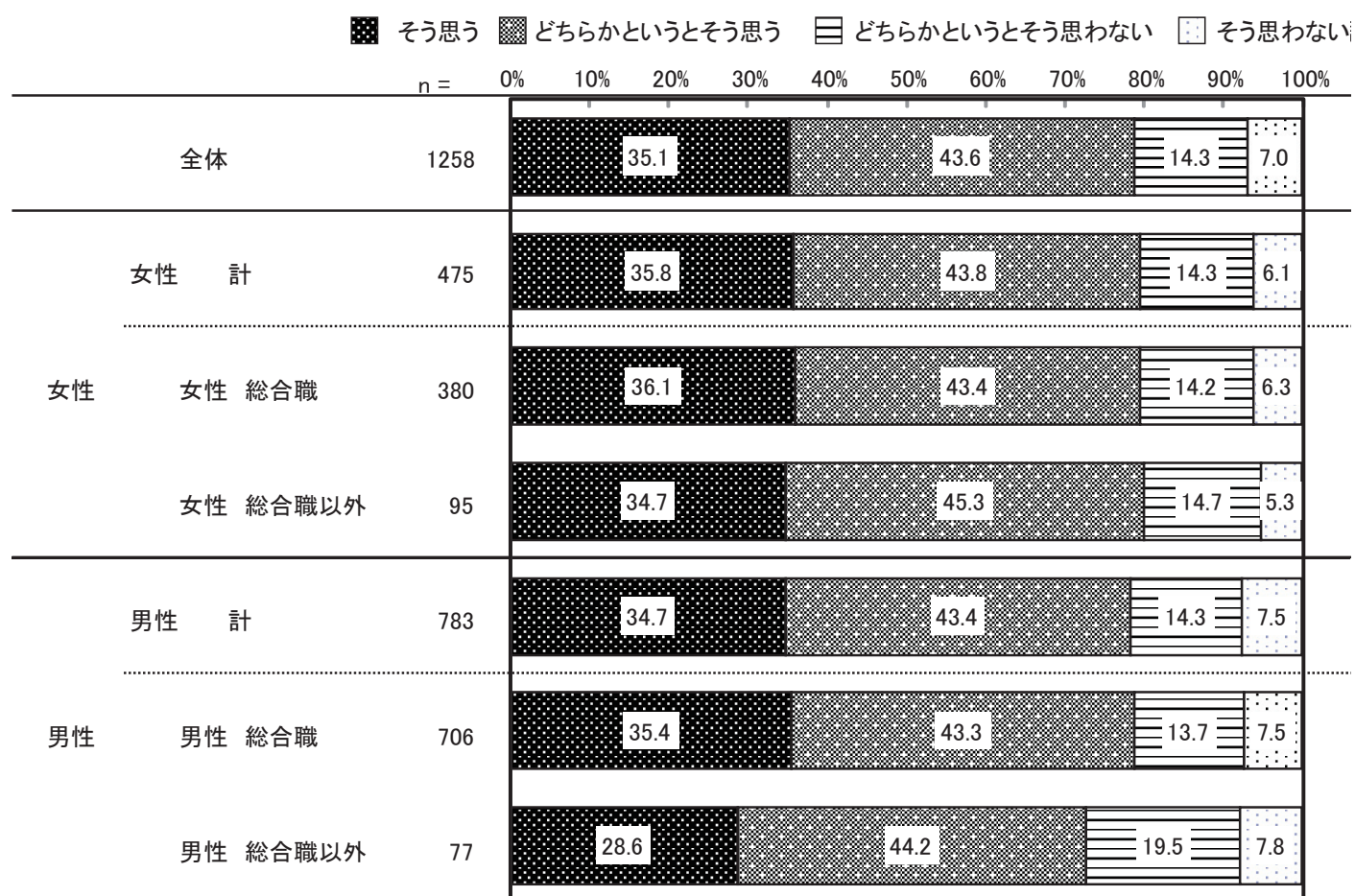
7-5. ジェンダー意識 (男性と女性は本質的に違う)

◆「男性と女性は本質的に違う」については、『女性 計』の「そう思う+どちらかというと思う」のスコアは79.6%、『男性 計』の「そう思う+どちらかというと思う」のスコアは78.2%と、ほとんど差は見られない。

◆『男性 総合職』と『男性 総合職以外』の「そう思う」を比べると、『男性 総合職』の方がやや高い。
一方、『女性 総合職』と『女性 総合職以外』では大きな差は見られない。

Q26. あなたは、次のような考え方についてどのように思いますか。(単一回答)

7-5-7. ジェンダー意識 【男性と女性は本質的に違う】



8. 参考資料（調査画面）

8-1. ログイン画面

アンケートにアクセスしていただき、ありがとうございます。

「男女の初期キャリア形成と活躍推進に関する調査」（第1回調査） ご協力をお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

私ども独立行政法人国立女性教育会館(NWEC)は、我が国の男女共同参画社会を実現するため、総合的な調査研究と研修を行っている文部科学省の公的研究・研修機関です。

この度、平成27年度に入社した社員の皆様方を対象に「男女の初期キャリア形成と活躍推進に関する調査」を実施することとなりました。

今回は、入社後5年を追跡する第1回目の調査です。新入社員の方々に仕事や職場環境などに関する考えをお尋ねすることで、初期キャリア期(入社後5年間)のキャリア形成のあり方について明らかにし、若手社員の活躍推進のための基礎資料を得ることを目的としています。

調査の実施は、アンケート調査の経験が豊富なマイボイスコム株式会社に委託しております。調査結果の概要は、平成28年3月頃に、独立行政法人国立女性教育会館のホームページ(<http://www.nwec.jp/>)に掲載される予定です。

ご回答いただいた内容は統計的に処理いたしますので、あなた様の個々の回答をそのままの形で公表することは絶対にありません。また、データは秘匿処理を行い、回答内容がお勤め先に知られることはありません。調査でいただいたデータは研究目的でのみ使用いたしますので、どうぞありのままをご回答いただきますようお願いいたします。

ご多忙中勝手なお願いで誠に恐縮ですが、皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

敬具
平成27年10月

8-1. ログイン画面

<調査の内容に関するご質問やお問い合わせ>

独立行政法人国立女性教育会館 研究国際室
 「男女の初期キャリア形成と活躍推進に関する調査」係
 TEL:0498-62-6437 担当:島、渡辺
 受付日時:午前9:00～午後 5:00(土曜・日曜・祝祭日は除く)



<調査実施会社>

マイボイスコム株式会社 (<http://www.myvoice.co.jp/>)
 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-17-11 榮葉ビル5F
 担当:野沢、遠藤



【回答する前に必ずご一読ください】

■実査期間

2015年10月1日(木)～10月20日(火)
 回答に要する時間は、およそ15分程度です。

■回答時のご注意

- ・設問数は最大Q37までございます。(回答される方によって異なります)
- ・前のページに戻るときは、必ずアンケート画面の「戻る」ボタンをお使いください。
 ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。
- ・アンケートを途中で中断することはできません。開始しましたら最後までお答えいただきますようお願いいたします。
- ・回答方法は、選択式の設問が多くを占めますが、一部 直接ご記入いただく設問もございます。
 また、数字を入力する設問については半角数値をご記入ください。

【調査画面へのログイン方法】

1. このたびの案内メールで配布された、もしくは、お勤め先から事前に配布された会社IDと個別IDをそれぞれ入力してください。
2. 「調査画面へ進む(SSL対応)」ボタンを押して調査画面へお進みください。

会社ID:

個別ID:

[調査画面へ進む\(SSL対応\)](#)

8-2. アンケート本編

1/27ページ

男女の初期キャリア形成と活躍推進に関する調査

- 前のページに戻る場合はアンケート画面の「戻る」ボタンを押してください。
- 設問は最大でQ37までございます。（回答される方によって異なります）
最後のページの「回答」ボタンを押した時点でアンケートは終了となり、
修正はできなくなります。
- このアンケートではあなたご自身の今後のキャリアについてお考えをお伺いします。
ご回答いただいた内容は個人が特定できないような形式で集計されますため、
あなたの会社に回答内容が伝わることはありません。
思った通りの回答をお願いいたします。
- 回答方法は、選択式の設問が多くを占めますが、一部、直接ご記入いただく設問もございます。
また、数字を入力する設問については半角数値をご記入ください。

次へ進む

2/27ページ

●現在のあなたのお仕事について伺います。

Q1. 次のどの職種で、採用されましたか。なお、ここでいう「転勤」とは、「転居を伴う異動」を意味します。

- ☐ 1. 総合職(転勤あり)
- ☐ 2. 総合職(転勤なし)(例:エリア総合職、地域限定総合職、エリア基幹職、専任職 など)
- ☐ 3. 総合職以外(転勤あり)
- ☐ 4. 総合職以外(転勤なし)(例:一般職、現業職、業務職、地域職など)

Q2. 主な仕事は、次のどれにあたりますか。

- ☐ 1. 研究・開発
- ☐ 2. 技術・整備(例:車両メンテナンス など)
- ☐ 3. 生産管理・生産技術
- ☐ 4. 製造
- ☐ 5. 資材購買
- ☐ 6. 営業(例:法人営業、個人営業、店頭営業 など)
- ☐ 7. サービス(例:案内業務、サービスフロント、駅務、コールセンター など)
- ☐ 8. マーケティング・商品企画
- ☐ 9. 経営企画・事業企画
- ☐ 10. 総務
- ☐ 11. 人事
- ☐ 12. 人材開発

8-2. アンケート本編

- ☐ 13. 経理・財務
☐ 14. 情報システム（例：SE など）
☐ 15. 営業事務・営業サポート
☐ 16. 広報
☐ 17. 物流
☐ 18. 法務
☐ 19. 品質管理
☐ 20. その他（具体的に：

次へ進む

戻る

3/27ページ

Q3. 残業の頻度は、どの程度ですか。

- ☐ 1. ほぼ毎日
☐ 2. 週に3～4日
☐ 3. 週に1～2日
☐ 4. ほとんどない

Q4. 1ヶ月あたりの残業時間は何時間くらいですか。これまでで、残業が「最も多かった月」「最も少なかった月」それぞれについてお答えください。月ごとの違いがほとんどない方は、同じ数字をご記入ください。

最も多かった月 1ヶ月あたり()時間くらい（半角整数で記入ください）

最も少なかった月 1ヶ月あたり()時間くらい（半角整数で記入ください）

次へ進む

戻る

4/27ページ

●現在のお仕事について、あなたのお考えを伺います。

Q5. 現在の仕事について、次のことがらはどの程度あてはまりますか。

	あてはまる	あてはまる	どちらかという	あてはまらない	どちらかという	あてはまらない
1) やりがいのある仕事をしている	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2) 将来のキャリアにつながる仕事をしている	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3) 仕事を通じて成長しているという実感がある	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4) 自分の能力で今の仕事を続けていけるか不安である	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5) 現在の仕事内容と待遇が釣り合わない	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6) 男性の方が、昇進・昇格に結びつく仕事を任される	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

8-2. アンケート本編

次へ進む 戻る

5/27ページ

Q6. 現在の職場環境について、次のことがらはどの程度あてはまりますか。

	あてはまる	あてはまる どちらかという	あてはまらない どちらかという	あてはまらない
1) 職場では、自分は期待されている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2) 職場では、仕事に必要な教育・訓練の機会が充実している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3) 仕事について不安や悩みなどがあつたら、相談できる 同僚・仲間が職場にいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4) 自分が目標とするような先輩や上司がいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5) 上司はあなたの育成に熱心である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ進む 戻る

6/27ページ

Q7. 次のことがらについて、入社前のイメージとギャップを感じることはありますか

	Aに近 い	Aに近 い	ど ち ら か と い う と	入 社 前 の イ メ ー ジ と ギ ャ ッ プ は な い	ど ち ら か と い う と	Bに近 い	
1) 求められる成長スピード	A: 入社前のイメージより早い					B: 入社前のイメージより遅い	
2) 同期同士の競争	A: 入社前のイメージより激しい					B: 入社前のイメージより緩やか	
3) 女性の働きやすさ	A: 入社前のイメージより働きやすい					B: 入社前のイメージより働きにくい	
4) 休みの取りやすさ	A: 入社前のイメージより取りやすい					B: 入社前のイメージより取りづらい	

次へ進む 戻る

8-2. アンケート本編

7/27ページ

Q8. ご自身のお仕事について、以下の項目はどの程度あてはまりますか。

	あてはまる	あてはまる どちらかという	あてはまらない どちらかという	あてはまらない
1) 仕事に必要な知識を身につけるため、勤務時間外に勉強をしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2) 自分に期待されている役割や目標をよく理解している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3) 企業目標に貢献することを意識して行動している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4) 目の前の課題ばかりでなく、将来の課題にも目を向けて仕事をしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5) 自分からアイデアや企画を提案している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ進む

戻る

8/27ページ

Q9. あなたは現時点で、次のような能力をどの程度身につけていますか

	十分にある	ある程度ある	やや不十分	全く不十分
1) 担当業務を遂行するための知識・技能	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2) 英語などの語学力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3) 発表・報告のためのプレゼンテーション能力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4) 社内外で円滑に仕事を進めるためのコミュニケーション能力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5) 企画・アイデアなどの創造力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6) 業務を円滑に進めるためのタイム・マネジメント能力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7) 論理的な思考力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8) チームやグループを牽引するリーダーシップ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ進む

戻る

8-2. アンケート本編

9/27ページ

Q10. あなたは現在もしくは今後の業務を進めるうえで、資格を取得する必要がありますか。

- 1. 業務上、取得が必須の資格がある
 ○2. 業務上、取得した方がよい資格がある
 ○3. 業務上、特に資格を取得する必要はない

「1. 業務上、取得が必須の資格がある」「2. 業務上、取得した方がよい資格がある」とお答えの方にお尋ねします。

Q11. 次のことは、どの程度あてはまりますか。

	あてはまる	あてはまる どちらかというと	あてはまらない どちらかというと	あてはまらない
1) 資格取得に向けて、計画を立てている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2) 資格取得に向けて、勉強をしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ進む

戻る

10/27ページ

Q12. あなたは現在、次のようにことにどの程度満足していますか。

	満足している	やや満足している	やや不満である	不満である
1) 仕事	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2) 仕事以外の、趣味や友人関係など	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ進む

戻る

8-2. アンケート本編

11/27ページ

●今後の職業生活について、あなたの希望や見通しを伺います。

Q13. 今後について、どのようにお考えですか。

	そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そう思わない	そう思わない
1) 仕事の専門能力を高めたい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2) 仕事を通じて社会の役に立ちたい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3) 責任のある仕事をしたい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4) 機会があれば、別の会社へ転職したい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5) 高い収入を得たい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6) 社会的に成功したい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ進む

戻る

12/27ページ

Q14. あなたは今後、できればどのような職種で働きたいですか。なお、ここでいう「転勤」とは、「転居を伴う」異動を意味します。

- ☐ 総合職（転勤あり）につきたい
☐ 総合職（転勤なし）につきたい
☐ 総合職以外（転勤あり）につきたい
☐ 総合職以外（転勤なし）につきたい
☐ 現在の職種のままでよい
☐ その他（具体的に：）

次へ進む

戻る

13/27ページ

Q15. あなたは、管理職を目指したいですか。

- ☐ 1. 目指したい
☐ 2. どちらかという目指したい
☐ 3. どちらかという目指したくない
☐ 4. 目指したくない
☐ 5. 管理職になることが想定されていない職種である

8-2. アンケート本編

「3. どちらかという目指したくない」「4. 目指したくない」とお答えの方にお尋ねします。

Q16. 目指したくない理由は何ですか。あてはまるものすべてをお選びください。複数選択可

- ☐ 1. 自分には能力がないから
☐ 2. 仕事の量が増えるから
☐ 3. 責任が重くなるから
☐ 4. 仕事と家庭の両立が困難になるから
☐ 5. 周りに同性の管理職がいけないから
☐ 6. もともと長く勤める気がないから
☐ 7. その他(具体的に:)

次へ進む

戻る

14/27ページ

●あなたの就職活動や大学生活について伺います。

Q17. あなたは就職活動の時、どのような職種を希望していましたか。なお、ここでいう「転勤」とは、「転居を伴う」異動を意味します。

- ☐ 1. 総合職(転勤あり)
☐ 2. 総合職(転勤なし)
☐ 3. 総合職以外(転勤あり)
☐ 4. 総合職以外(転勤なし)
☐ 5. 特に希望はなかった

次へ進む

戻る

15/27ページ

Q18. あなたは就職活動のとき、会社を選ぶ基準として、次のようなことをどの程度重視しましたか。

		重視した	重視した どちらかという と	あまり 重視しなかつた	重視しなかつた
1) 失業や倒産の恐れがないこと	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2) 高い収入が得られること	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3) 知名度が高いこと	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4) 昇進の可能性が高いこと	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5) 独立や転職のチャンスが高いこと	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6) 自分の能力を生かせること	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7) 自分が成長できること	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8) 人材育成に熱心であること	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

8-2. アンケート本編

9) 経営理念に共感できること	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10) 休日や休暇がとしやすいこと	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11) 女性の能力をいかす方針や社風・雰囲気があること	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12) 家庭と仕事を両立するための制度が充実していること	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ進む

戻る

16/27ページ

Q19. 次のような大学時代の学習・経験のうち、あなたが熱心に取り組んだものすべてをお選びください。複数選択可

- ☐ 1. 教養科目の学習
- ☐ 2. 専門科目の学習
- ☐ 3. キャリア教育科目の学習
- ☐ 4. 実験・実習・卒論・ゼミの学習
- ☐ 5. 英語などの外国語学習
- ☐ 6. 資格取得・ダブルスクール
- ☐ 7. 部活やサークルでの活動
- ☐ 8. 友人とのつきあい
- ☐ 9. 留学
- ☐ 10. アルバイト
- ☐ 11. インターンシップ
- ☐ 12. ボランティア
- ☐ 13. この中にはない

次へ進む

戻る

17/27ページ

Q20. あなたは大学時代に、海外生活を経験しましたか。あてはまるものすべてをお選びください。複数選択可

- ☐ 1. 単位や学位を取得するために、留学した
- ☐ 2. 単位や学位の取得を目的とせずに、長期滞在(3ヶ月以上)した
- ☐ 3. 単位や学位の取得を目的とせずに、短期滞在(1ヶ月程度～3ヶ月未満)した
- ☐ 4. 旅行した
- ☐ 5. 特になし

8-2. アンケート本編

「1. 単位や学位を取得するために、留学した」「2. 単位や学位の取得を目的とせずに、長期滞在(3ヶ月以上)した」「3. 単位や学位の取得を目的とせずに、短期滞在(1ヶ月程度～3ヶ月未満)した」「4. 旅行した」とお答えの方にお尋ねします。

Q21. それらの経験は、業務に役立っていますか。あてはまるものすべてをお選びください。複数選択可

- ☐ 1. 語学が、業務に役立っている
- ☐ 2. 知識や経験が、業務に役立っている
- ☐ 3. 特に役立っていない

次へ進む

戻る

18 / 27ページ

●仕事と仕事以外の生活との両立について伺います。

Q22. あなたご自身のお考えとして、次の項目はどの程度あてはまりますか。

		あてはまる	あてはまる どちらかという	あてはまらない どちらかという	あてはまらない
1) 仕事だけでなく、仕事以外の時間も大切にしている	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2) できるだけ定時退社を心がけている	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3) 仕事を効率よく進めることを意識している	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4) 職場では、所定時間内で業務を終わらせることが奨励されている	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5) 業務が終わっても、仕事をしている人がいると退社しにくい雰囲気がある	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ進む

戻る

19 / 27ページ

●あなたのライフ・プランについて伺います。

Q23. あなたは結婚したり子どもが生まれたりしても、今の会社で働き続けたいと思いますか。

- ☐ 1. 続けたい
- ☐ 2. どちらかという続けたい
- ☐ 3. どちらかという続けたくない
- ☐ 4. 続けたくない
- ☐ 5. わからない

8-2. アンケート本編

「3. どちらかという継続たくない」もしくは「4. 継続たくない」とお答えの方にお尋ねします。

Q24. その理由は何ですか。当てはまるものすべてをお選びください。 複数選択可

- ☐ 1. 家事・育児に時間をとりたいから
☐ 2. 家事・育児に対して配偶者や周りの支援が得られないだろうから
☐ 3. 職場や仕事の状況から、働き続けるのは難しいだろうから
☐ 4. 続けたい仕事ではないから
☐ 5. 体力面で両立は難しいから
☐ 6. その他(具体的に:)

次へ進む

戻る

20/27ページ

Q25. あなたは、結婚したり子どもが生まれたりした場合、正社員としてどのような働き方をしたいですか。あくまで現時点での理想として、最も近いタイプを1つ選んでください。

	急な残業もあるフルタイム	残業のないフルタイム	時間の融通がきくフルタイム	短時間勤務	家でできる仕事	正社員としては働かない
1) 未婚のとき	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2) 結婚したが、子どもがいないとき	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3) 就学前の子どもがいるとき	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4) 小学生以上の子どもがいるとき	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ進む

戻る

21/27ページ

Q26. あなたは、次のような考え方についてどのように思いますか。

	そう思う	そう思う どちらかという	どちらかという そう思わない	そう思わない
1) 男性と女性の適性は異なる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2) 男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

8-2. アンケート本編

3) 家族を経済的に養うのは男性の役割だ	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4) 子どもが3歳くらいまでは、母親は仕事を持たず育児に専念すべきだ	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5) リーダーには、女性より男性の方が向いている	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6) 男性と女性は本質的に違う	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ進む

戻る

22/27ページ

●最後に、あなたご自身のことについて伺います。

Q27. あなたの性別はどちらですか。

- ☐ 1. 男性
☐ 2. 女性

Q28. 現在、あなたは何歳ですか。

 歳（半角整数でご記入ください）

次へ進む

戻る

23/27ページ

Q29. あなたが通った大学(学部)は、共学でしたか、別学でしたか。

- ☐ 1. 大学(共学)
☐ 2. 大学(女子大)

次へ進む

戻る

24/27ページ

あなたが卒業・修了した学校は、次のどれにあたりますか。「大学(学部)」「大学院(修士・博士課程前期)」「大学院(博士・博士課程後期)」のそれぞれについてお答えください。

Q30. あなたが卒業した大学(学部)について、あてはまるものすべてをお選びください。複数選択可

- ☐ 1. 日本の大学
☐ 2. 海外の大学

8-2. アンケート本編

Q31. あなたが修了した大学院(修士・博士課程前期)について、あてはまるものすべてをお選びください。複数選択可

- ☐ 1. 日本の大学院
- ☐ 2. 海外の大学院
- ☐ 3. 大学院(修士・博士課程前期)は修了していない

Q32. あなたが修了した大学院(博士・博士課程後期)について、あてはまるものすべてをお選びください。複数選択可

- ☐ 1. 日本の大学院
- ☐ 2. 海外の大学院
- ☐ 3. 大学院(博士・博士課程後期)は修了していない

次へ進む

戻る

25/27ページ

Q33. 最後に行った学校(中退・満期退学を含む)の専攻は、次のどれにあたりますか。

- ☐ 1. 法学系
- ☐ 2. 経済・商学系
- ☐ 3. 文学系
- ☐ 4. 社会学系
- ☐ 5. 教育学系
- ☐ 6. 外国語学系
- ☐ 7. その他の文系(具体的に:)
- ☐ 8. 理学系
- ☐ 9. 工学系
- ☐ 10. その他の理系(具体的に:)
- ☐ 11. その他(具体的に:)

次へ進む

戻る

8-2. アンケート本編

26/27ページ

Q34. あなたは現在、結婚していますか。

- ☐ 1. 結婚している
- ☐ 2. 結婚していない

Q35. あなたはお子さんがいますか。

- ☐ 1. 子どもはいる
- ☐ 2. 子どもはいない

Q36. あなたは、どのようにお住まいですか

- ☐ 1. 一人暮らし
- ☐ 2. 家族と同居している
- ☐ 3. その他(具体的に:)

次へ進む

戻る

27/27ページ

アンケートへの回答ありがとうございました。

回答内容に問題なければ、「回答」ボタンを押して終了してください。

回答内容を修正したい場合は「戻る」ボタンで該当箇所まで
戻って回答しなおしてください。

※注意※

「回答」ボタンを押すと、このアンケート内の回答を修正できなくなります。
ご注意ください。

回答

戻る

やり直し